

**Canon**

 **imageFORMULA**

**DR-G2140**

**DR-G2110**

# **ユーザーマニュアル（機能詳細編）**



ご使用前に必ず本書をお読みください。  
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

## ■ 国際エネルギースタートプログラムについて



当社は国際エネルギースタートプログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタートプログラムの基準に適合していると判断します。

本製品は、ユーザーがスリープ移行時間を変更することができません。

## ■ 電波障害自主規制について

この装置は、クラス B 機器です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

## ■ JIS C 61000-3-2 適合品

本装置は高調波電流規格 JIS C 61000-3-2 を準用しています。

## ■ ご注意

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することは禁止されています。
- 本書の内容について、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容については万全を期して作成しましたが、運用した結果の影響につきましては、前項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。

## ■ 複製についてのご注意

以下のもの（全てを網羅している訳ではありません。）を本物と偽って使用する目的で複製（スキャン）すること、あるいは、複製（スキャン）によりその本物と紛らわしいものを作成すると、法律により罰せられることがあります。

- 紙幣、銀行券（外国のものを含む）
- 郵便切手、印紙、その他の金券
- 株券、社債券、手形、小切手、定期券、回数券、乗車券、その他の有価証券

- 公務員または役所が作成したパスポート、免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 権利、義務もしくは事実証明に関する私人が作成する文書、図画
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

## ■ 商標および登録商標について

- Canon、Canon ロゴは、キヤノン株式会社の商標です。
- imageFORMULA は、キヤノン電子株式会社の商標です。
- Microsoft、Windows、PowerPoint および SharePoint は、米国マイクロソフト社の米国および他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- ISIS は、Open Text の米国における商標です。
- その他、本書中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。なお、本文中には<sup>TM</sup>、<sup>®</sup>マークは明記していません。

## ■ 免責事項

本製品を用いて読み取る原稿、または読み取った画像イメージの保管や管理についてはお客様の責任で行ってください。

また、読み取った原稿を破棄する場合は、必ず、読み取り画像イメージをしっかりと精査し、欠落のないことを確認した上でお客様の責任において行ってください。

なお、当社が本製品に対して行う保証は、いかなる場合においても本製品の代金としてお客様が支払った金額を超えることはありません。予め、ご了承ください。

# セットアップガイド

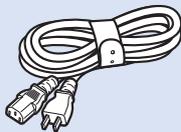
はじめにお読みください

## STEP 1 付属品を確認する

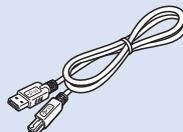
不足品や損傷品がある場合は、お買い求めの販売店にご連絡ください。



本体



電源コード



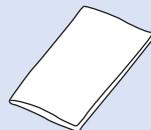
USB ケーブル



アースコード



セットアップディスク



クリーニングクロス  
(1枚)



セットアップガイド

- クリーニングクロスはスキャナーの内部を清掃するためのクロスです。
- 付属品は予告なく変更されることがあります。
- 梱包箱および梱包材は本機の保管や輸送の際に必要となりますので、捨てないで保管してください。

## セットアップディスクの内容

同梱されているセットアップディスクから、スキャナーを使用するために必要となる次のソフトウェアをインストールします。

- CaptureOnTouch  
DR シリーズスキャナー用スキャニングアプリケーションです。
- スキャナードライバー  
本製品のスキャナードライバーです。
- バーコードモジュール
- 二次元コードモジュール  
原稿上に印刷されたバーコードをスキャン時に認識するためのモジュールです。

## STEP 2

## ソフトウェアをインストールする

### 動作環境

本製品を快適にお使いいただくためには、次のシステム要件を推奨します。

#### コンピューター

CPU：	Intel Core i3 2.13GHz 以上
メモリー：	4GB 以上
ハードディスク：	すべてのソフトウェアをインストールするために、 3GB 以上の空き容量
USB インターフェイス：	USB3.1 Gen1/USB2.0
モニター：	解像度 1024 × 768 (XGA) 以上
光学ドライブ：	CD/DVD の読み取りが可能なドライブ

#### オペレーティングシステム

- Microsoft Windows 7 Service Pack 1 以上(32 ビット版 /64 ビット版)
- Microsoft Windows 8.1 (32 ビット版 /64 ビット版)
- Microsoft Windows 10 (32 ビット版 /64 ビット版)
- Microsoft Windows Server 2008 R2 Service Pack 1 以上
- Microsoft Windows Server 2012 R2
- Microsoft Windows Server 2016

2018 年 8 月現在の環境です。

最新のソフトウェアサポート状況はキャノンホームページの製品ページをご参照ください。

#### その他

- 上記のシステム環境で正常に動作する ISIS 互換アプリケーションソフトウェア (Windows のみ) または TWAIN 互換アプリケーションソフトウェア
- .NET Framework 4.5 以降

### ! 重要

- 本製品を USB3.1 Gen1 対応の USB ポートに接続した場合、一部のコンピュータで本製品が認識されないことがあります。認識されない場合は、USB2.0 に接続してください。
- USB インターフェイスは、コンピューターに標準装備された USB ポートを使用してください。ただし、コンピューターに標準装備されたすべての USB インターフェイスにおいて、動作を保証するものではありません。詳細についてはお買い求めの販売店にお問い合わせください。
- コンピューターに標準装備された USB インターフェイスが USB Full-Speed (USB1.1 相当) の場合、スキャン速度が低下します。
- USB ケーブルは、同梱品をお使いください。
- CPU、メモリー、インターフェイスカードなど、コンピューターの推奨仕様を満たさない場合は、スキャン速度が大幅に低下したり、転送速度に時間を要する場合があります。
- コンピューターのシステム要件を満たしている場合でも、コンピューターの仕様・環境や読み取りの設定によっては、スキャン速度が低下する場合があります。
- 同梱されているスキャナードライバーは、すべての ISIS 互換アプリケーションソフトウェアまたは TWAIN 互換アプリケーションソフトウェアで動作するとは限りません。詳細についてはアプリケーションソフトウェアの販売元にお問い合わせください。
- Windows 10 のタブレットモードでは、ソフトウェアの表示が乱れることがあります。
- Windows Server 2008 R2、Windows Server 2012 R2 では、デスクトップ エクスペリエンス機能を有効にする必要があります。

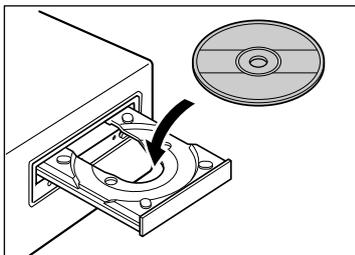
## インストール方法

### 重要

- USB ケーブルで接続する場合、ソフトウェアのインストールは、本機とコンピュータを接続する前に行ってください。
- Administrator 権限のアカウントでログオンしてください。
- ほかのアプリケーションをすべて終了させてからソフトウェアをインストールしてください。

### 1 セットアップディスクをコンピュータのディスクドライブにセットします。

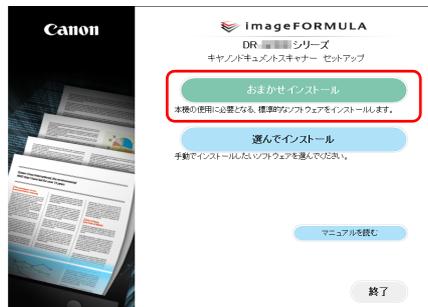
自動的にセットアップメニューが起動します（起動しないときは、ディスク内の setup.exe を実行してください）。



次の画面が表示されたら [はい] または [許可] をクリックしてください。



### 2 [おまかせインストール] をクリックします。



### ヒント

アンインストールしたソフトウェアを再インストールするときは、「選んでインストール」をクリックし、アンインストールしたソフトウェアを指定してください。

### 3 [インストール] をクリックします。





## STEP 3

## コンピューターと電源に接続する

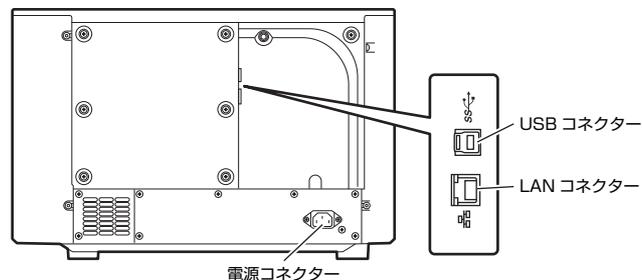
本機をコンピューターと電源に接続します。本機とコンピューターを接続するには USB ポートまたは LAN ポートを使用します。

### ❗ 重要

コンピューターと接続する前に本機の電源がオフになっていることを必ず確認してください。電源がオンになっているときは、オフにしてください。

### インターフェースコネクターの位置

USB コネクターと LAN コネクターは背面の以下の場所に配置されています。



### ❗ 重要

電源コード、アースコードは必ず付属品をお使いください。

### 電源の接続

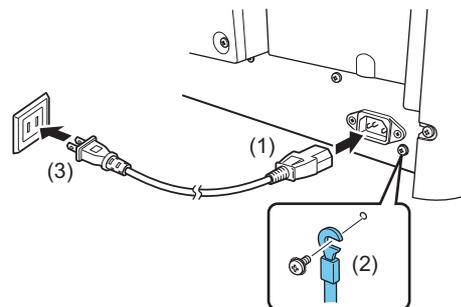
1 付属の電源コードを本体背面の電源コネクターに差し込みます。(1)

2 本体背面のアース端子のビスをゆるめ、付属のアースコードを接続します。(2)

### ❗ 重要

アースコードを接続する際は、絶対にガス管や水道管には接続しないでください。スキャナー使用時に引火や爆発および感電の恐れがあります。

3 電源プラグをコンセントに差し込みます。(3)



## コンピューターとの接続

本機は、USB 接続と有線 LAN 接続の両方をサポートしています。USB ケーブルまたは LAN ケーブルどちらかの接続を認識すると、本機は自動的に接続方法を判定します。

### ❗ 重要

- 接続方法は本機の電源を OFF にするまで有効となります。接続方法を変更する際は、一度本機を再起動した後にケーブルを接続し直してください。
- スキャナー起動時に USB ケーブルと LAN ケーブルの両方が接続されている場合は、USB 接続が優先されます。

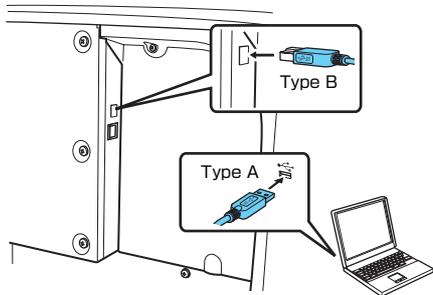
## USB で接続する

付属の USB ケーブルでコンピューターと接続します。

### ❗ 重要

ソフトウェアをインストールする前にスキャナーをコンピューターに接続しないでください。

USB ケーブルは、四角いプラグ (Type B) をスキャナー側に差し込みます。続いて、平たいプラグ (Type A) をコンピューターの USB ポートへ差し込みます。



## 有線 LAN で接続する

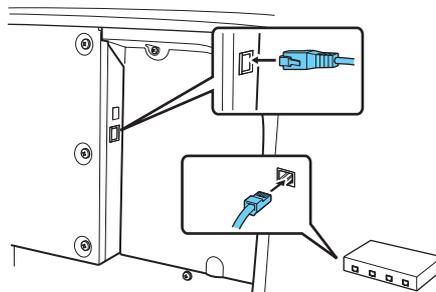
LAN ケーブルで本機と有線 LAN ルーターを接続します。

### ❗ 重要

- コンピューターは、有線 LAN または無線 LAN でルーターに接続してください。
- ルーターや LAN ケーブルは付属していませんので、別途ご用意ください。

### 💡 ヒント

- 本機は、DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol) に対応しています。DHCP サーバーが用意されているネットワーク環境では、IP アドレスを DHCP サーバーから自動取得することができ、本機での IP アドレスの設定が不要になります。
- DHCPサーバーがないネットワークで使用する場合など、本機に固定 IP アドレスを指定する必要があるときは、操作パネルまたは Web メニューで固定 IP アドレスを指定できます。「[ネットワーク](#)」(→ P.62)、「[Web メニュー](#)」(→ P.115)
- 有線 LAN で接続した場合は、オプションのフラットベッドスキャナーが使えなくなります。



## STEP 4

## 電源を入れる

本機の電源は、正面の電源スイッチで操作します。

**1** 本機とコンピューターの接続を確認します。

**2** 電源スイッチを押します。

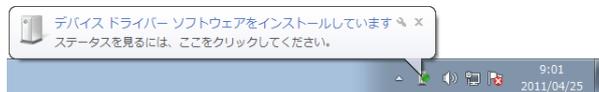


電源スイッチ

電源が入ると、電源ボタンが緑色に点灯します。

### ヒント

- USB ケーブルで接続した場合は、初めて本機の電源を入れたときにタスクバーに次のようにバルーンが表示されます。しばらく待つと自動的にスキャナーの認識が終了し、本機が使用できるようになります。



- スキャナーがコンピューターに正常に接続されているときは、タスクバーの (CaptureOnTouch) アイコンが次のように表示されます。



タスクバーのアイコンの表示が  になっているときは、スキャナーが正常にコンピューターに接続されていません。スキャナーの電源スイッチと USB ケーブルまたは LAN 接続の状態を確認してください。

---

## 電源を切るには

電源スイッチを長押ししてオフにします。

### 重要

- 本機の電源を入れ直すときは、電源を切った後で10秒以上待ってから電源を入れてください。
- 長時間ご使用にならないときは安全のため、必ず電源をオフにして電源プラグをコンセントから抜いてください。

### ヒント

出荷時は、スキャンなどの操作をしないまま4時間経過すると自動的に電源が切れる設定がオンになっています。

この設定を無効にするには、「[Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールについて](#)」(→ P.114)をご覧ください。

これでセットアップが完了しました。

## はじめに

このたびは、キヤノン imageFORMULA DR-G2140/DR-G2110 をお買い求めいただき、ありがとうございます。

本機の機能を十分にご理解いただき、より効果的にご利用いただくために、本機をご使用になる前に本書および以下のマニュアルをよくお読みになり、本機の機能をよく理解してからお使いください。また、お読みになったあと大切に保管してください。

### マニュアルの構成

本製品には、下記のマニュアルが用意されています。

#### ● セットアップガイド

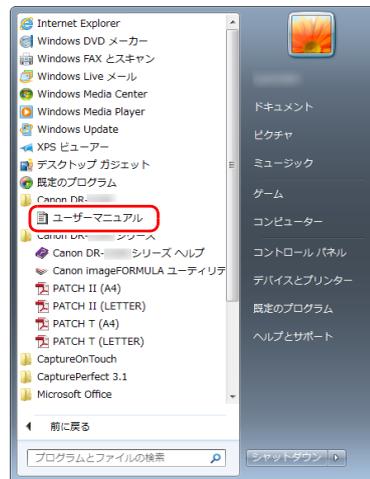
本機のセットアップ方法を説明したマニュアルです。本機を使い始めるときにお読みください。

#### ● ユーザーマニュアル（機能詳細編）（本書）

本機の操作方法が記載されたマニュアルです。

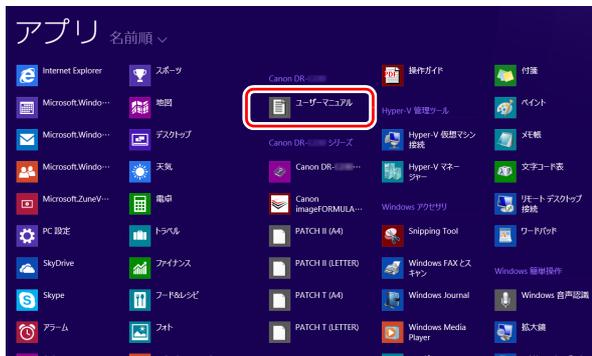
### 💡 ヒント

- 本製品のマニュアル（機能詳細編）は、PDF 形式の電子マニュアルとしてセットアップディスクに収録されています。
- ユーザーマニュアル（電子マニュアル）が、ソフトウェアのインストールにより以下の場所に登録されます。



## ヒント

Windows 8.1 では以下の場所に登録されています。



## マニュアル内の表記について

本製品のマニュアルで使用している記号・表示について説明します。マニュアルをお読みになる前に、ひととおり目を通して、その意味を理解しておいてください。

(→ P. xx)

参照ページを表します。カッコ内の数字は、書かれていることについての詳しい説明が記載されているページ数です。

### 警告

取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負う恐れのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。

### 注意

取り扱いを誤った場合に、傷害を負う恐れや物的損害が発生する恐れのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。

### 重要

操作上必ず守っていただきたい重要事項や禁止事項が書かれています。機械の故障や損傷を防ぐために、必ずお読みください。

### ヒント

操作の参考となることや補足説明が書かれています。必ずお読みください。

# 目次

セットアップガイド .....	3	Function キーに機能を割り当てる .....	51
インターフェースコネクタの位置 .....	8	<b>ユーザーモードの操作 .....</b>	<b>53</b>
電源の接続 .....	8	ユーザーモードについて .....	53
コンピューターとの接続 .....	9	ユーザーモードの操作手順 .....	53
電源を切るには .....	11	スキャナードライバーで設定可能なメニュー .....	55
はじめに .....	12	ユーザーモードの機能 .....	57
マニュアル内の表記について .....	13	手差しモード .....	57
<b>お使いになる前に .....</b>	<b>17</b>	ニューファイル .....	57
安全にお使いいただくために .....	17	本体設定 .....	57
設置する場所について .....	17	スキャン設定 .....	58
電源について .....	17	カウントオンリー .....	60
本機の移動について .....	18	カウントクリア .....	60
日常の取り扱いについて .....	18	インプリンターテスト .....	61
廃棄する場合について .....	19	メンテナンス .....	61
本機の特長 .....	20	ネットワーク .....	62
各部の名称と機能 .....	24	<b>スキャン方法 .....</b>	<b>64</b>
<b>本機の使いかた .....</b>	<b>30</b>	ジョブを選択してスキャンする .....	64
原稿について .....	30	ジョブ機能について .....	64
給紙トレイ、排紙トレイの準備 .....	32	CaptureOnTouch でスキャンする .....	66
給紙トレイの準備 .....	32	CaptureOnTouch とは .....	66
原稿ガイドの調整 .....	35	CaptureOnTouch の起動と終了 .....	68
排紙トレイの準備 .....	37	スキャナーの選択 .....	69
給紙方法について .....	39	画面の説明 .....	70
給紙方法の選択 .....	39	3 ステップスキャン .....	70
A3 より大きい原稿をスキャンする .....	42	お気に入りスキャン .....	73
キャリアシートを使用してスキャンする .....	43	スキャンモードの設定 .....	84
長尺の原稿をスキャンする .....	45	バッチ区切りの設定 .....	86
原稿の重送を検知する .....	47	出力先の設定 .....	87
原稿枚数をカウントする .....	49	インデックスの設定 .....	89

お気に入りの設定.....	90
ファイル形式について.....	90
環境設定.....	92
<b>スキャナードライバーの設定.....</b>	<b>96</b>
スキャナードライバーの構成と機能.....	96
基本的なスキャン条件の設定.....	99
<b>より高度なスキャン方法（パッチ区切り）.....</b>	<b>110</b>
白紙を用いたパッチ区切り.....	110
パッチコードシートを用いたパッチ区切り.....	110
<b>Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールに ついて.....</b>	<b>114</b>
Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールとは.....	114
Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールの起動.....	114
<b>Web メニュー.....</b>	<b>115</b>
<b>Web メニューについて.....</b>	<b>115</b>
本機の Web メニューを表示する.....	115
Web メニューの各ページについて.....	117
<b>Web メニューの設定.....</b>	<b>118</b>
スキャナー名設定.....	118
ネットワーク設定.....	118
mDNS 設定.....	119
パスワード設定.....	120
メンテナンス設定.....	120
<b>メンテナンス.....</b>	<b>122</b>
<b>日常のお手入れ.....</b>	<b>122</b>
本体の清掃.....	122
センサーの清掃.....	123
上部ユニットの開閉.....	123
読み取りガラスとローラー、分離パッドの洗浄.....	124
縮率調整について.....	126
自動電源オフ機能について.....	126
電源プラグ.....	126

<b>給紙ローラーの交換.....</b>	<b>127</b>
ローラーの交換時期.....	127
カウンター（搬送枚数）の確認とリセット.....	128
ローラーの取り外し／取り付け.....	129
<b>分離パッド（リタードローラーカバー）の取り外し／ 取り付け.....</b>	<b>135</b>
分離パッド（リタードローラーカバー）の交換時期.....	135
分離パッド（リタードローラーカバー）の取り外し.....	135
分離パッド（リタードローラーカバー）の取り付け.....	136
<b>インクカートリッジの交換と清掃（インプリンターを お使いの場合）.....</b>	<b>137</b>
インプリンターについて.....	137
インクカートリッジの交換.....	137
印字位置の調整.....	140
インプリンターの清掃.....	141
インプリンターテスト.....	142
ヘッドクリーニング.....	143
<b>トラブルシューティング.....</b>	<b>144</b>
<b>トラブル Q &amp; A.....</b>	<b>144</b>
ソフトウェアの操作で困ったときは.....	148
役立つヒント集.....	149
紙詰まり・斜行・ステーブル検知の処理.....	151
エラーメッセージ.....	152
ソフトウェアをアンインストールする.....	153
<b>付録.....</b>	<b>154</b>
<b>仕様.....</b>	<b>154</b>
別売品.....	155
消耗品.....	155
外形寸法図.....	156

その他の仕様 .....	157
バーコード仕様 .....	157
インプリンター仕様.....	158
索引.....	159

# お使いになる前に

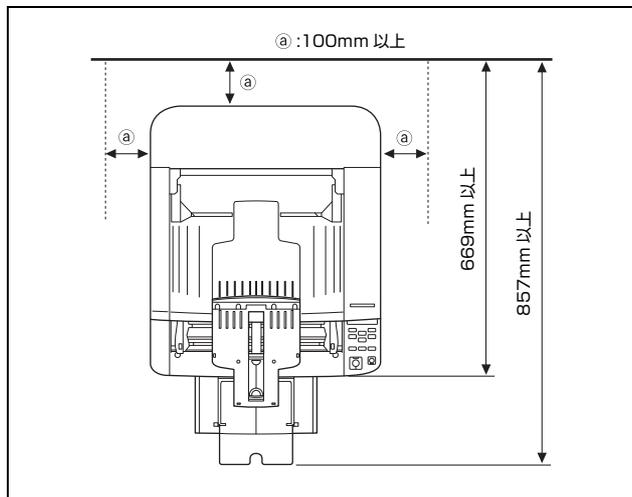
## 安全にお使いいただくために

本機を安全にお使いいただくため、以下の項目についての注意事項を必ずお読みください。

### 設置する場所について

本機の性能は、設置されている環境によって影響を受けることがあります。設置する場所が、次の環境条件に合っていることを確認してください。

- 本機の周りには操作、保守、換気のためのスペースを十分確保してください。



- 直射日光が当たる場所は避けてください。やむをえない場合は、厚いカーテンなどで日光をさえぎってください。

- ほこりの多い場所は避けてください。ほこりは本体内部に悪影響を及ぼすことがあります。
- 水道の蛇口、湯沸器、加湿器など高温、多湿になる場所の近くや、アンモニアガス、シンナーなどが発生する場所は避けてください。
- 不安定な場所や、振動しやすい場所は避けてください。
- 温度が急激に変化する場所は避けてください。本体内部で結露が発生すると、品質低下の原因になります。以下の環境下でお使いください。  
室温 10℃～35℃  
湿度 20% (RH) ～ 80% (RH)
- スピーカーやテレビ、ラジオなど磁気が発生する機器の近くは避けてください。

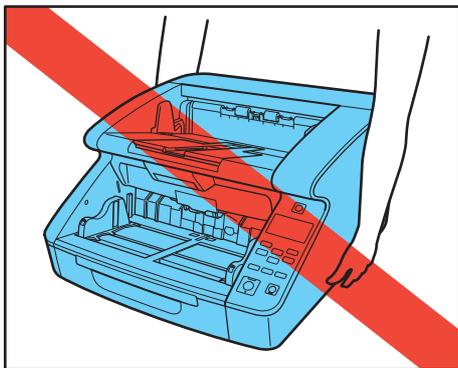
### 電源について

- 電源は必ず 100V のコンセントからとってください。
- AC100V 以外の電源電圧で使用しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 他の電気機器と同じコンセントを使用しないでください。また、延長コードを使う場合は、延長コードのアンペア数値に注意してください。
- 電源コードの上に物を置いたり、踏みつけたりしないでください。
- 電源コードを束ねたまま使用しないでください。
- 電源コードを強く引っ張らないでください。電源プラグを抜くときは、電源プラグを持ち、そのまま抜いてください。
- 非常時に電源プラグが抜けるように、電源プラグの周りには物を置かないでください。

- 安全のため、必ずアース線を接続してください。アース線は絶対にガス管や水道管には接続しないでください。アース線の接続は、必ず電源プラグを電源につなぐ前に行ってください。また、アース線を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。
- 電源について不明な点があるときは、お買い求めの販売店にお問い合わせください。

## 本機の移動について

- 本製品は、質量が約 25.0kg あります。本製品を持ち上げたり移動させるときは、必ず両側から 2 人で持ち、絶対に 1 人で持ち上げたりしないでください。落としたり手をはさんだりして大ケガをすることがあります。また、移動の際は十分注意して移動させてください。



- スキャナーを移動する場合は、インターフェースケーブルや電源コードを必ず外してください。ケーブル類を接続したまま持ち運ぶと、無理な力が加わってプラグやコネクタが損傷したり、本体を落としてけがをする原因になります。

## 日常の取り扱いについて



### 警告

本製品をお使いになるときは、次の警告をお守りください。これらは火災や感電の原因になります。

- アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くには設置しないでください。
- 電源コードを傷つけたり、破損したり、加工しないでください。また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
- タコ足配線をしないでください。
- 電源コードを結んだり、束ねたりしないでください。電源プラグは奥まで確実に差し込んでください。
- リール式の延長コードを使用するときはすべてのコードを引き出して使用してください。コードをリールに巻き込んだ状態で長時間使用した場合、発熱や火災の原因になることがあります。
- 同梱されている電源コードセットは本機専用です。本機以外の電気機器には使用できません。また、同梱されている電源コードセット以外の電源コードセットは、本機には使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- 本機の分解、改造は、危険ですので絶対に行わないでください。
- 本機の近くでは可燃性のスプレーを使用しないでください。
- 清掃の際は電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 本機の清掃には、水を含ませて固くしぼった布を使用してください。アルコール、ベンジン、シンナーなどの引火性溶剤は使用しないでください。
- 異常音、発煙、発熱、異臭があったり、電源を入れても機械が動かないなどの異常が発生した場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。

- 本機を落としたり、ぶつけたりして、強いショックを与えないでください。万一、本機が破損した場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そして、お買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 本機を移動させる場合は、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

### 注意

- ぐらついた台の上や傾いたところなどの不安定な場所や、振動の多い場所には設置しないでください。落ちたり倒れたりして、けがの原因になることがあります。
- 通気孔をふさがしないでください。本機の内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。
- 本機の上には、クリップ、ステイブルの針、ネックレスなどの金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入ると火災や感電の原因になることがあります。万一、これらが本機の中に入ってしまった場合は、直ちに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。そしてお買い求めの販売店または担当サービスにご連絡ください。
- 湿気やほこりの多い場所には設置しないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 本機の上には物を載せないでください。置いたものが倒れたり、落下して、けがの原因になることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。電源コードを引っ張ると、芯線の露出、断線などで、コードが傷つき、火災や感電の原因になることがあります。
- いつでも電源プラグが抜けるように、コンセントの周りには物を置かないでください。非常時に電源プラグが抜けなくなります。
- 本機の内部に、水や引火性溶剤（アルコール、シンナー、ベンジンなど）をこぼさないでください。火災や感電の原因になることがあります。
- 長時間ご使用にならないときは、安全のため、必ず電源コードを本体から抜き、電源プラグをコンセントから抜いてください。

- 本機を操作するときは、ゆったりとした服装を避け、装飾品など動作中の本機に引っ掛かりそうなものを身につけないでください。本機に巻き込まれてけがの原因になることがあります。特にネクタイや長い髪などご注意ください。万一、巻き込まれた場合は、直ちに電源を切って機械を停止してください。
- 原稿をセットするときや、詰まった紙を取り除くときは、慎重に扱ってください。紙の端で手を切るなど、思わぬけがをすることがあります。

### 高温注意

- このシールが貼ってある部位は高温になる場合があり、取り扱いを誤った場合に、やけどを負う恐れがあります。安全に使用していただくために、注意事項をお守りください。

## 廃棄する場合について

本機および付属品を廃棄するときは、必ず法律およびその地域の条例に従って廃棄するか、お買い求めの販売店にご相談ください。

## 本機の特長

本機の主な特長は以下のとおりです。

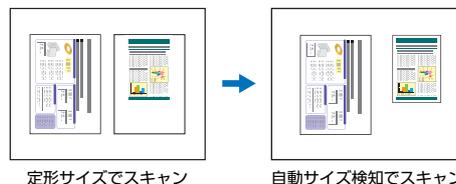
### スキャナー本体の特長

- **多様な読み取りモード**  
読み取りモードとして、以下のモードが用意されています。  
「白黒」、「誤差拡散」、「アドバンスドテキストエンハンスメント」、「アドバンスドテキストエンハンスメントII」、「アクティブ スレッシュールド」、「256 階調グレー」、「24 ビットカラー」  
\* アドバンスドテキストエンハンスメントやアクティブ スレッシュールドは、原稿の背景や地色を処理して文字を読みやすくするモードです。
- **高速原稿給紙**  
白黒、グレースケール、カラーすべての読み取りモードで A4 サイズの原稿を最大 140 枚 / 分 (DR-G2140 の場合) で読み取ります。  
\* 読み取り条件：A4 横 / 両面 / 300dpi
- **大容量給紙**  
給紙トレイには普通紙で最大 500 枚の原稿をセットすることができます。
- **カウントオンリーモード**  
スキャナー単体で動作し、セットした原稿の枚数をカウントします。  
「[カウントオンリーモード](#)」 (→ P.49)
- **給紙トレイ位置の変更**  
給紙トレイの位置を原稿の枚数に合わせて変更することができます。  
「[給紙トレイの準備](#)」 (→ P.32)
- **長尺モード**  
ユーザーモードの設定により、最大 5,588mm までの長さの原稿をスキャンすることができます。また、長尺モードの搬送速度を変更することができます。  
「[長尺の原稿をスキャンする](#)」 (→ P.45)

- **フレキシブル原稿ガイド**  
左右の原稿ガイドを任意の位置に動かすことにより、原稿を左右に寄せてスキャンすることができます。「[原稿ガイドの調整](#)」 (→ P.35)
- **ユーザーモード**  
ユーザーモードの各機能により、スキャナーの機能を任意に変更することができます。「[ユーザーモードの操作](#)」 (→ P.53)

### 検知機能

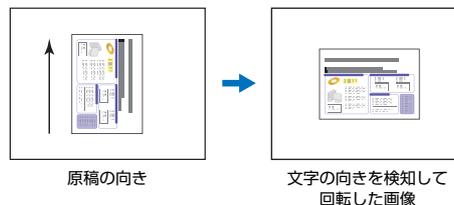
- **カラー原稿自動検知**  
スキャンした原稿がカラー原稿か、グレーまたは白黒原稿かを自動検知します。
- **自動原稿サイズ検知**  
スキャンした原稿のサイズを検知してスキャンします。



- **斜行検知**  
原稿が斜めに搬送され、原稿が搬送路の端に接触したことを検知して搬送を停止します。

- **ステーブル検知**  
ステーブルで綴じられた原稿を検知して搬送を停止します。  
[ステーブル検知] (→ P.59)
- **ごみ検知**  
読み取り部のごみを検知してエラー処理を行います。[ごみ検知] (→ P.60)
- **超音波重送検知**  
超音波センサーによって原稿の重なりを検知して搬送を停止します。  
[重送検知] (→ P.58)  
\* 原稿に貼られたラベルなどを重送として検知させないようにするための非検知領域を設定できます。
- **長さによる重送検知**  
原稿の長さの比較によって原稿の重なりを検知し、搬送を停止します。  
[重送検知] (→ P.58)  
\* 1 枚目の原稿の長さを基準とし、長さの異なる原稿が搬送されたときに重送を検知します。
- **プレスキャン**  
スキャンを開始したときに原稿を 1 枚スキャンして中断し、1 枚目の画像で明るさとコントラストを調整してからスキャンを行います。
- **ベリファイスキャン**  
カウントオンリーモードでカウントした枚数または、あらかじめ設定した枚数と、スキャンした枚数を照合しながらスキャンします。  
[ベリファイスキャン] (→ P.50)

- **文字向き検知**  
原稿内の文字の向きを検知して、文字の向きが正しくなるように画像を 90 度単位で回転します。

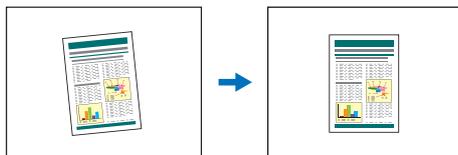


## 画像処理

- **裏写り / 地色除去**  
薄い原稿をスキャンしたときに起きる原稿の裏写りや原稿の地色を除去します。
- **色むら軽減機能**  
スキャンしたときの色のむらを調整して軽減することができます。
- **画像回転**  
スキャンした画像を 90 度単位で回転または、原稿内の文字の向きを検知して、文字の向きが正しくなるように画像を 90 度単位で回転します。

- 斜行補正

スキャンした画像から原稿が斜めに搬送されたと判断したときに、画像をまっすぐに補正します。

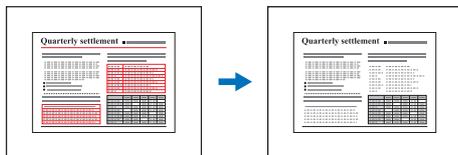


斜行した画像

斜行補正した画像

- ドロップアウト / 色強調

スキャン時に赤、青、緑色から 1 色を指定または中間色を色の範囲で指定して読み取らないようにするドロップアウト機能または、指定した色を強調する機能を備えています。

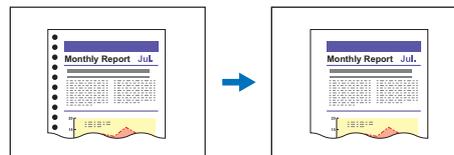


多色原稿

赤色をドロップアウト

- バインダー穴除去

バインダーに綴じられていた原稿をスキャンしたときにできる黒い穴の部分を除去します。

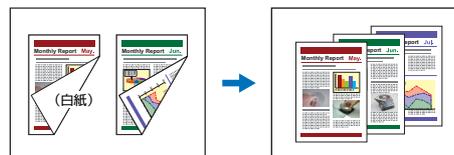


バインダー穴のある画像

バインダー穴を除去した画像

- 白紙スキップ

原稿の両面をスキャンして、白紙として判断した面の画像の保存をスキップします。



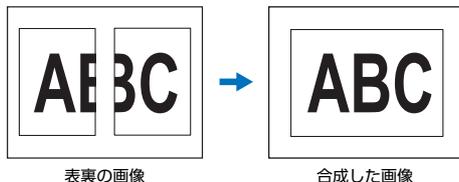
白紙のある両面原稿

白紙をスキップした画像

### ● 半折りスキャン

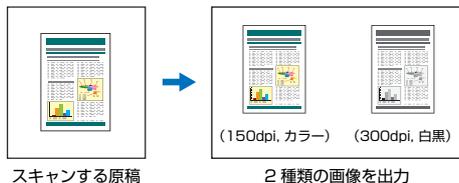
給紙口にセットできない原稿を半折りにして両面をスキャンし、スキャンした表裏の画像を 1 枚の画像に合成します。

[「A3 より大きい原稿をスキャンする」](#) (→ P.42)



### ● マルチストリーム

用途に合わせて読み取り条件の異なる 3 つの画像を 1 回のスキャンで同時に出力することのできるマルチストリーム機能に対応しています。ただし、この機能はお使いのアプリケーションがマルチストリーム機能に対応している場合にのみ使用できます。



### ● 文字・線を太くする

スキャンした画像の文字や絵が判別しにくい場合に、文字や絵の太さを補正してスキャンする機能を備えています。

### ● 背景スムージング

スキャンした画像の背景部分が滑らかに処理されます。[基本] タブの [カラーモード] で [自動で検知する] または [256 階調グレー]、[24 ビットカラー] を選択している場合に使用できます。

### ● バーコード検知

同梱のバーコードモジュールをインストールすることにより、原稿内のバーコードを検知することができます。

### ● パッチコード検知

原稿内に挿入されたパッチコードシートを検知してパッチ区切りを行うことができます。[「より高度なスキャン方法 \(パッチ区切り\)」](#) (→ P.110)

## その他

### ● 継続モード

紙詰まりや重送など、原稿が正常に搬送されなかったことをセンサーが検知して搬送を停止したときに、スキャンを中断状態にするモードで、原稿を処理した後、異常を検知した原稿からスキャンを継続します。

[「原稿の重送を検知する」](#) (→ P.47)

\* 継続モードは、「紙詰まり」、「重送」、「斜行」、「ステープル」を検知して搬送が停止したときに有効です。

### ● A4 キャリアシート

別売りのキャリアシート (A4) を使用して、原稿を傷つけずにスキャンできます。

### ● 給紙間隔設定

原稿の給紙間隔を設定できます。給紙間隔を広げることで、排紙した用紙が揃いやすくなります。

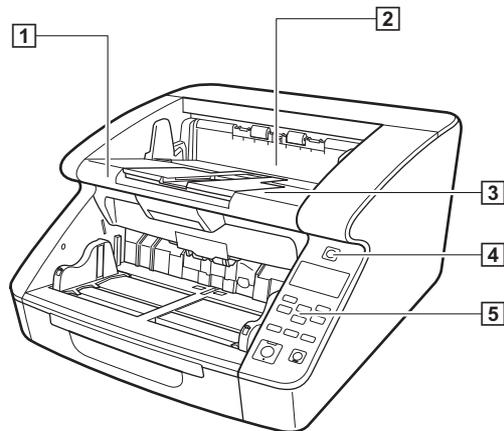
## オプション

### ● インプリンター

スキャンした原稿に印字することができます。

## 各部の名称と機能

### 前面



#### ① 上部ユニット

原稿が詰まったときやローラーの清掃時に開きます。(→ P.123)

#### ② インプリンターカバー

オプションのインプリンターのインクカートリッジを交換するときや、インプリンターの清掃時に開きます。(→ P.137)

#### ③ 排紙トレイ

スキャンした原稿が排出されます。(→ P.37)

#### ④ 電源スイッチ

スキャナーの電源をオン / オフします。(→ P.10)

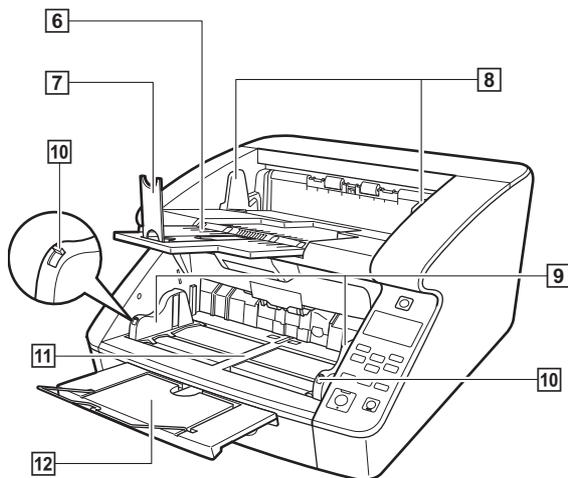
#### ⑤ 操作パネル

(→ P.26)

#### ⚠ 注意

インプリンターカバーは、オプションのインプリンターが装着されていない場合には、開けないでください。

## 前面（給排紙部を開いた状態）



### ⑥ 排紙補助トレイ

原稿が排紙トレイから落ちるようなときに開きます。(→ P.37)

### ⑦ 排紙ストッパー

原稿の長さに合わせて調整することで、原稿の飛び出しを防ぎます。  
(→ P.38)

### ⑧ 排紙原稿ガイド

原稿の幅に合わせて調整することで、排出される原稿をそろえます。  
(→ P.37)

### ⑨ 給紙原稿ガイド

原稿の幅に合わせて調整します。(→ P.34、P.35)

### ⑩ 原稿ガイドロックレバー

原稿ガイドをロックします。(→ P.35)

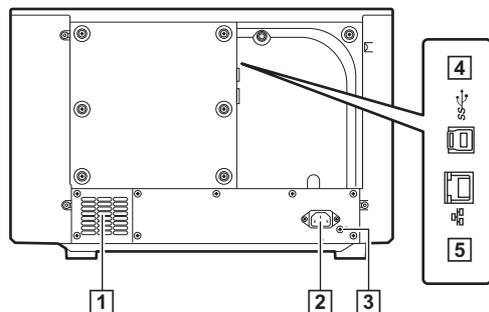
### ⑪ 給紙トレイ

スキャンする原稿をセットします。(→ P.32)

### ⑫ 給紙補助トレイ / ワイヤ

原稿の長さに合わせて引き出します。(→ P.34)

## 背面



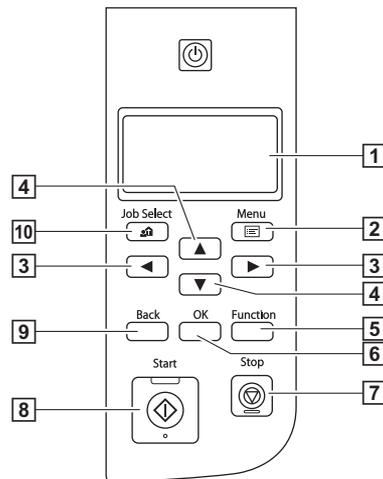
- 1 通気孔（排気ファン）**  
本機内部の熱を排熱します。
- 2 電源コネクター**  
付属の電源コードを接続します。（→ P.8）
- 3 アース端子**  
付属のアースを接続します。（→ P.8）
- 4 USB コネクター（Type B）**  
付属の USB ケーブルを接続します。（→ P.9）
- 5 LAN コネクター（RJ-45）**  
RJ-45(10Base-T/100Base-TX/1000Base-T) に対応したネットワークケーブルを接続します。（→ P.9）



### 注意

通気孔はふさがらないでください。本機の内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。

## 操作パネル



- 1 表示パネル**  
ユーザーモードやジョブ、メッセージ、カウンターなどを表示します。
- 2 Menu キー**  
ユーザーモードを表示します。（→ P.53）
- 3 ◀▶ キー**  
ユーザーモードやジョブなどの機能を選択します。
- 4 ▲▼ キー**  
ユーザーモードやジョブなどの機能を選択します。

### 5 Function キー

割り当てられた機能を実行します。(→ P.51)

### 6 OK キー

ユーザーモードを選択、確定します。

### 7 Stop キー

実行中のスキャンを停止します。

### 8 Start キー

スキャンを開始します。

### 9 Back キー

表示パネルで一つ前の画面に戻ることができます。

### 10 Job キー

ジョブを選択します。(→ P.64)

### 表示パネルの表示例

表示パネルに表示される内容は、スキャナーの状態によって異なります。代表的な表示例は以下のとおりです。

#### ● 画面の表示内容



#### ① タイトル部

スキャナーの接続モードを表示します。

USB 接続時はタイトルの後に「(USB)」が表示されます。ネットワーク上でスキャナーとコンピューターが接続されたときは「(LAN)」が表示されます。

#### ② コメント部

選択可能なメニュー項目やジョブ項目、エラーメッセージなどを表示します。

#### ③ 操作ボタン部

スキャン中に操作可能なボタンのアイコンや設定状態を表すアイコンが表示されます。

表示されるアイコンは以下のとおりです。

: 手差しモード設定

: ニューファイル設定

キー

キー

(OK) キー

(Start) キー

(Stop) キー

(Menu) キー

-  (Job) キー
-  (Back) キー
-  (Function) キー

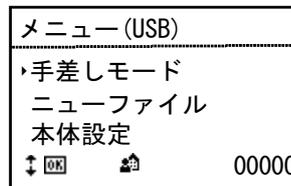
- ④ 表示カウント部  
スキャンした原稿の枚数を表示します。

● ジョブ画面



電源を入れるとジョブ画面が表示されます。  
この画面では、登録ジョブが最大 99 件まで表示されます。  
"文書 (白黒)", "カタログ (カラー)", "免許証" は登録ジョブ名の例です。  
▲▼キーでジョブを選択し、Start キーで選択中のジョブを実行します。

● メニュー画面



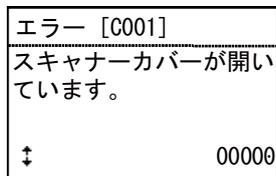
ジョブ画面が表示されている時に、Menu キーを押すとメニュー画面が表示されます。

メニューが表示されているときに Job キーを押すと、ジョブ画面に戻ります。

▲▼キーでメニューを選択し、OK キーで選択中のメニューを確定します。  
表示パネルから選択 / 実行できるメニュー項目は次のとおりです。

【メニュー】画面に表示される項目	説明
手差しモード	手差し給紙モードになります。
ニューファイル	ファイル区切り機能が有効になります。
本体設定	本機の設定を行うための項目を表示します。
スキャン設定	スキャンの設定を行うための項目を表示します。
カウントオンリー	カウントオンリーモードを実行するためのカウントオンリー設定画面を表示します。
カウントクリアー	表示カウント部 (表示部右下) に表示しているカウントをリセットします。
インプリンターテスト	インプリンターテストを実行するためのインプリンターテスト画面を表示します。
メンテナンス	本機の各種情報を表示します。
ネットワーク	ネットワーク設定を確認 / 変更します。

● メッセージ画面



スキャナーの状態を表示します。

スキャン中は、搬送に関わる情報が表示されます。

エラーが発生したときは、エラーコード、エラーの内容が表示されます。

● Function キーについて

Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールで Function キーに以下の機能を割り当てることができます。[「Function キーに機能を割り当てる」](#)  
[\(→ P.51\)](#)

- カウントクリアー
- カウントオンリー
- 手差し給紙
- バッチ区切り

本機の工場出荷時の設定では「カウントクリアー」が割り当てられています。

# 本機の使いかた

## 原稿について

本機は、名刺、小切手などの小さいものから、A3 サイズまでの原稿をスキャンすることができ、搬送できる原稿は給紙方法によって以下のサイズ、紙厚の原稿が使用できます。

### サイズ

- 幅 : 50.8 ~ 305mm (2" ~ 12.01")  
長さ : 70 ~ 432mm (2.76" ~ 17.01")  
(長尺モードが [標準 (432mm)] の場合)  
70 ~ 1,000mm (2.76" ~ 39.37")  
(長尺モードが [長尺 (1000mm)] の場合)  
70 ~ 3,000mm (2.76" ~ 118.11")  
(長尺モードが [長尺 (3000mm)] の場合)  
70 ~ 5,588mm (2.76" ~ 220")  
(長尺モードが [長尺 (5588mm)] の場合)



### ヒント

スキャナー本体の設定を長尺モードに設定することにより、最大 5,588mm (220") までの原稿をスキャンすることができます。  
[長尺の原稿をスキャンする] (→ P.45)

### 紙厚

- 連続給紙 : 20g/m<sup>2</sup> ~ 209g/m<sup>2</sup> (0.04mm ~ 0.25mm)  
手差し給紙 : 20g/m<sup>2</sup> ~ 255g/m<sup>2</sup> (0.04mm ~ 0.3mm)



### ヒント

連続給紙は、原稿の束を給紙トレイにセットして、フィードローラーとリタードローラーで原稿を 1 枚ずつ分離しながら連続給紙を行います。

### 重要

読み取る原稿には一定の基準があります。次の項目をよくお読みください。

- 複数枚の原稿を一度に読み取るときは、原稿のサイズ、厚さ、紙質をそろえてください。異なる条件の原稿を給紙すると、紙詰まりの原因になります。
- インクが乾いていない原稿は、ローラーや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。必ず乾かしてから読み取りを行ってください。
- 鉛筆などで書かれた原稿は、ローラーや読み取りガラスを汚し、画像にすじが入る原因になったり、他の原稿を汚す原因になります。このような原稿を読み取った後は、スキャナーの内部を清掃してください。
- 薄い紙の両面原稿を読み取る場合、読み取ったときに裏写りすることがあります。あらかじめアプリケーションソフトウェアで読み取る明るさを調整するか、「裏写り / 地色除去」の設定を有効にしてから実行してください。
- 次のような原稿を読み取ろうとすると、紙づまりや故障の原因になりますのでご注意ください。このような原稿を読み込むときは、複写機でコピーしてから読み取ってください。



しわや折り目が入っている。



カーボン紙。



カール (巻き付け) がある。



表面がコーティングされている。



破れている。



半透明の薄紙など極端に薄い。



クリップやステイプルの針が付いている。



紙粉が出やすい紙

- 複数枚綴りの伝票をスキャンするときは、綴じられている側を給紙口に向けて、「手差し給紙」でスキャンします。
- 長尺モードの場合、手差し給紙で1枚ずつスキャンします。
- 半折り原稿の場合、手差し給紙で1枚ずつスキャンします。

#### 積載枚数

500枚 (80g/m<sup>2</sup> 紙)

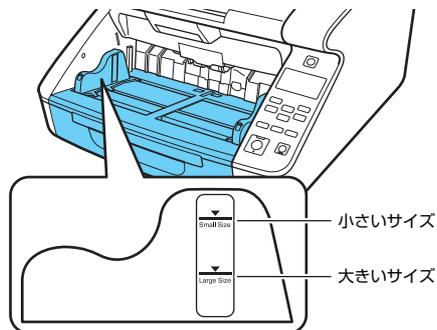
A4より大きいサイズの場合は200枚 (80g/m<sup>2</sup> 紙)

積載高さ48mmまで (最大)



**重要**

給紙トレイの積載制限マークの位置以上に原稿をセットしないでください。紙詰まりの原因になります。



小さいサイズ：A4以下の大きさの原稿をセットするとき

大きいサイズ：A4より大きい原稿をセットするとき

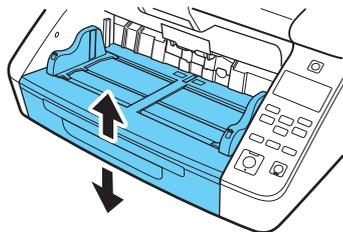
## 給紙トレイ、排紙トレイの準備

原稿をスキャンする前に、原稿に合わせて給紙トレイと排紙トレイの準備を行います。

### 給紙トレイの準備

#### 給紙トレイ

給紙トレイの高さはセットする原稿の量によって調整することができ、初期値では一番低い位置に設定されています。



給紙トレイの高さは、スキャナードライバーまたはユーザーモードの【トレイ位置】で設定できます。

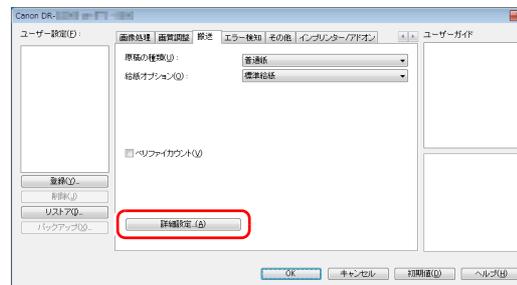
セットする原稿の枚数に適した位置に設定することにより搬送を開始するまでの時間が短くなります。

### スキャナードライバーでの設定

初期設定では、給紙トレイの高さはスキャナードライバーで設定します。

**1** スキャナードライバーの設定画面を開きます。(→ P.96)

**2** 【搬送】タブで【詳細設定】ボタンをクリックします。  
【詳細搬送設定】ダイアログボックスが開きます。

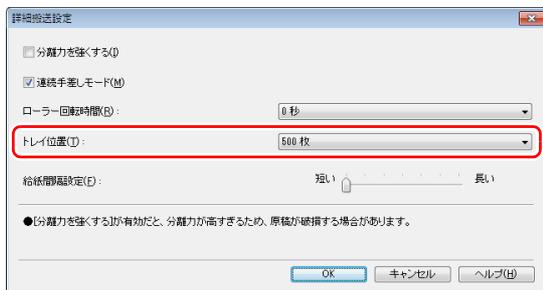


### 3 【トレイ位置】でセットする原稿の枚数を選択します。

[500 枚] : 原稿のセット枚数が 500 枚以下

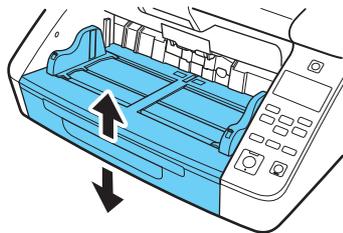
[300 枚] : 原稿のセット枚数が 300 枚以下

[100 枚] : 原稿のセット枚数が 100 枚以下



### 4 [OK] ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

給紙トレイが設定した高さに移動します。



### ユーザーモードでの設定

ユーザーモードで給紙トレイの高さを設定します。

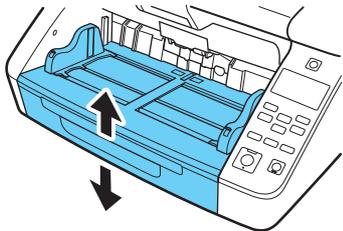
Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールを使うと、給紙トレイの高さをユーザーモードで設定できるようになります。

[「スキャナードライバーで設定可能なメニュー」](#) (→ P.55)

- 1 操作パネルの Menu キーを押します。  
ユーザーモードになります。[「ユーザーモードの操作」](#) (→ P.53)
- 2 ▲▼キーを押して **【スキャン設定】** を選択し、OK キーを押します。  
スキャンの設定項目が表示されます。
- 3 ▲▼キーを押して **【トレイ位置】** を選択し、OK キーを押します。  
トレイ位置の設定項目が表示されます。
- 4 設定を確認します。  
[500] : 原稿のセット枚数が 500 枚以下  
[300] : 原稿のセット枚数が 300 枚以下  
[100] : 原稿のセット枚数が 100 枚以下

## 5 ▲▼キーを押して選択し、OK キーで確定します。

給紙トレイが設定した高さに移動します。



## 6 Menu キーを押して元の画面に戻ります。

### 原稿ガイド

原稿の幅に合わせて原稿ガイドの位置を調整します。

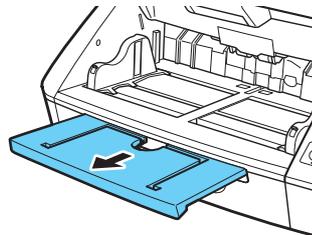


### 💡 ヒント

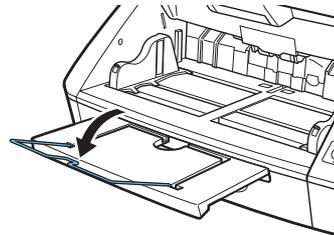
原稿ガイドをロックして左右の位置を変えることができます。詳細については「[原稿ガイドの調整](#)」(→ P.35) を参照してください。

### 給紙補助トレイ／ワイヤ

原稿の長さに合わせて給紙補助トレイを引き出します。



補助ワイヤを開きます。



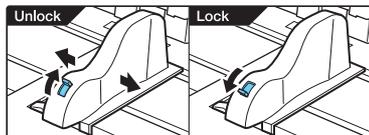
### 💡 ヒント

補助ワイヤは、原稿が給紙補助トレイよりはみ出す場合に使用します。

## 原稿ガイドの調整

原稿ガイドは給紙口中心に対して左右均等に開き、原稿を給紙口の中心にセットします。

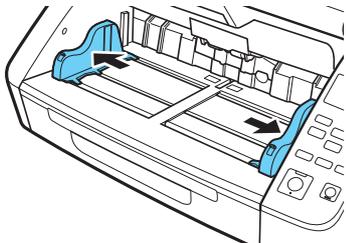
原稿ガイドにはロックレバーがあり、原稿を右または、左に寄せてセットするときは、原稿ガイドをロックして原稿ガイドの左右の位置を変更することができます。



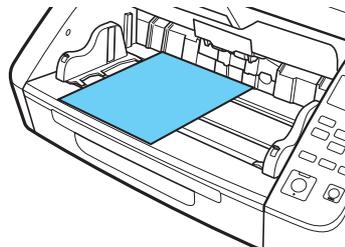
### 原稿を左に寄せる場合の調整手順

原稿を左に寄せてセットする手順を一例として説明します。

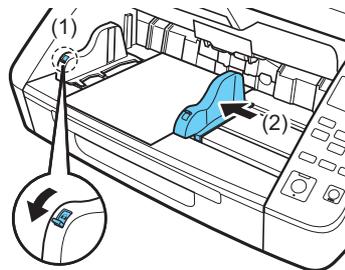
- 1 原稿ガイドを左右いっばいに開きます。



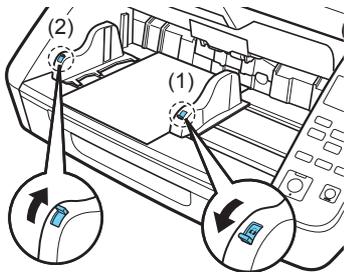
- 2 原稿をセットします。



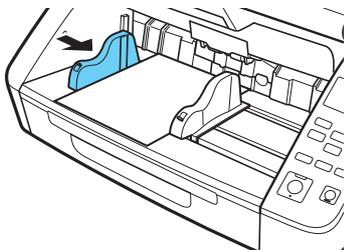
- 3 左側の原稿ガイドをロックし (1)、右側の原稿ガイドを原稿に合わせて (2)。



- 4** 右側の原稿ガイドをロックし (1)、左側の原稿ガイドのロックを解除します (2)。



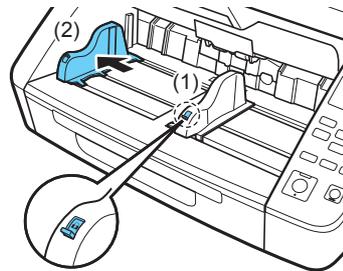
- 5** 左側の原稿ガイドを原稿に合わせてます。



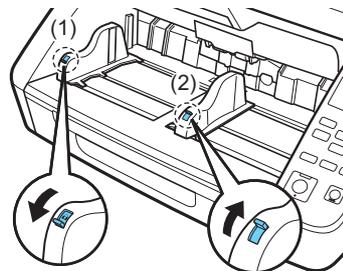
## 原稿ガイドのリセット

原稿ガイドを左右均等の位置に戻すときは、以下の手順で原稿ガイドを左右いっばいまで開きます。

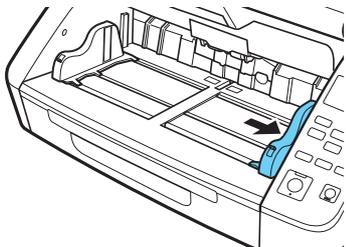
- 1** 右側の原稿ガイドのロックを確認し (1)、左側の原稿ガイドを左側いっぱいまで開きます (2)。



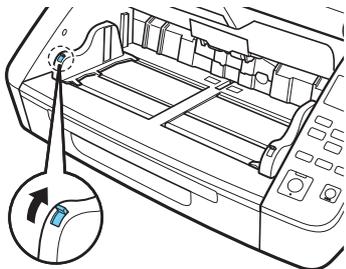
- 2** 左側の原稿ガイドをロックし (1)、右側の原稿ガイドのロックを解除します (2)。



- 3** 右側の原稿ガイドを右側いっぱいまで開きます。



- 4** 左側の原稿ガイドのロックを解除します。

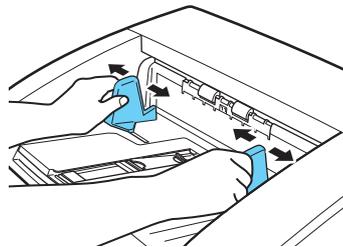


## 排紙トレイの準備

排紙トレイには、原稿ガイドと排紙補助トレイ、排紙ストッパーがあり、それぞれセットした原稿の幅と長さに合わせて調整します。

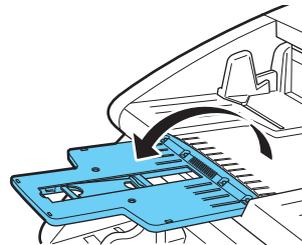
### 原稿ガイド

両側の原稿ガイドを持ち、セットする原稿の幅に合わせて位置を調整します。原稿の排紙位置は、カウントオンリーモードで原稿を1枚搬送することで確認できます。「[カウントオンリーモード](#)」(→P.49)



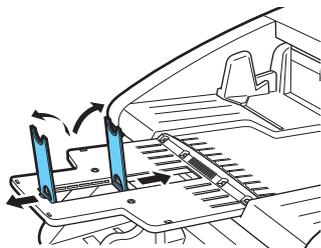
### 排紙補助トレイ

原稿が排紙トレイから落ちるようなときは、排紙補助トレイを開きます。



## 排紙ストッパー

原稿が排紙トレイから飛び出して落下するようなときは、排紙ストッパーを立てて原稿が飛び出さないようにします。



### ヒント

排紙ストッパーは排紙補助トレイに設けられており、原稿の長さに合わせて位置を調整します。

A4 サイズの原稿をセットするときは、排紙補助トレイを閉じて、上側の排紙ストッパーを立てます。A3 サイズの原稿をセットするときは、排紙補助トレイを開いて、上側の排紙ストッパーを立てます。

## 給紙方法について

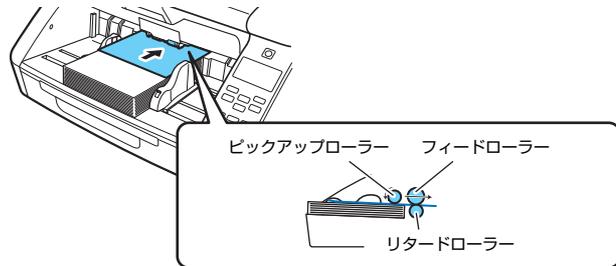
原稿の給紙方法には、給紙トレイにセットした原稿をピックアップローラーで連続して搬送する「連続給紙」と、ピックアップローラーを停止させ、原稿がフィードローラーで搬送される位置まで 1 枚ずつ手で差し込む「手差し給紙」があります。

### 給紙方法の選択

給紙方法は標準で「連続給紙」に設定されており、ISIS/TWAIN ドライバーの「給紙オプション」で「手差し給紙」を選択または、ユーザーモードで「手差しモード」を有効にしたときに「手差し給紙」になります。また、滑りの悪い原稿の束をスキャンする際に原稿の分離を確実にを行う方法として、「連続手差しモード」が用意されています。

### 連続給紙

連続給紙では、ピックアップローラーで引き込まれた原稿を、フィードローラーで搬送するとともに、原稿が重送しないようにリターンローラーで原稿を 1 枚ずつ分離します。



### 手差し給紙

給紙トレイが上昇して 1 枚ずつの給紙になります。

手差し給紙のときはピックアップローラーが停止しているため、原稿をフィードローラーで引き込まれる位置まで挿入します。



#### 重要

- 手差し給紙では、リターンローラーによる原稿の分離を行いません。複数枚の原稿をセットすると、まとめて搬送されて紙詰まりになる場合があります。
- 複数枚綴りの伝票をスキャンするときは、綴じられている側を給紙口に向け、「手差し給紙」でスキャンします。

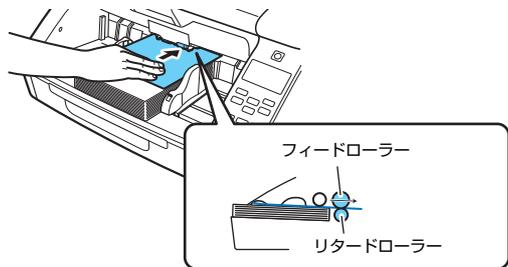
#### ヒント

- 手差し給紙モードのときは、表示パネルに  アイコンが表示されます。
- ユーザーモードの「手差しモード」の設定は、ISIS/TWAIN ドライバーで設定する「給紙オプション」の「手差し給紙」と相互に連動しています。ユーザーモードの「手差しモード」を有効にする、または「給紙オプション」を「手差し給紙」に設定すると給紙トレイが上昇します。
- Function キーに「手差し給紙」が割り当てられている場合は、Function キーを押すと手差し給紙の有効/無効を切り替えることができます。

[「Function キーに機能を割り当てる」](#) (→ P.51)

## 連続手差しモード

連続手差しモードはユーザーモードで設定し、連続給紙で原稿の分離がうまくできないような原稿をスキャンするときに使用します。



### ヒント

通常の手差し給紙では、原稿の束をスキャナーの横に置いて、原稿を1枚ずつ取り上げて給紙するのに対して、連続手差しモードでは、原稿の束を給紙トレイに置いて1枚ずつ差し込むため作業が楽になります。

連続手差しモードは、スキャナードライバーまたはユーザーモードの「連続手差しモード」で設定できます。

### 重要

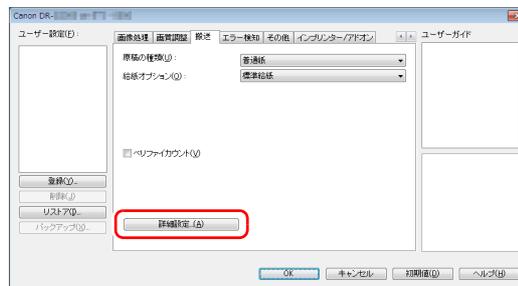
「連続手差しモード」をオンにしたときは、スキャンが終了したら必ず「連続手差しモード」をオフに戻してください。他の人が使用するとき連続給紙ができなくなります。

## スキャナードライバーでの設定

初期設定では、連続手差しモードはスキャナードライバーで設定します。

**1** スキャナードライバーの設定画面を開きます。(→ P.96)

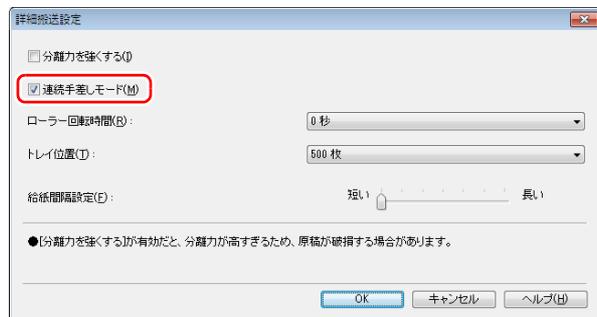
**2** 「搬送」タブで「詳細設定」ボタンをクリックします。  
「詳細搬送設定」ダイアログボックスが開きます。



### 3 [連続手差しモード] チェックボックスをオンにします。

オン : ピックアップローラーを無効にし、セットした原稿は1枚ずつフィードローラーで搬送されるまで差し込みます。

オフ : [手差しモード] が有効になっている場合を除き、ピックアップローラーにより原稿が連続搬送されます。



### 4 [OK] ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

## ユーザーモードでの設定

ユーザーモードで連続手差しモードの有効/無効を設定します。

Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールを使うと、連続手差しモードをユーザーモードで設定できるようになります。

[\[スキャナードライバーで設定可能なメニュー\]](#) (→ P.55)

### 1 操作パネルの Menu キーを押します。

ユーザーモードになります。[\[ユーザーモードの操作\]](#) (→ P.53)

### 2 ▲▼キーを押して [スキャン設定] を選択し、OK キーを押します。

スキャンの設定項目が表示されます。

### 3 ▲▼キーを押して [連続手差し] を選択し、OK キーを押します。

連続手差しの設定項目が表示されます。

### 4 ▲▼キーを押して [On/Off] を選択し、OK キーを押します。

### 5 設定を確認します。

[On] : ピックアップローラーを無効にし、セットした原稿は1枚ずつフィードローラーで搬送されるまで差し込みます。

[Off] : [手差しモード] が有効になっている場合を除き、ピックアップローラーにより原稿が連続搬送されます。

### 6 ▲▼キーを押して選択し、OK キーで確定します。

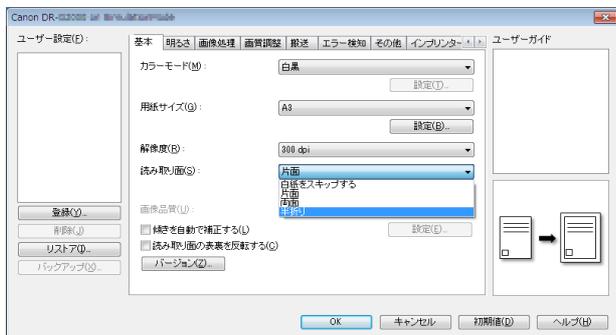
### 7 Menu キーを押して元の画面に戻ります。

## A3 より大きい原稿をスキャンする

給紙口にセットすることができないA3サイズより大きい原稿を読み取る方法として「半折りスキャン」があります。半折りスキャンでは、原稿を半折りにしてセットし、半折り原稿の両面を読み取ってできた表裏の画像を1つの画像に合成します。

**1** スキャナードライバーの設定画面を開きます。(→ P.96)

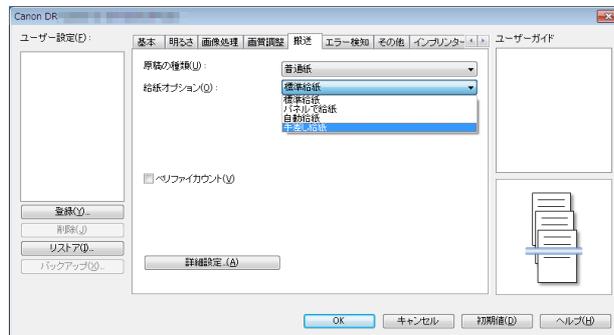
**2** 【基本】タブの【用紙サイズ】を実際にスキャンする用紙サイズの半分のサイズに設定し、【読み取り面】を【半折り】にします。たとえば、A2サイズの原稿を半折りでスキャンするときは、【用紙サイズ】を【A3】にします。



### ! 重要

【読み取り面】を【半折り】にすると、【エラー検知】タブの【再送検知】の【超音波で検知】が自動的にオフになります。

**3** 【搬送】タブの【給紙オプション】を【手差し給紙】にします。(→ P.39)



**4** 【OK】ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

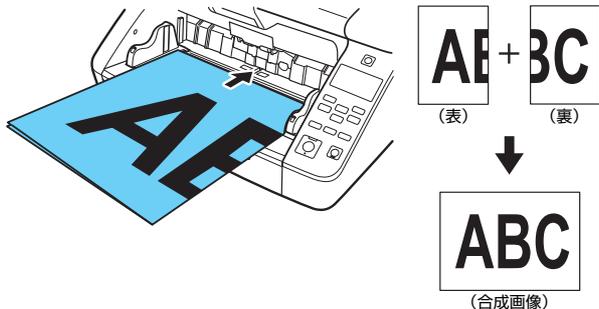
**5** 原稿を2つに折ります。

原稿の中心に折り目をしっかりとつけて2つに折ります。折った原稿の端がきれいに揃うように折ってください。原稿の折り方によっては、紙詰まりが発生したり、合成後のスキャン画像にずれが生じることがあります。

### ! 重要

折り目の部分は、スキャン画像の一部が欠落します。

## 6 原稿を、折り目を右に向け、セットします。



### ! 重要

原稿ガイドは原稿の幅に合わせてください。原稿ガイドの位置が広がっていると斜行、画像のスレの原因になります。

### 💡 ヒント

- おもて面の画像が合成された画像の左半分になります。
- 合成される画像は最大A2サイズの画像です。この方法でA2サイズの原稿がスキャンできます。非定形サイズの原稿を半折りスキャンする場合は、スキャナードライバーの設定画面で [用紙サイズ] の設定を [原稿のサイズに合わせる] にしてください。(→P.100)

## キャリアシートを使用してスキャンする

原稿を傷付けずにスキャンするときや、カーボン紙のようにローラーや搬送路を汚してしまう原稿をスキャンするときは、別売りのキャリアシートに原稿を入れてスキャナーにセットします。

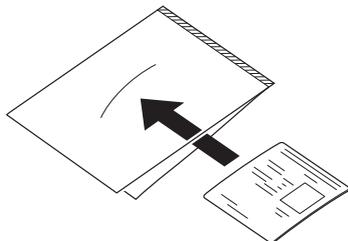
- 1 スキャナードライバーの設定画面を開きます。(→P.96)
- 2 [搬送] タブを開き、[原稿の種類] で [キャリアシート] を選択します。



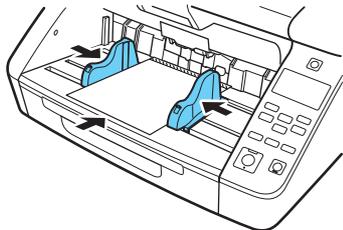
- 3 [OK] ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

#### 4 原稿をキャリアシートに入れます。

キャリアシートは、一度に3枚までスキャナーにセットできます。



#### 5 キャリアシートの縦じしりを先端にして原稿をセットします。



原稿をセットしたら、原稿ガイドを原稿の両端に合わせてください。

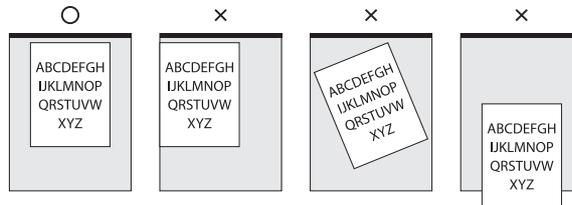


**注意**

キャリアシートや中の原稿が正しくセットされていないと、原稿が詰まったり、きれいにスキャンされない場合があります。

#### ! 重要

- キャリアシートには、原稿をまっすぐ中央に入れてください。原稿が端に寄っていたり、傾いていたたり、キャリアシートからはみ出していると、正常にスキャンできません。



- キャリアシートに入れてスキャンできる原稿の厚さは  $127\text{g}/\text{m}^2$  ( $0.15\text{mm}$ ) 以下です。  
 $127\text{g}/\text{m}^2$  を超える原稿は、紙詰まりが発生するなど、本機の故障の原因になります。
- キャリアシートは消耗品です。傷や汚れが目立つ場合は、必要に応じて交換してください。
- キャリアシートの交換目安は、 $80\text{g}/\text{m}^2$  紙1枚を入れてスキャンした場合で1,000枚です。

## 長尺の原稿をスキャンする

本機を長尺モードにすると、最大 5,588mm までの原稿をスキャンすることができます。

長尺モードは、スキャナードライバーまたはユーザーモードの [長尺] で設定できます。

## スキャナードライバーでの変更

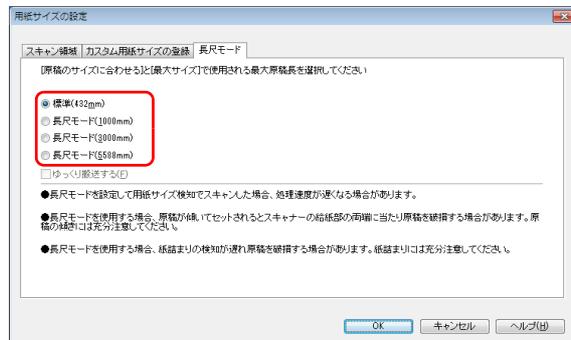
初期設定では、長尺モードはスキャナードライバーで設定します。

1 スキャナードライバーの設定画面を開きます。(→ P.96)

2 [基本] タブで [用紙サイズ] の [設定] ボタンをクリックします。  
[用紙サイズの設定] ダイアログボックスが開きます。



3 [長尺モード] タブをクリックし、長尺モードを指定します。  
原稿の長さに応じて [長尺モード (1000mm)] または [長尺モード (3000mm)] [長尺モード (5588mm)] を選択してください。



### ヒント

[ゆっくり搬送する] チェックボックスをオンにすると、解像度やモードの設定に関係なく、原稿が低速で搬送されます。

4 [OK] ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

### ヒント

長尺モードの設定を行うと、[基本] タブの [用紙サイズ] に「(長尺)」が表示されます。

## ユーザーモードでの設定

ユーザーモードで長尺モードを設定します。

Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールを使うと、長尺モードをユーザーモードで設定できるようになります。「[スキャナードライバーで設定可能なメニュー](#)」(→ P.55)

- 1** 操作パネルの Menu キーを押します。  
ユーザーモードになります。「[ユーザーモードの操作](#)」(→ P.53)
- 2** ▲▼キーを押して [スキャン設定] を選択し、OK キーを押します。  
スキャンの設定項目が表示されます。
- 3** ▲▼キーを押して [長尺] を選択し、OK キーを押します。  
長尺の設定項目が表示されます。
- 4** ▲▼キーを押して [最大原稿長] を選択し、OK キーを押します。
- 5** ▲▼キーを押して長尺モードを指定します。  
原稿の長さに応じて [長尺 (1000mm)] または [長尺 (3000mm)] [長尺 (5588mm)] を選択してください。
- 6** OK キーで確定します。

## 7 Menu キーを押して元の画面に戻ります。

### ! 重要

- 長尺モードでスキャンする場合、処理速度が低下することがあります。
- 長尺モードを [長尺 (3000mm)] または [長尺 (5588mm)] に設定してスキャンする場合、読み取りモードをカラー、画像品質を [画質優先] にした組み合わせでスキャンすると、画像が欠けることがあります。このようなときは、白黒にしたり、画像品質を低くしてスキャンしてください。
- 長尺モードを [長尺 (3000mm)] または [長尺 (5588mm)] に設定してスキャンする場合、400/600dpi でスキャンしたり、読み取りモードをカラー、読み取り面を「両面」にした組み合わせでスキャンすると、画像が欠けることがあります。このようなときは、解像度を低くしたり、白黒にしたり、読み取り面を「片面」にしてスキャンしてください。
- 長い原稿をスキャンする場合、原稿が傾いてセットされると原稿の後部が給紙部の両端に当たり原稿を破損する場合があります。原稿の傾きには十分注意してください。
- 長い原稿をスキャンする場合、紙詰まりの検知が遅れて原稿を破損する場合があります。紙詰まりには十分注意してください。
- 長い原稿をスキャンする場合、[手差しモード] を有効にして、手差しで 1 枚ずつ給紙してください。「[手差しモード](#)」(→ P.57)

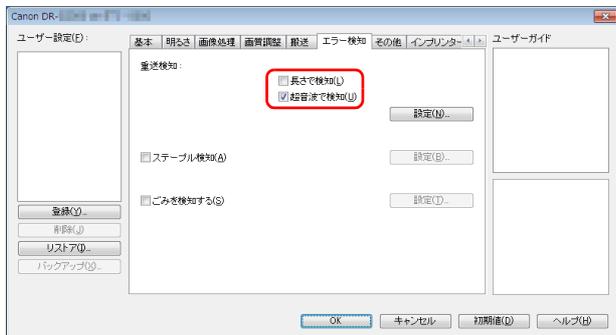
## 原稿の重送を検知する

本機には原稿の重送を検知する機能があります。この機能を使用すると、複数枚の原稿が同時に給紙されたことが検知された場合に、スキャン動作が自動的に停止します。また、スキャンし終わった原稿のスキャン画像を保存してスキャンを継続するかどうかを指定できます（重送検知無視機能）。

原稿の重送を検知するときは、あらかじめスキャナードライバーの設定画面を開き、重送検知を有効にする必要があります。また、重送検知無視機能を使用するときは継続モードの設定も必要です。

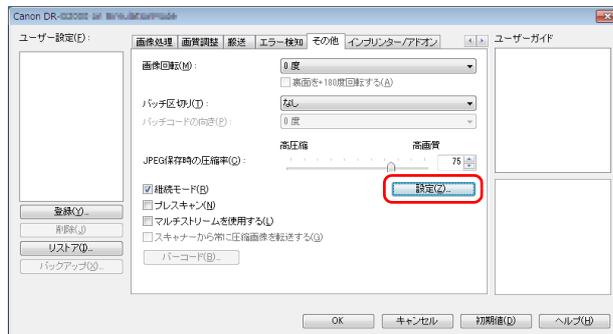
## 設定方法

- 1 スキャナードライバーの設定画面を開きます。（→ P.96）
- 2 [エラー検知] タブを開きます。
- 3 [長さで検知] または [超音波で検知] チェックボックスのどちらか（または両方）をオンにします。

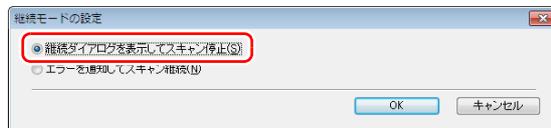


- 4 重送検知無視機能も使用するときは、[その他] タブを開き、[継続モード] チェックボックスをオンにして [設定] ボタンをクリックします。

[継続モードの設定] ダイアログボックスが開きます。



- 5 [継続ダイアログを表示してスキャン停止] を選択して [OK] ボタンをクリックします。



### ヒント

[エラーを通知してスキャン継続] を選択すると、重送が検知されても搬送は停止せず、スキャナーのブザーや LED などで重送が発生したことを通知します。

## 6 [OK] ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

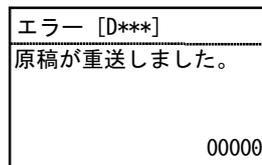
### ! 重要

- プラスチックカードのような原稿の場合、重送と誤検知される場合があります。
- 紙種や紙厚によっては、重送と誤検知される場合があります。重送検知が誤作動する場合は、[エラー検知] タブの [超音波で検知] チェックボックスをオフにしてください。

## 重送が検知されたときの操作

### 重送検知無視機能を使用しない場合

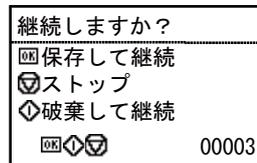
スキャン時に原稿の重送が検知された場合、重送された原稿が排紙されたところで原稿の給紙が停止します。このとき、操作パネルに次のエラーが表示されます。[\[エラーメッセージ\]](#) (→ P.152)



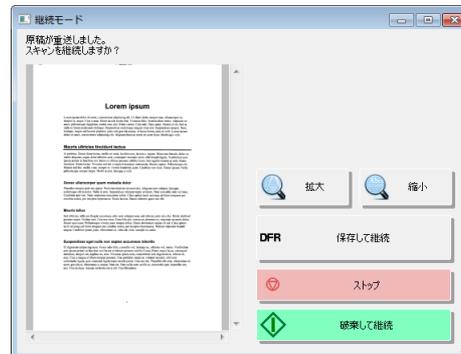
また、重送が検知されたことを知らせるメッセージ画面が表示されます。

### 重送検知無視機能を使用する場合

スキャン時に原稿の重送が検知された場合、重送された原稿が排紙されたところで原稿の給紙が停止します。操作パネルに次のメッセージが表示され、スキャンを継続するかどうかを指定できます。



また、[継続モード] 画面が表示され、スキャンを継続するかどうかを指定できます。



【継続モード】 画面のボタン	操作パネルのキー	説明
【保存して継続】	OK キー	プレビュー表示されている画像をスキャン画像として保存し、残りの原稿をスキャンします。
【破棄して継続】	Start キー	プレビュー表示されている画像を破棄してスキャンを継続します。 このボタンをクリックする前に、重送した原稿をセットし直してください。
【ストップ】	Stop キー	プレビュー表示されている画像を破棄してスキャンを中止します。

## 原稿枚数をカウントする

スキャンを行う前に原稿の枚数をカウントする機能があります。

### カウントオンリーモード

原稿の搬送のみを行い、セットされた原稿の枚数をカウントします。



#### ヒント

カウントオンリーモードは操作パネルで実行し、原稿の枚数のカウントのみであれば、コンピューターの接続に関係なく使用することができます。

- 1** 原稿をセットします。
- 2** 操作パネルの Menu キーを押します。  
ユーザーモードになります。[「ユーザーモードの操作」](#) (→ P.53)
- 3** ▲▼キーを押して【カウントオンリー】を選択し、OKキーを押します。  
カウントオンリーモードになります。



#### ヒント

Function キーに「カウントオンリー」が割り当てられている場合は、Function キーを押すとカウントオンリーモードになります。

[「Function キーに機能を割り当てる」](#) (→ P.51)

- 4** ▲▼キーを押して【スタート】を選択し、OK キーを押します。  
原稿のカウントが開始されます。



#### ヒント

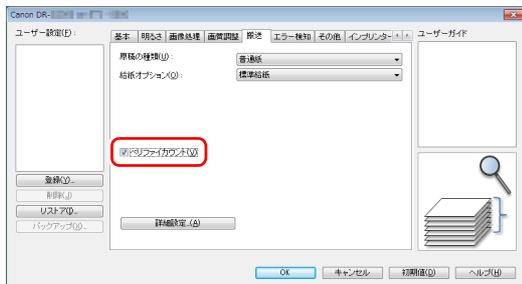
原稿の搬送を停止させたい場合は、Stop キーを押します。

## ベリファイスキャン

カウントオンリーモードでカウントした枚数または、任意に設定した枚数と、セットした原稿の枚数を照合しながらスキャンを行い、設定した枚数とスキャンした枚数に相違がある場合にエラーを表示します。

**1** スキャナードライバーの設定画面を開きます。(→ P.96)

**2** [搬送] タブで [ベリファイカウント] チェックボックスをオンにします。



**3** [OK] ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

**4** カウントオンリーモードでカウンターを設定します。(→ P.49)

### ヒント

カウンターの設定は、カウントオンリーモードでカウントした枚数を利用または、◀▶ キーを押してカウンターを設定します。

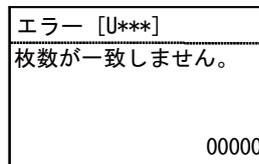
**5** Start キーを押します。

ベリファイスキャンが開始されます。

### ヒント

スキャン中に設定した枚数を越えたときや、設定した枚数に達しないでスキャンが終了したときに、操作パネルに次のエラーが表示されます。

「エラーメッセージ」(→ P.152)



## カウンターをリセットするには

カウントオンリーモードでカウントした枚数をリセットできます。

**1** 操作パネルの Menu キーを押します。

ユーザーモードになります。「ユーザーモードの操作」(→ P.53)

**2** ▲▼キーを押して[カウントクリアー]を選択し、OKキーを押します。

カウントオンリーモードになります。

### ヒント

Function キーに「カウントクリアー」が割り当てられている場合は、Function キーを押すとカウンターがリセットされます。

「Function キーに機能を割り当てる」(→ P.51)

**3** ▲▼キーを押して [Reset] を選択し、OK キーを押します。

カウンターがリセットされます。

## Function キーに機能を割り当てる

Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールで、操作パネルの Function キーに以下の機能を割り当てることができます。

- カウントクリアー
- カウントオンリー
- 手差し給紙
- バッチ区切り

Function キーを押すと、割り当てられた機能の有効/無効を切り替えることができます。

### 重要

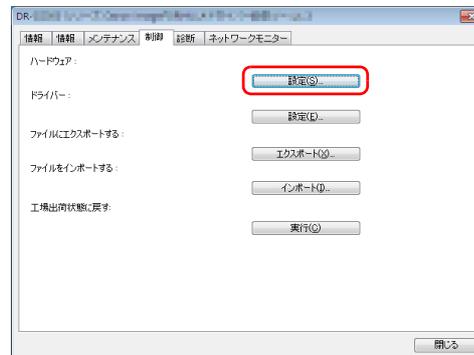
USB 接続時のみ Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールで各種設定をすることができます。有線 LAN 接続時は、Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールの設定は反映されません。

### ヒント

本機の工場出荷時の設定では「カウントクリアー」が割り当てられています。

- 1 Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールの設定画面を開きます。(→ P.114)

- 2 **【制御】** タブで **【ハードウェア】** の **【設定】** ボタンをクリックします。  
ハードウェア設定のダイアログボックスが表示されます。



- 3** [ボタン制御] タブで [FUNCTION] リストから Function キーに割り当てる機能を選択します。



- 4** [OK] ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

# ユーザーモードの操作

## ユーザーモードについて

ユーザーモードは、本機の機能の一部をユーザーが任意に変更することができる機能です。

### ユーザーモードの操作手順

ユーザーモードは以下の手順で操作します。

#### ヒント

ユーザーモードの機能によっては操作手順が異なります。詳細については、それぞれの該当ページを参照してください。[ユーザーモードの機能] (→ P.57)

**1** 操作パネルの Menu キーを押します。  
ユーザーモードになります。

**2** ▲▼キーを押してメニューを選択し、OK キーを押します。

- 下に階層がなく選択項目がある場合は、設定モードになります。
- 下に階層がなく選択項目がない場合は、機能が有効になります。(→ 手順 4 へ)
- メニュー内に設定項目がある場合は、下の階層に含まれる設定項目が表示されます。この手順を繰り返して、メニューを選択します。

メニューの階層と選択できるメニューは次のとおりです。

第一階層	第二階層	第三階層
手差しモード	—	—
ニューファイル	—	—
本体設定	スリープ	—
	オートパワーオフ	—
	画面コントラスト	—
	ブザー	音量 タイミング
	キーリピート	—
	言語	—
スキャン設定	重送検知	—
	分離強度	—
	連続手差し	On/Off ローラー回転時間
	ステータブル検知	—
	長尺	最大原稿長 速度
	トレイ位置	—
	給紙間隔	—
	ごみ検知	—

第一階層	第二階層	第三階層
カウントオンリー	重送検知	—
	ステープル検知	—
	スタート	—
カウントクリアー	—	—
インプリンターテスト	フォント	—
	ヘッドクリーニング	—
	スタート	—
メンテナンス	トータルスキャン	—
	読取センサ LED 点灯	—
	クリーニングシート搬送	—
	給紙ローラーキット	—
	カートリッジインク	—
	読取センサ点灯時間	—
	搬送ローラー	—
	プラテンローラー	—
	排紙ローラー	—
	分離パッド	—
	電源基板動作時間	—
バージョン	—	

第一階層	第二階層	第三階層
ネットワーク	LAN 情報	IP アドレス
		サブネットマスク
		デフォルトゲートウェイ MAC アドレス
ネットワーク	LAN 設定	LAN 設定の各画面が次の順に表示されます。 DHCP (Off) → IP アドレス → サブネットマスク → デフォルトゲートウェイ
		タイムアウト設定

**3** ▲▼◀▶ キーを押して選択し、OK キーで設定を確定します。



- [画面コントラスト] などの調整機能については、◀▶ キーで調整し、OK キーで設定を確定します。
- [カウントオンリー] の画面では◀▶ キーを押すと、表示カウント部がカウントアップ/ダウンされます。

**4** Menu キーを押して元の画面に戻ります。

## スキャナードライバーで設定可能なメニュー

ユーザーモードの一部のメニューについては、スキャナードライバーでも設定できます。

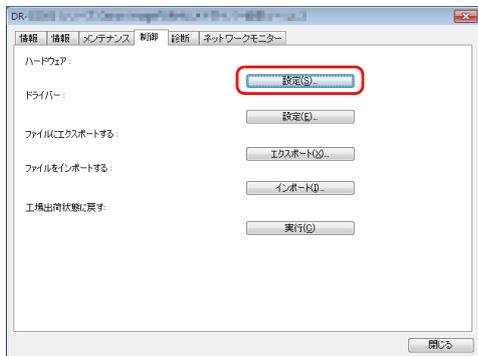
本機で設定するか、スキャナードライバーで設定するかは、Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールで変更できます。

### 重要

USB 接続時のみ Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールで各種設定をすることができます。有線 LAN 接続時は、Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールの設定は反映されません。

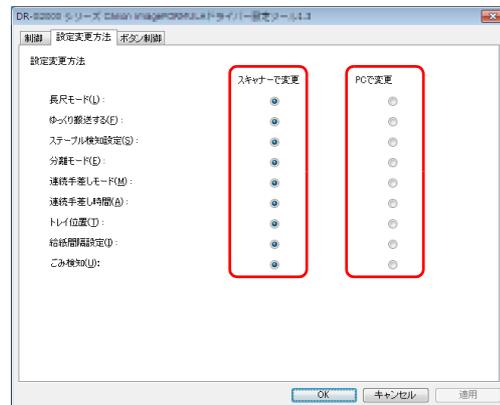
**1** Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールの設定画面を開きます。(→ P.114)

**2** [制御] タブで [ハードウェア] の [設定] ボタンをクリックします。ハードウェアの設定ダイアログボックスが開きます。



**3** [設定方法変更] タブで設定方法を変更します。

- 本機で設定する場合は、[スキャナーで変更] を選択します。
- スキャナードライバーで設定する場合は、[PC で変更] を選択します。





## ヒント

Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールとスキャナーのメニュー名は以下のように対応しています。

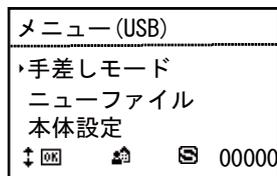
ドライバー設定ツールのメニュー名	スキャナーのメニュー名
長尺モード	長尺（最大原稿長）
ゆっくり搬送する	長尺（速度）
ステーブル検知設定	ステーブル検知
分離モード	分離強度
連続手差しモード	連続手差し（On/Off）
連続手差し時間	連続手差し（ローラー回転時間）
トレイ位置	トレイ位置
給紙間隔設定	給紙間隔
ごみ検知	ごみ検知

## 4 [OK] ボタンをクリックして設定画面を閉じます。

## ユーザーモードの機能

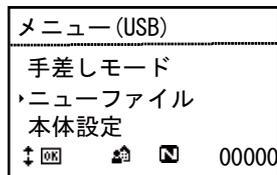
ユーザーモードには以下の機能があります。

### 手差しモード



手差し給紙モードになり **S** アイコンが表示されます。給紙トレイが上昇して 1 枚ずつの給紙になります。「手差し給紙」(→ P.39)  
手差し給紙モードのときに [手差しモード] を選択し OK キーを押すと、手差し給紙モードが無効になります。

### ニューファイル

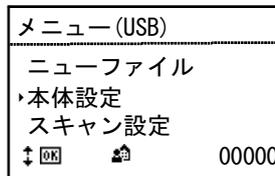


ファイル区切り機能が有効になり **N** アイコンが表示されます。原稿を複数の束に分けてスキャンするときに、続きの原稿をセットしてスキャンするタイミングでバッチが区切られます。

本機能を使用するには、あらかじめスキャナードライバーの [その他] タブの [バッチ区切り] で [パネル] を選択しておく必要があります。[バッチ区切り] で [パネル] が選択されていない場合には、[ニューファイル] を選択してもバッチは区切られません。

ファイル区切り機能が有効な状態のときに [ニューファイル] を選択し、OK キーを押すと、ファイル区切り機能が無効になります。

### 本体設定



以下のメニューを選択して、本機の動作に関する設定を行います。

### スリープ

スキャナーを放置してからスリープモードに移行するまでの時間 (240 分、60 分、10 分) を選択します。

### オートパワーオフ

自動電源オフ機能を設定します。

[On] に設定すると自動電源オフ機能が有効になり、スキャンなどの操作をしないまま 4 時間経過すると自動的に電源がオフになります。

## 画面コントラスト

◀▶ キーで表示パネルのコントラストを調整します。

## ブザー

操作パネルのキーを押したときや、本機がエラーを起こしたときに鳴らすブザーの設定を行います。以下のメニューを選択して設定できます。

### 音量

ブザーの音量（小、中、大）を選択します。

### タイミング

ブザーを鳴らすタイミングを選択します。

なし : ブザー音なし。

エラー : スキャナーがエラーのときにブザーを鳴らします。

操作&エラー : スキャナーエラーと操作パネルのキーを操作したときにブザーを鳴らします。

## キーリピート

パネルの表示方法を設定します。

On : キーを押し続けるとパネルの表示をスクロールします。

Off : キーを押すごとにパネルの表示をスクロールします。

### ヒント

キーリピートは以下のときに有効になります。

- ジョブ機能を使用するとき
- ユーザーモードの各機能を設定するとき

## 言語

パネルに表示させる言語（英語／日本語／フランス語／イタリア語／ドイツ語／スペイン語／オランダ語／ロシア語／トルコ語／中国語（簡）／韓国語）を設定します。

## スキャン設定

メニュー (USB)	
ニューファイル	
本体設定	
▶ スキャン設定	
↓ OK	00000

以下のメニューを選択して、スキャンに関する設定を行います。

## 重送検知

重送検知機能の有効／無効を設定します。

変更なし : 重送検知を有効にします。

無効 : 重送検知を無効にします。

重送検知には、原稿の長さの比較と、超音波による原稿の隙間の検知による2つの検知方法がありスキャナードライバーによって設定することができます。

「原稿が複数枚重なって給紙されるのを検知したい」(→ P.103)

## 分離強度

重送、紙詰まりが起こる場合に、分離モードを変更します。

強分離モード : 紙同士の摩擦が大きく、分離しにくい原稿を給紙するときに使用してください。

普通 : 通常はこの設定で使用してください。

薄紙モード : 薄い原稿を給紙するときに使用してください。

### 注意

「強分離モード」では分離力が高すぎるため、原稿が破損する場合があります。その場合は、「普通」か「薄紙モード」を使用してください。

## 連続手差し

連続手差しモードの設定を行います。以下のメニューを選択して設定できます。

### On/Off

ピックアップローラーによる原稿の引き込みを無効にし、セットした原稿の束を作業者が1枚ずつ手で送り込みます。[「連続手差しモード」](#) (→ P.40)

On : ローラーによる原稿の引き込みを無効にします。

Off : ピックアップローラーで原稿を引き込みます。

### ローラー回転時間

原稿の束を給紙後に搬送ローラーを回し続ける時間 (0 秒、30 秒、60 秒、180 秒、300 秒) を設定します。

## ステープル検知

ステープル検知の感度を設定します。

高感度 : ステープル検知の感度が強くなります。

普通 : ステープル検知の感度が標準になります。

低感度 : ステープル検知の感度が弱くなります

## 長尺

長尺モードの設定を行います。以下のメニューを選択して設定できます。

### 最大原稿長

スキャン可能な、原稿の最大の長さを設定します。

[「長尺の原稿をスキャンする」](#) (→ P.45)

長尺 (5588mm) : 5,588mm までの長さの原稿を自動検知でスキャンできます。

長尺 (3000mm) : 3,000mm までの長さの原稿を自動検知でスキャンできます。

長尺 (1000mm) : 1,000mm までの長さの原稿を自動検知でスキャンできます。

標準 (432mm) : 432mm までの長さの原稿をスキャンできます。

### ヒント

自動検知でスキャンできる長さを越える原稿を搬送したときは紙詰まりで搬送を停止します。

### 速度

長尺モードでの原稿の搬送速度を設定します。

普通 : 原稿が標準の速度で搬送されます。

低速 : 原稿が低速で搬送されます。

## トレイ位置

給紙トレイの基準位置をセットする原稿の量に合わせて設定します。

[「給紙トレイの準備」](#) (→ P.32)

500 : 500 枚以下

300 : 300 枚以下

100 : 100 枚以下

## 給紙間隔

給紙間隔長を設定します。給紙間隔を広げることで、排紙した用紙が揃いやすくなります。初期値は「間隔 1 (短い)」に設定されています。

お使いの機種によって、設定可能な給紙間隔が異なります。

DR-G2140 : 間隔 1 (短い)、間隔 2、間隔 3、間隔 4、間隔 5、間隔 6、間隔 7 (長い)

DR-G2110 : 間隔 1 (短い)、間隔 2、間隔 3、間隔 4、間隔 5、間隔 6 (長い)

## ごみ検知

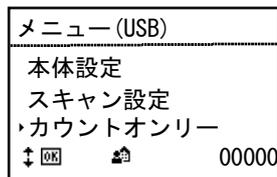
読み取り部のごみを検知するかどうかを設定します。

On (通知&中断) : 読み取り部にゴミが検知されると、スキャナーの表示パネルにメッセージが表示され、スキャンは開始されません。

On (通知&継続) : 読み取り部にゴミが検知されると、スキャナーの表示パネルにメッセージが表示され、スキャンが開始されます。

Off : ごみ検知機能を無効にします。

## カウントオンリー



以下のメニューを選択して、カウントオンリーモードに関する設定を行います。

◀▶ キーを押すと、表示カウント部がカウントアップ/ダウンされます。

## 重送検知

カウントオンリーモード時の重送検知機能の有効/無効を設定します。

On : カウントオンリーモード時に重送検知を有効にします。

Off : カウントオンリーモード時に重送検知を無効にします。

カウントオンリーモード時は、超音波により重送を検知します。

## ステープル検知

カウントオンリーモード時のステープル検知機能の有効/無効を設定します。

On : カウントオンリーモード時にステープル検知を有効にします。

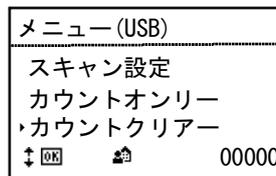
Off : カウントオンリーモード時にステープル検知を無効にします。

## スタート

[スタート] を選択すると、原稿が搬送されカウントが開始されます。

[カウントオンリーモード] (→P.49)

## カウントクリアー



[Reset] を選択すると、表示カウント部 (表示部右下) に表示しているカウントをリセットします。

## インプリンターテスト

メニュー (USB)	
カウントオンリー	
カウントクリア	
・インプリンターテスト	
↓ [OK]    🗑️	00000

以下のメニューを選択して、オプションのインプリンターに関する設定を行います。

オプションのインプリンターが装備されている場合のみ表示されます。

### フォント

インプリンターのテスト印字実行時のフォントを設定します。

[「インプリンターテスト」](#) (→ P.142)

[12x12 (普通)]、[8x12 (普通)]、[12x12 (細)] の3段階で設定できます。

### ヘッドクリーニング

[Start] を選択すると、インプリンターのヘッドクリーニングを実行します。

### スタート

[スタート] を選択すると、インプリンターのテスト印字を実行します。

## メンテナンス

メニュー (USB)	
カウントクリア	
インプリンターテスト	
・メンテナンス	
↓ [OK]    🗑️	00000

以下のメニューを選択して、本機の各種情報を表示させたり、本機を動作させます。

### トータルスキャン

本機に記録されているトータルのスキャン枚数を表示します。

### 読取センサ LED 点灯

読み取りセンサーLEDが点灯し、汚れが見えやすい状態にします。

[「センサーの清掃」](#) (→ P.123)

### クリーニングシート搬送

クリーニングシートを搬送するためのモードになります。専用のクリーニングシートをセットし、Start キーを押すと、クリーニングシートが搬送され、搬送路内の汚れを除去できます。

### 給紙ローラーキット

給紙ローラー (ピックアップローラー、フィードローラー、リタードローラー) を交換し、カウンターをリセットしてからの搬送枚数を表示します。[Reset] を選択すると、給紙ローラーキットの使用枚数がリセットされます。

[「カウンター \(搬送枚数\) の確認とリセット」](#) (→ P.128)

## カートリッジインク

カートリッジインクの残量を表示します。  
オプションのインプリンターが装備されている場合のみ表示されます。



重要

インク残量は目安であり、実際のインク残量は異なることがあります。

## 読取センサ点灯時間

読み取りセンサーのトータルの点灯時間を表示します。

## 搬送ローラー

搬送ローラーの搬送枚数を表示します。

## プラテンローラー

プラテンローラーの搬送枚数を表示します。

## 排紙ローラー

排紙ローラーの搬送枚数を表示します。

## 分離パッド

分離パッドの搬送枚数を表示します。  
[Reset] を選択すると、分離パッドの搬送枚数がリセットされます。

## 電源基板動作時間

電源基板の動作時間を表示します。

## バージョン

本機のバージョンを表示します。

## ネットワーク

メニュー (LAN)	
インプリンターテスト	
メンテナンス	
ネットワーク	
↓ [OK]    🏠	00000

以下のメニューを選択して、ネットワーク設定を確認/変更します。

## LAN 情報

本機に記録されている以下のネットワーク情報を表示します。

- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ
- MAC アドレス

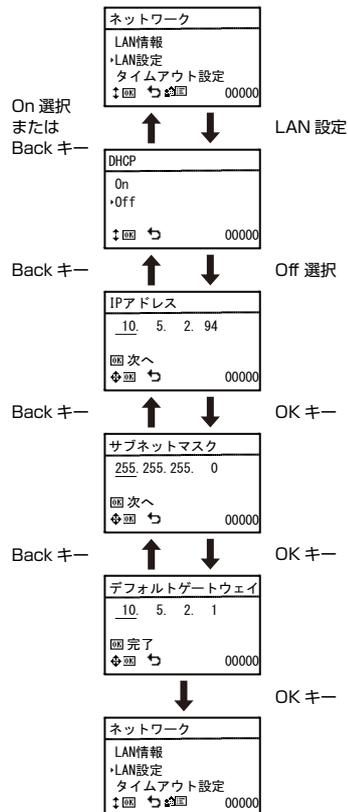
## LAN 設定

DHCP サーバーを使用しない場合、本機に以下のネットワーク情報を設定します。

- DHCP
- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ

[DHCP] で [Off] を選択すると、IP アドレスなどのネットワーク情報の設定画面に遷移できます。

LAN 設定の各画面は次の順に表示されます。



### 重要

- 入力した IP アドレスが「0.0.0.0」、「255.255.255.255」、「127.\*\*\*.\*\*\*.\*\*\*」、「169.254.\*\*\*.\*\*\*」の場合は、警告画面が表示され値が反映されません。
- 入力したサブネットマスクが左寄りの連続した値でない場合は、警告画面が表示され値が反映されません。
- 入力したデフォルトゲートウェイが「0.0.0.0」、「255.255.255.255」、「127.\*\*\*.\*\*\*.\*\*\*」、「169.254.\*\*\*.\*\*\*」の場合は、警告画面が表示され値が反映されません。

### ヒント

ネットワーク情報は Web メニューでも設定できます。

[「ネットワーク設定」](#) (→ P.118)

### タイムアウト設定

ジョブ画面を表示してから PC 選択画面に戻るまでの時間 (Off、30 秒、60 秒) を設定します。

このメニューで設定した時間が経過しても操作がなかった場合は、PC 選択画面に戻ります。

# スキャン方法

## ジョブを選択してスキャンする

本機のスキャン方法には、操作パネルの操作でスキャンを実行する「ジョブ機能」があります。

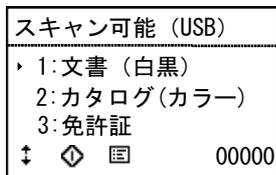
### ジョブ機能について

ジョブ機能は、CaptureOnTouch でジョブ（お気に入り）を登録し、登録したジョブを操作パネルの Job キーで選択／実行してスキャンを行う機能です。ジョブには、スキャン条件や、保存する画像データのファイル形式、保存先が登録され、ジョブ機能でスキャンした画像データはジョブに登録されている条件で処理されます。

ジョブの登録方法については、「お気に入りの登録と編集」(→ P.73) を参照してください。

### ジョブを実行する (USB 接続時)

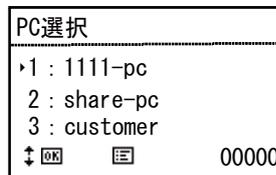
- 1 操作パネルの Job キーを押します。  
USB 接続しているコンピューターに登録されているジョブが表示されます。
- 2 ▲▼キーを押してジョブを選択します。



- 3 Start キーを押します。  
スキャンが開始されます。

### ジョブを実行する (有線 LAN 接続時)

- 1 操作パネルの Job キーを押します。  
PC 選択画面が表示されます。
- 2 ▲▼キーを押して接続するコンピューターを選択します。  
選択したコンピューターに登録されているジョブが表示されます。



#### ! 重要

接続先のコンピューターでCaptureOnTouchが起動していないとジョブが表示されません。

---

**3** ▲▼キーを押してジョブを選択します。

スキャン可能 (LAN)	
▶ 1: 文書 (白黒)	
2: カタログ (カラー)	
3: 免許証	
↑	00000

---

**4** Start キーを押します。  
スキャンが開始されます。

## CaptureOnTouch でスキャンする

### ! 重要

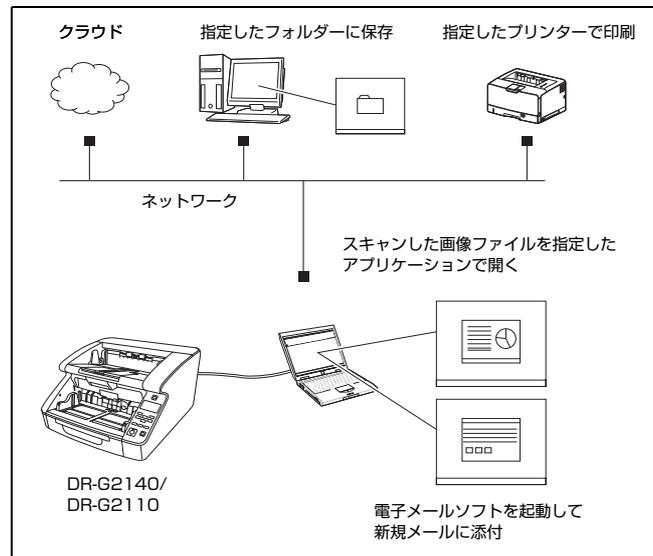
操作パネルから [インプリンターテスト]、[カウントオンリー] または [クリーニングシート搬送] のメニューが選択され、Start キーの LED が点灯しているときは、コンピューターからのスキャン指示を受け付けません。

### CaptureOnTouch とは

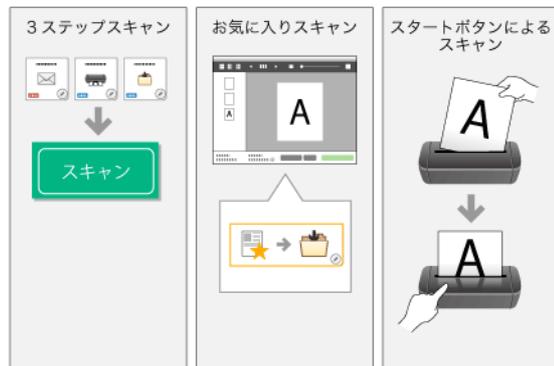
CaptureOnTouch は、画面のパネルを選択するだけの簡単な操作で原稿をスキャンできるスキャニングアプリケーションです。



CaptureOnTouch には、目的や用途に応じて使い分けことが可能な複数のスキャン方法が用意されています。



CaptureOnTouchには、以下のスキャン方法があります。



### 3ステップスキャン

スキャンモードパネルと出力先パネルをクリックし、[スキャン] ボタンをクリックすると原稿がスキャンされます。原稿の種類や使用目的に応じたスキャン方法を選択してスキャンすることができます。

[\[3ステップスキャン\] \(→ P.70\)](#)

### お気に入りスキャン

よく使うスキャンモードと出力方法の組み合わせを一つの「お気に入り」としてあらかじめ登録しておくことができます。お気に入りパネルをクリックするだけでスキャンを実行できます。

[\[お気に入りスキャン\] \(→ P.73\)](#)

### スタートボタンでスキャン

ジョブが割り当てられている場合、原稿をセットしてスタートボタンを押すとスキャンが開始されます。

[\[スタートボタンによるスキャン\] \(→ P.80\)](#)

## CaptureOnTouch の起動と終了

デフォルトでは、コンピューターを起動したときに CaptureOnTouch がシステムに常駐します。



タスクバーの  (CaptureOnTouch アイコン) をクリックし、表示されるメニューの [CaptureOnTouch を開く] をクリックすると、CaptureOnTouch が起動し、メインウィンドウが表示されます。

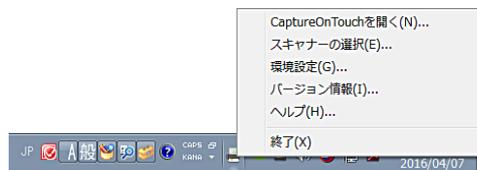
### ヒント

- スタートメニューからも起動できます。[スタート] - [すべてのプログラム] - [CaptureOnTouch] - [CaptureOnTouch V4 Pro] の順にクリックしてください。
- [環境設定] ダイアログボックスの [基本設定] タブで [CaptureOnTouch を常駐する] をオンにしていると、スキャナーのスタートボタンを押してからスキャンが開始するまでの時間が短くなります。詳細は [環境設定] (→ P.92) を参照してください。

## 終了するには

CaptureOnTouch のメインウィンドウを閉じるには、ウィンドウ上部の  をクリックします。この場合、メインウィンドウは閉じますが、システムへの常駐は保持されます。

CaptureOnTouch の常駐を終了するには、タスクバーの  (CaptureOnTouch アイコン) をクリックし、メニューの [終了] をクリックします。



システムへの常駐が終了し、タスクバーのアイコンがなくなります。

## 再起動するには

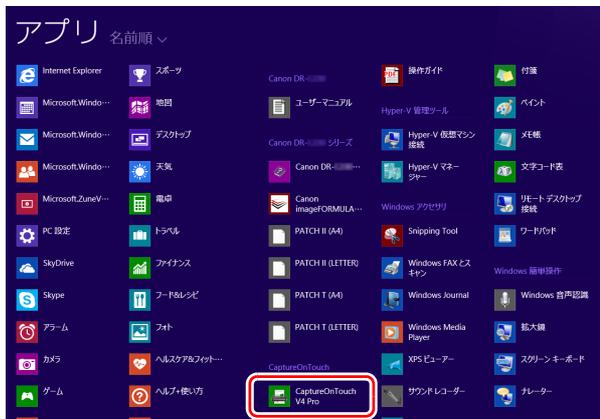
システムへの常駐の終了後に CaptureOnTouch を使用するとき、次のいずれかの手順で再起動してください。CaptureOnTouch が起動してシステムに再度常駐します。

- [スタート] - [すべてのプログラム] - [CaptureOnTouch] - [CaptureOnTouch V4 Pro] の順にクリックする
- スキャナーのスタートボタンを押す (この場合は CaptureOnTouch のメイン画面が開き、スタートボタンに割り当てられたスキャン方法でスキャンを開始します。)



### ヒント

Windows 8.1 では以下の場所に登録されています。



## スキャナーの選択

CaptureOnTouch のスキャナー選択方法について説明します。

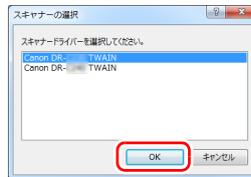
- 1 タスクバーの  (CaptureOnTouch アイコン) をクリックします。



- 2 メニューの [スキャナーの選択] をクリックします。



- 3 ご利用のスキャナーを選択し、[OK] をクリックします。



### ヒント

ご利用のスキャナーが表示されないときは、スキャナードライバを再インストールしてください。(→ P.6)

## 画面の説明

CaptureOnTouchのメイン画面には、3ステップスキャンとお気に入りの2つの領域があります。

各領域は、メイン画面の右上の > < で切り替えることができます。



それぞれの領域には、スキャンの種類や出力先に応じたさまざまなパネルが用意されています。

[新規作成] ボタンをクリックすると、新しいパネルが作成されます。

### ヒント

 をクリックすると、ヘルプが表示されます。

## 3 ステップスキャン

操作の流れ：

スキャンモードパネルを選択⇒ 出力先パネルを選択 ⇒ 原稿をスキャン

- 1 原稿をスキャナーにセットします。
- 2 [1 スキャンモード]から、スキャンしたい原稿に応じたスキャンモードパネルをクリックします。  
選択したスキャンモードパネルがオレンジ色に変わります。スキャンモードパネルを編集する場合は、「スキャンモードの設定」(→ P.84)を参照してください。



### 3 [2 出力先]から、スキャン画像の用途に応じた出力先パネルをクリックします。

選択した出力先パネルがオレンジ色になります。出力先パネルを編集する場合は、「出力先の設定」(→ P.87) を参照してください。



### 4 [スキャン] ボタンをクリックします。



原稿がスキャンされます。スキャン中は、スキャンが終わったページ数と、スキャナー設定の内容が表示されます。

スキャンが終わると、スキャン画像編集画面が表示されます。



#### ヒント

次回もこのスキャンモードと出力先の組み合わせを使用する場合は、[お気に入りへ追加] ボタンをクリックします。

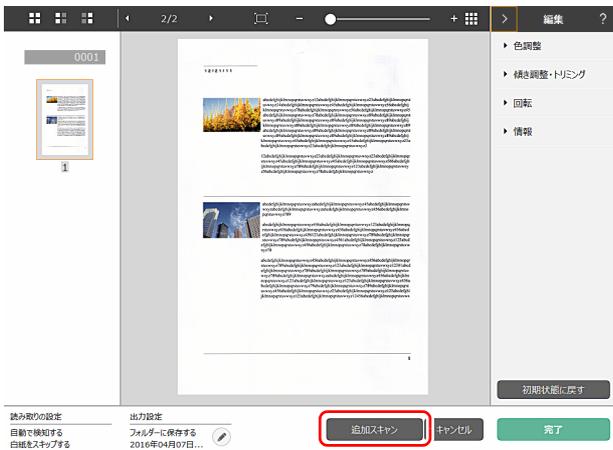
選択したスキャンモードと出力先が、お気に入りパネルとして追加されます。

## ⚠ 注意

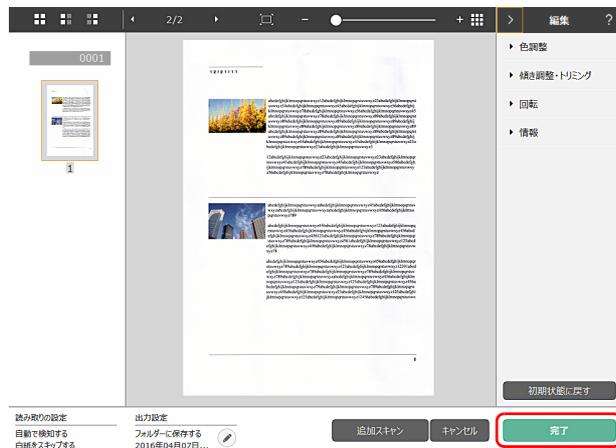
- コンピューターのメモリーを大量に消費する条件でスキャンを行った場合、メモリー不足によりスキャンができなくなる場合があります。スキャン中にメモリー不足などのメッセージが表示されたときは、スキャンを中止し、スキャン条件を変更してからスキャンをやり直してください。
- 複数ページのスキャンを行った場合、ファイルサイズが2GBに達するとファイルの保存ができなくなります。エラーメッセージが表示された場合は、保存の設定を変更してください。

## 💡 ヒント

継続してスキャンを行う場合は、次の原稿をセットしてから「追加スキャン」ボタンをクリックします。原稿のスキャンが開始されます。



## 5 スキャン画像を確認したら、[完了] ボタンをクリックします。



スキャン画像の編集を行う場合は、「スキャン画像編集画面の操作」(→ P.80) を参照してください。

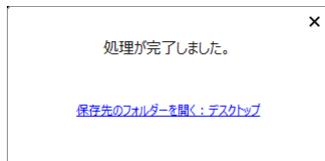
👉 ボタンをクリックすると、出力先の設定を編集することができます。

「出力先の設定」(→ P.87)

[キャンセル] ボタンをクリックすると、スキャンした画像を破棄してメイン画面に戻ります。

出力が終わると、ポップアップ画面が表示されます。スキャン画像を保存した場合は、保存先のフォルダーを開くリンクが表示されます。

これで3ステップスキャンは完了です。



#### ヒント

[保存先のフォルダーを開く] リンクをクリックすると、スキャン画像が保存されたフォルダーを開くことができます。出力先の設定によっては、[保存先のフォルダーを開く] リンクが表示されない場合があります。

## お気に入りスキャン

操作の流れ：

お気に入りを登録⇒ 原稿をスキャン ⇒ 画像出力

よく使うスキャンモードと出力先を組み合わせることでお気に入りに追加すると、お気に入りパネルをクリックするだけでスキャンができます。



#### ヒント

登録したお気に入りにジョブを割り当てると、スキャナーのスタートボタンから、その設定でのお気に入りスキャンを実行できます。

[スタートボタンによるスキャン] (→ P.80)

## お気に入りの登録と編集

CaptureOnTouch には、お気に入りを複数登録できます。

1

【お気に入り】の【新規作成】ボタンをクリックするか、【3ステップスキャン】でスキャンモードと出力先を選択して【お気に入りへ追加】ボタンをクリックします。

お気に入りパネルが作成されます。



#### ヒント

【新規作成】ボタンの ▾ をクリックして表示されるメニューから、お気に入りの種類を選択して新規作成することもできます。

- 2 編集ボタンをクリックすると、お気に入りパネル編集ダイアログが表示されます。



- 3 [スキャンモード] タブをクリックして、スキャンモードの設定を行います。「スキャンモードの設定」(→ P.84)



- 4 [バッチ区切り] タブをクリックして、バッチ区切りの設定を行います。**[バッチ区切りの設定]** (→ P.86)

スキャンモード	バッチ区切り	出力先 1	インデックス 1	オプション	全般
<b>バッチ区切り設定</b>					
区切り方法(I):	区切らない				
	詳細設定(I)...				
区切り用紙(P):	破棄する				
先頭の区切り:	<input checked="" type="checkbox"/> 挿入する(S)				
?					
閉じる					

- 5 [出力先] タブをクリックして、出力先の設定を行います。**[出力先の設定]** (→ P.87)

スキャンモード	バッチ区切り	出力先 1	インデックス 1	オプション	全般
<b>出力設定</b>					
出力方法の選択(B):	フォルダーに保存する				
	詳細設定(I)...				
ファイル名 / フォルダー名(S):	Image_				
	詳細設定(A)...				
ファイル形式(Y):	PDF (*.pdf)				
	詳細設定(W)...				
保存場所(V):	マイピクチャ				
	詳細設定(E)...				
<b>全般</b>					
アイコン					
	<input type="checkbox"/> アイコンを変更する(C)				
	設定(E)...				
?					
閉じる					

**6** 【インデックス】 タブをクリックして、インデックスファイルの設定を行います。「[インデックスの設定](#)」(→ P.89)

スキャンモード	バッチ区切り	出力先 1	インデックス 1	オプション	全般
<b>インデックス設定</b>					
ページインデックス:	<input type="checkbox"/>	出力する(E)	<input type="text" value="出力設定(P)..."/>		
ドキュメントインデックス:	<input type="checkbox"/>	出力する(Q)	<input type="text" value="出力設定(G)..."/>		
バーコード / OCR設定:	<input type="text" value="領域の設定(Z)..."/>				
?					
<input type="button" value="閉じる"/>					

**7** 【オプション】 タブをクリックすると、オプション設定が行えます。

スキャンモード	バッチ区切り	出力先 1	インデックス 1	オプション	全般
<b>オプション</b>					
スキャン後に編集を行う	<input checked="" type="checkbox"/>	有効(I)			
追加スキャンを有効にする	<input checked="" type="checkbox"/>	有効(D)			
ジョブの割り当て(B):	<input type="text" value="No. 1"/>				
出力の順番(U)	<input type="button" value="+"/> <input type="button" value="X"/> <input type="button" value="↑"/> <input type="button" value="↓"/>				
フォルダーに保存する					
?					
<input type="button" value="閉じる"/>					

### 【スキャン後に編集を行う】

チェックを付けると、スキャン後にスキャン編集画面で画像の編集ができます。チェックを外すと、スキャン編集画面で編集ウィンドウが表示されません。[「スキャン画像編集画面の操作」](#) (→ P.80)

### 【追加スキャンを有効にする】

チェックを付けると、スキャン編集画面に [追加スキャン] ボタンが表示され、継続してスキャンを行うことができます。

### 【ジョブの割り当て】

お気に入りジョブに割り当てることができます。

ジョブの割り当てを行うと、お気に入りパネルに割り当てたジョブ番号のアイコンが表示されます。



### 【出力の順番】

出力先の追加と削除、順番の変更ができます。

## 8 【全般】 タブをクリックすると、その他の設定が行えます。



### 【名前】

お気に入りパネルの名前を入力できます。

## お気に入りに選択してスキャンする

- 1 原稿をスキャナーにセットします。  
「本機の使いかた」(→ P.30)
- 2 お気に入りパネルをクリックします。



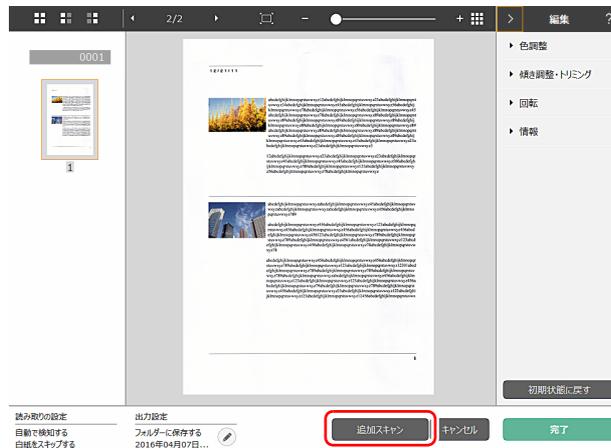
原稿がスキャンされます。スキャン中は、スキャンが終わったページ数と、スキャナー設定の内容が表示されます。  
スキャンが終わると、スキャン画像編集画面が表示されます。

### ⚠ 注意

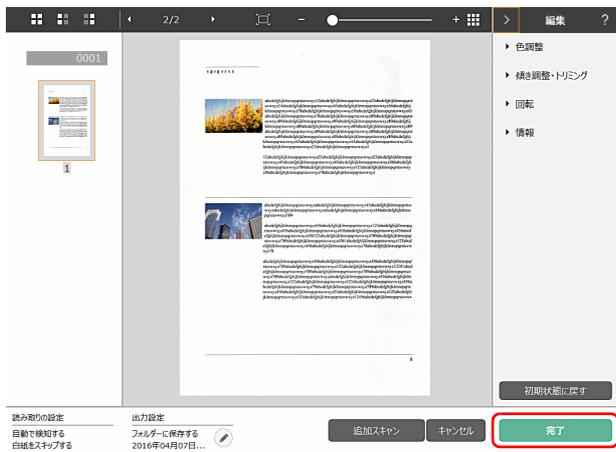
- コンピューターのメモリーを大量に消費する条件でスキャンを行った場合、メモリー不足によりスキャンができなくなる場合があります。スキャン中にメモリー不足などのメッセージが表示されたときは、スキャンを中止し、スキャン条件を変更してからスキャンをやり直してください。
- 複数ページのスキャンを行った場合、ファイルサイズが2GBに達するとファイルの保存ができなくなります。エラーメッセージが表示された場合は、保存の設定を変更してください。

### 💡 ヒント

継続してスキャンを行う場合は、次の原稿をセットしてから「追加スキャン」ボタンをクリックします。原稿のスキャンが開始されます。  
お気に入りスキャンの設定で、「追加スキャンを有効にする」のチェックを外した場合は、「追加スキャン」ボタンは表示されません。



### 3 スキャン画像を確認したら、[完了] ボタンをクリックします。



スキャン画像の編集を行う場合は、「スキャン画像編集画面の操作」(→ P.80) を参照してください。

#### ヒント

お気に入りスキャンの設定で、「スキャン後に編集を行う」を無効にした場合は、編集ウィンドウは表示されません。

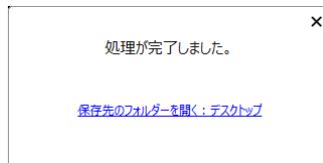
 ボタンをクリックすると、出力先の設定を編集することができます。

「出力先の設定」(→ P.87)

[キャンセル] ボタンをクリックすると、スキャンした画像を破棄してメイン画面に戻ります。

出力が終わると、ポップアップ画面が表示されます。スキャン画像を保存した場合は、保存先のフォルダーを開くリンクが表示されます。

これでお気に入りスキャンは完了です。



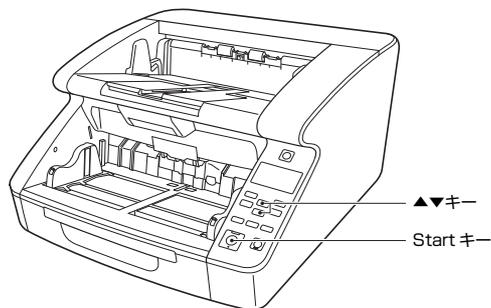
#### ヒント

[保存先のフォルダーを開く] リンクをクリックすると、スキャン画像が保存されたフォルダーを開くことができます。出力先の設定によっては、[保存先のフォルダーを開く] リンクが表示されない場合があります。

## スタートボタンによるスキャン

よく使うスキャン方法をお気に入り設定し、ジョブを割り当てると、操作パネルからお気に入りスキャンを実行できます。

原稿をセットして Job キーを押し、▲▼キーで実行したいジョブを選択します。スタートボタンを押すと、CaptureOnTouch が起動し、スキャンが開始されます。



### 💡 ヒント

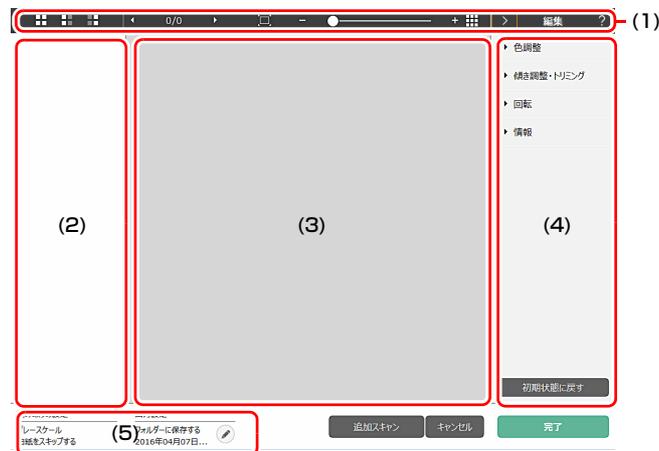
- 環境設定で、[本体ボタンからスキャン開始したときに、メイン画面を表示しない] チェックボックスをオンしている場合、スタートボタンからスキャンを開始したときに CaptureOnTouch のメイン画面は表示されません。スキャン中のダイアログやエラーメッセージ、完了のポップアップ画面のみ表示されます。
- 環境設定で、[本体ボタンからスキャン開始したときに、メイン画面を表示しない] チェックボックスをオンしている場合、スタートボタンからスキャンを開始したときに、[スキャン後に編集を行う] と [スキャンを有効にする] は無効になります。

## スキャン画像編集画面の操作

スキャンが完了すると、スキャンした画像のプレビュー画面が表示されます。プレビュー画面に編集ウィンドウを表示するには、ツールバーの [編集] をクリックします。

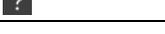


## スキャン画像編集画面



## (1) ツールバー

サムネイルやプレビュー画像を操作するツールバーです。

ツールボタン	説明
	サムネイルの画像選択を切り替えます。 左から、「ストリーム切り替え」、「全選択」、「奇数ページ選択」、「偶数ページ選択」の順に動作します。 「ストリーム切り替え」はマルチストリームでスキャンしたときに表示されます。
	プレビューに表示されているページを表示します。 左、右のアイコンをクリックすると、表示ページが切り替わります。
	プレビューの表示倍率を変更します、スライダーを+、-の方向へ動かすことで、プレビュー画像が拡大/縮小します。 拡大アイコンをクリックすると、プレビューの表示倍率を画面にフィットさせます。
	クリックすると、プレビューウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。
	右のアイコンをクリックすると、編集ウィンドウの表示 / 非表示を切り替えます。
	クリックすると、ヘルプが表示されます。

## (2) サムネイル表示領域

スキャンされた原稿のサムネイル画像が表示されます。次の操作ができます。  
サムネイル画像をクリックすると、そのスキャン画像のプレビューがプレビューウィンドウに表示されます。  
サムネイル画像をドラッグすると、ページの入れ替えができます。

## (3) プレビューウィンドウ

スキャン原稿のプレビュー画像が表示されます。

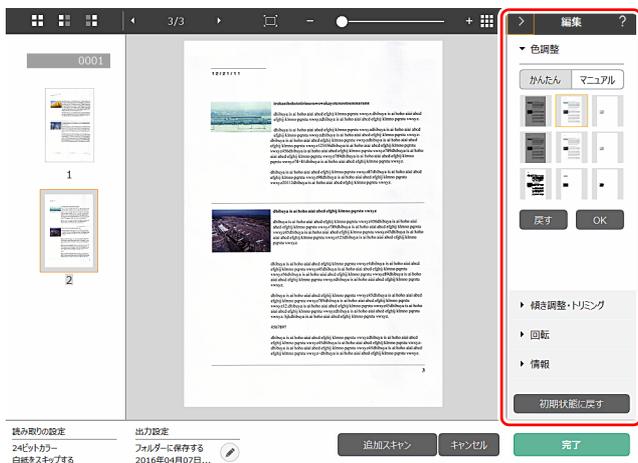
## (4) 編集ウィンドウ

スキャン原稿の編集が行えます。  
各項目をクリックすると、編集画面が開きます。  
[画像を初期状態に戻す] ボタンをクリックすると、編集結果を破棄してスキャン直後の画像に戻ります。

### 💡 ヒント

お気に入り入りスキャンの設定で、[スキャン後に編集を行う] を無効にした場合は、編集ウィンドウは表示されません。

## 色調整 (かんたん設定)



【色調整】をクリックすると最初に表示されます。

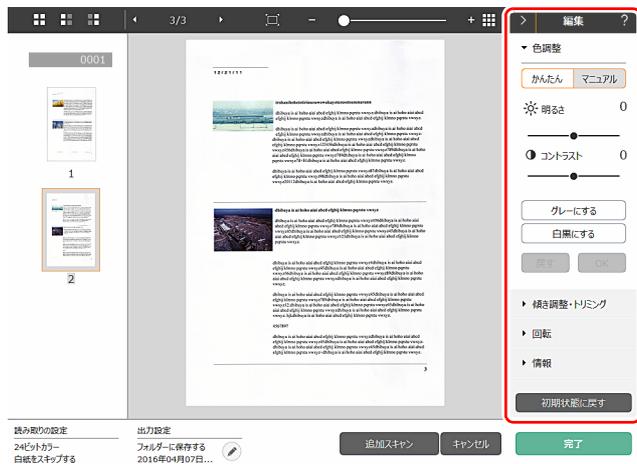
かんたん設定とマニュアル設定は、ボタンをクリックすると交互に表示されます。

かんたん色調整では、サムネイル画像をクリックして、最も適したプレビュー画像が表示されるものを選択します。

サムネイル画像は、対象画像がカラーのときに9パターン、グレースケールのときに6パターン表示されます。

調整が終わったら【OK】ボタンをクリックします。調整をキャンセルする場合は【戻す】ボタンをクリックします。

## 色調整 (マニュアル設定)



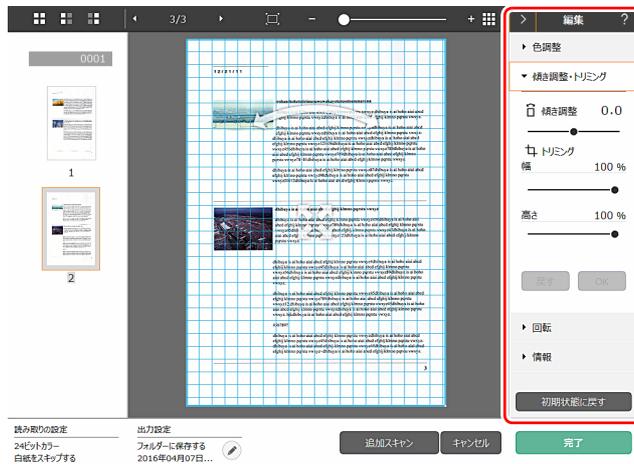
明るさとコントラストを、プレビュー画像を確認しながらスライダーを左右に動かすことで調整できます。

【グレーにする】ボタンをクリックすると、グレースケール画像になります。

【白黒にする】ボタンをクリックすると、白黒2値の画像になります。

調整が終わったら【OK】ボタンをクリックします。調整をキャンセルする場合は【戻す】ボタンをクリックします。

## 傾き調整・トリミング



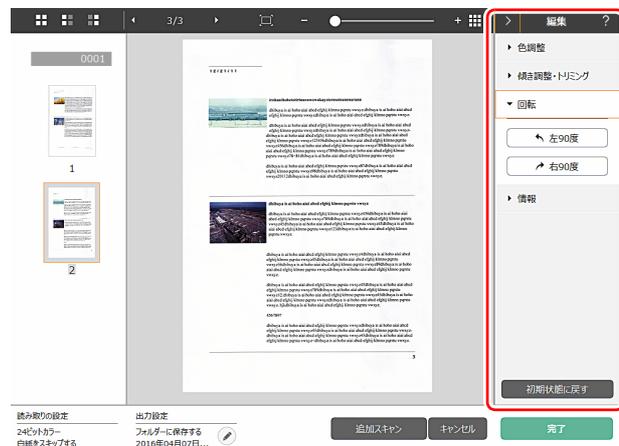
【傾き調整・トリミング】をクリックすると表示されます。

傾き調整とトリミングを、プレビュー画像とスライダーのどちらからでも調整できます。

プレビュー画像では、移動グリップ、傾き調整グリップやトリミング枠を直接ドラッグすることで、傾きやトリミングの調整が行えます。トリミングを行った後に、プレビュー画面上で移動グリップをドラッグすると、切り出す範囲を変更することができます。

調整が終わったら [OK] ボタンをクリックします。調整をキャンセルする場合は [戻す] ボタンをクリックします。

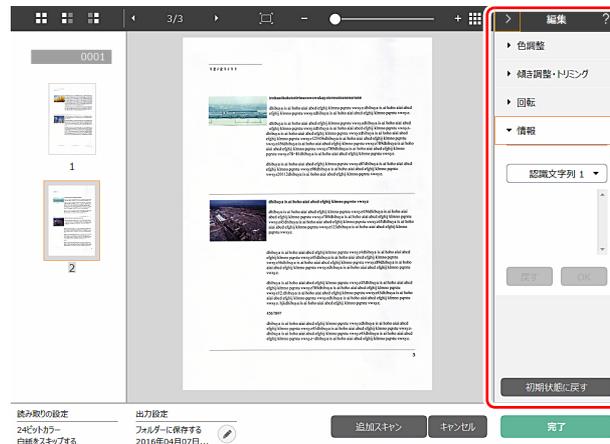
## 回転



【回転】をクリックすると表示されます。

スキャン画像を左 90 度または右 90 度に回転します。プレビュー画像を確認しながら調整できます。

## 情報



【情報】をクリックするとスキャン画像から検出した情報を表示します。ページサムネイルが選択されているときに「認識文字列」ボタンをクリックすると、プルダウンメニューから「認識文字列 1 ~ 10」が選択できます。区切りを選択している場合は「認識文字列」、「ドキュメント名」が選択できます。選択した認識文字列はボタンの下のエリアに表示され、編集が可能になります。

## (5) 情報表示領域

スキャンモードと出力先の情報を表示します。

👉 ボタンをクリックすると、出力設定ダイアログが表示されます。

[追加スキャン] ボタンをクリックすると、継続スキャンを開始します。

[キャンセル] ボタンをクリックすると、スキャンした画像を破棄し、トップ画面に戻ります。

[完了] ボタンをクリックすると、出力処理を開始します。出力が終了すると、トップ画面に戻ります。スキャン画像を保存した場合は、保存先のフォルダーを開くリンクが表示されます。

### 💡 ヒント

お気に入りスキャンの設定で、[追加スキャンを有効にする] のチェックを外した場合は、[追加スキャン] ボタンは表示されません。

## スキャンモードの設定

デフォルトでは、CaptureOnTouch はおまかせモードでのスキャン設定が有効になっているため、原稿に合ったスキャン条件でスキャンが行われます。原稿サイズ、カラーモードなどの設定を指定したい場合に、スキャンモードパネルを編集して、任意のスキャン条件を設定できます。

## スキャンモードパネルの新規作成

スキャンモードエリアの [新規作成] ボタンをクリックすると、スキャンモードパネルが新規作成されます。

または、[新規作成] ボタンの ▾ をクリックして表示されるメニューから、スキャンモードの種類を選択して新規作成することもできます。

## スキャンモードパネルの編集

スキャンモードパネルの 🗨️ ボタンをクリックすると、スキャンモードパネル編集ダイアログが表示されます。

お気に入りパネル編集ダイアログでは、[スキャンモード] タブをクリックします。

スキャンモード [パッチ区切り]	
<b>読み取りの設定</b>	
カラーモード(M):	自動で検知する
用紙サイズ(P):	原稿のサイズに合わせる
解像度(R):	自動で検知する
読み取り面(S):	白紙をスキップする
画像の向きを自動で補正する(Q):	搬送時の原稿の向きを補正する
文字の向きに合わせて画像を回転する	<input checked="" type="checkbox"/> 有効(I)
詳細設定ダイアログボックスを使う	<input type="checkbox"/> 有効(L)
設定(E)...	
<b>全般</b>	
名前(N):	おまかせ
アイコン	 <input checked="" type="checkbox"/> アイコンを変更する(C) 設定(E)...
?	閉じる

## 読み取りの設定

読み取り条件の設定を行います。

### カラーモード

原稿をスキャンするカラーモードを、次の中から選択します。

自動で検知する	原稿の内容からカラーモードを自動判別してスキャンします。
24 ビットカラー	原稿をカラーでスキャンします。
グレースケール	原稿をグレースケールでスキャンします。
白黒にする	原稿を白黒二値でスキャンします。

### 用紙サイズ

原稿の用紙サイズを指定します。

[原稿のサイズに合わせる] を指定したときは、スキャンした原稿の用紙サイズを検知し、検知したサイズで画像を保存します。

### 解像度

スキャンの解像度を指定します。

[自動で検知する] を指定したときは、スキャンした原稿の内容から自動的に解像度が検出されます。

### 読み取り面

原稿を片面のみスキャンするか、両面をスキャンするかを指定します。

[白紙をスキップする] を指定したときは、原稿中に白紙があった場合にそのページを飛ばしてスキャンします。

### 画像の傾きを自動で補正する

原稿が斜めに給紙されたときに、スキャンした画像の傾きを検知してまっすぐに補正します。

設定を次の中から選択します。

[OFF]

[ 搬送時の原稿の傾きを補正する ]

[ 画像の傾きを補正する ]

### 文字の向きに合わせて画像を回転する

この項目を有効にすると、読み取った画像の中にある文字の向きを認識し、文字の向きが正常になるように画像の向きを回転します。

### 詳細設定ダイアログボックスを使う

スキャンモードの設定には、[読み取りの設定] で設定する基本項目と、詳細設定ダイアログボックスで設定する設定項目があり、基本項目以外の設定は詳細設定ダイアログボックスの設定が適用されます。

[詳細設定ダイアログボックスを使う] を有効にすると、基本項目以外の詳細なスキャナー設定は、詳細設定ダイアログボックス（スキャナードライバー）で行います。スキャナードライバーを開くには、この項目を有効にしてから、[設定] ボタンをクリックします。

### ヒント

ドライバーの設定ダイアログボックスには、[読み取りの設定] の基本項目と同じ設定項目があり、それぞれの設定内容は独立して保持されます。スキャン時にどちらの設定が適用されるかは、[詳細設定ダイアログボックスを使う] チェックボックスの設定によって次のように異なります。

[詳細設定ダイアログボックスを使う] の設定	基本項目	基本項目以外
無効	[読み取りの設定] の設定	スキャナードライバーの詳細設定ダイアログボックスの設定
有効	スキャナードライバーの詳細設定ダイアログボックスの設定	

基本項目以外の設定項目の詳細については、ドライバーの設定ダイアログボックスのヘルプを参照してください。

## 全般

スキャンモードの名称やアイコンを設定します。

### 名前

スキャンモードパネルに表示される名前を入力します。

### アイコン

スキャンモードパネルやお気に入りパネルに表示されるスキャンモードのアイコンを変更できます。

[アイコンを変更する] にチェックを付けると、[設定] ボタンが有効になり、ファイルの選択ができます。

アイコンファイルとして選択できるファイル形式は以下のとおりです。

- .ico、.exe、.jpg、.png

## バッチ区切りの設定

バッチ区切りの設定を行います。



### ストリームの選択

スキャナードライバーの [マルチストリームを使用する] が有効に設定されている場合、[ストリームの選択] が表示されます。

## 区切り方法

バッチを区切る方法を選択し、[詳細設定] ボタンをクリックすると、[バッチ区切り設定] が表示され、区切り方法の詳細を設定できます。

バッチを区切る方法を次の中から選択します。

[区切らない]

[カウンター]

[バーコード]

[ゾーン OCR]

[バッチコード]

[白紙]

[原稿の表面]

[ストリーム 1 と共通]

### 重要

[バーコード] を使用するには、同梱のバーコードモジュールをインストールする必要があります。

- 「白紙」を選択時に、「白紙スキップ」を有効にしている場合、ドライバーのスキップレベルの設定は無効になります。スキップレベルの設定は、バッチ区切り設定の「検知レベル」で調整してください。

### ヒント

[ストリーム 1 と共通] は、スキャナードライバーの [マルチストリームを使用する] が有効に設定されている場合に表示されます。

## 区切り用紙

バッチを区切る用紙を次の中から選択します。

[破棄する]

[現在のドキュメントに含める]

[新規ドキュメントに含める]

## 先頭の区切り

先頭に区切りを入れるときは、[挿入する] チェックボックスをオンにします。

## 出力先の設定

デフォルトでは、CaptureOnTouch はスキャン画像を PDF ファイルに変換してフォルダーに保存する設定が有効になっています。

出力方法や保存場所を指定したい場合に、出力先パネルを編集して、任意の出力先を設定できます。

## 出力先パネルの新規作成

[新規作成] ボタンをクリックすると、出力先パネルが新規作成されます。

[新規作成] ボタンの  をクリックして表示されるメニューから、出力先を選択して新規作成することもできます。

## 出力先パネルの編集

出力先パネルの  ボタンをクリックすると、出力先パネル編集ダイアログが表示されます。

お気に入りパネル編集ダイアログでは、[出力先] タブをクリックします。



出力先 インデックス

**出力設定**

ストリームの選択(S): 1

出力方法の選択(B): フォルダに保存する

詳細設定(L)...

ファイル名 / フォルダ名(S): Image\_

詳細設定(A)...

ファイル形式(X): PDF (\*.pdf)

詳細設定(W)...

保存場所(Y): マイピクチャ

詳細設定(E)...

**全般**

名前(N): ピクチャフォルダ

アイコン

アイコンを変更する(C)

設定(O)...

? 閉じる

## ストリームの選択

スキャナードライバーの [マルチストリームを使用する] が有効に設定されている場合、[ストリームの選択] が表示されます。

## 出力方法の選択

選択した出力方法によって、選択できるファイル形式や保存場所が異なります。

### フォルダに保存する



**出力設定**

出力方法の選択(B): フォルダに保存する

詳細設定(L)...

ファイル名 / フォルダ名(S): Image\_

詳細設定(A)...

スキャンした画像を、指定したフォルダに保存します。この出力方法を指定したときは、保存場所のフォルダを設定します。

### その他の出力方法

CaptureOnTouch では、[フォルダに保存する] 以外の出力方法は、プラグインとして提供しています。

プラグインをインストールすることによって、スキャン画像の印刷やメール添付などの他、さまざまなサービスを利用することができます。

プラグインは、CaptureOnTouch のインストール時に、チェックをつけてインストールすることができます。

インストールしているプラグインによって、選択できる出力方法は異なります。

各プラグインの使用方法については、プラグインのヘルプを参照してください。

## インデックスの設定

インデックスファイルの設定を行うことができます。

出力先 インデックス

インデックス設定

ストリームの選択 (M): 1

ページインデックス:  出力する (E) 出力設定 (E)...

ドキュメントインデックス:  出力する (Q) 出力設定 (Q)...

バーコード / OCR 設定: 領域の設定 (Z)...

? 閉じる

## ストリームの選択

スキャナードライバーの [マルチストリームを使用する] が有効に設定されている場合、[ストリームの選択] が表示されます。

## ページインデックス

ページインデックスを出力します。

[出力設定] ボタンをクリックすると、ページインデックスの設定を行うことができます。

## ドキュメントインデックス

ドキュメントインデックスを出力します。

[出力設定] ボタンをクリックすると、ドキュメントインデックスの設定を行うことができます。

## バーコード / OCR 設定

テキストを認識するためのバーコード / OCR の設定を行います。

[領域の設定] ボタンをクリックすると、バーコード / OCR 設定ダイアログボックスが開きます。

## お気に入りの設定

デフォルトでは、CaptureOnTouch はおまかせモードでのお気に入りスキャンが有効になっているため、原稿に合ったスキャン条件でフォルダーに保存するお気に入りスキャンが行われます。

スキャンモードと出力先の組み合わせを指定したい場合に、お気に入りパネルを編集して、任意のお気に入りを設定できます。

## お気に入りパネルの新規作成

お気に入りパネルを新規作成するには、次の 2 つの方法があります。

- 3 ステップスキャンの [3 アクション] で、[お気に入りへ追加] ボタンをクリックすると、選択したスキャンモードと出力先が、ひとつのお気に入りパネルに登録されます。
- お気に入り領域の [新規作成] ボタンをクリックすると、お気に入りパネルが新規作成されます。  
[新規作成] ボタンの  をクリックして表示されるメニューから、お気に入りの種類を選択して新規作成することもできます。

## お気に入りパネルの編集

お気に入りパネルの  ボタンをクリックすると、お気に入りパネル編集ダイアログが表示されます。

お気に入りパネル編集ダイアログには、以下のタブがあります。

- [スキャンモード] タブ
- [出力先] タブ
- [オプション] タブ
- [全般] タブ
- 「バッチ区切り」タブ
- 「インデックス」タブ

## ファイル形式について

スキャン画像のファイル形式を設定します。BMP、PNG 形式以外のファイル形式を選択したときは、[詳細設定] ボタンが有効になり、ファイル形式の設定を行うことができます。

### ヒント

スキャン画像のファイル形式は、下記のいずれかを指定できます。

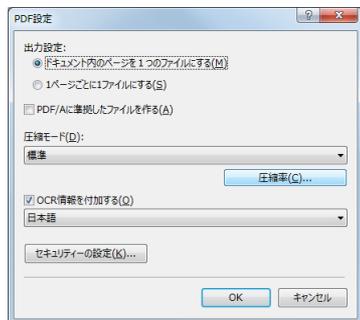
- PDF 形式
- TIFF 形式
- PNG 形式
- JPEG 形式
- BMP 形式
- PPTX 形式

(Microsoft PowerPoint 2007 以降のファイル形式)

出力先の設定によって、選択できるファイル形式は異なります。

プラグインによる出力では、スキャン画像はプラグインのアプリケーションで設定したファイル形式で出力されます。そのため、スキャンモードパネルで選択したファイル形式と異なる場合があります。

## PDF 設定



### 【出力設定】

複数ページの原稿をスキャンした場合の保存方法を指定します。

- ドキュメント内のページを 1 つのファイルにする (原稿のすべてのページを 1 つの PDF ファイルに保存します)
- 1 ページごとに 1 ファイルにする (各ページごとに 1 つの PDF ファイルに保存します)

[PDF/A に準拠したファイルを作る] にチェックを付けると、PDF/A に準拠したファイルを作成します。

[圧縮モード] で、PDF ファイルの圧縮モード ([標準] または [高圧縮]) を指定します。

[圧縮率] ボタンをクリックすると、表示されるダイアログボックスで圧縮率を指定できます。

[OCR 情報を付加する] で、スキャン画像に OCR 情報を付加するかどうかを指定できます。

[セキュリティの設定] で、パスワードと権限を設定できます。

## TIFF 設定



### 【出力設定】

複数ページの原稿をスキャンした場合の保存方法を指定します。

- ドキュメント内のページを 1 つのファイルにする (原稿のすべてのページを 1 つの TIFF ファイルに保存します。)
- 1 ページごとに 1 ファイルにする (各ページごとに 1 つの TIFF ファイルに保存します。)

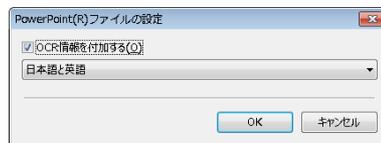
[画像を圧縮する] を [ON] にしてから [圧縮率] ボタンをクリックし、表示されるダイアログボックスで圧縮率を指定できます。

## JPEG 設定



JPEG 画像の圧縮率を指定できます。

## PPTX 設定



スキャン画像に OCR 情報を付加するかどうかを指定できます。

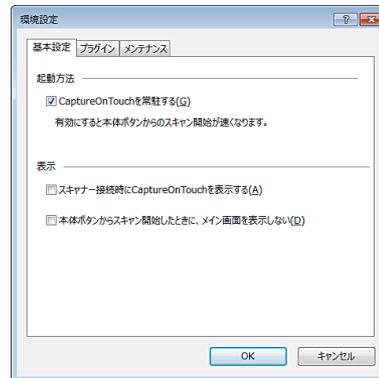
## 環境設定

CaptureOnTouch の環境設定を行うには、[環境設定] ダイアログボックスを開きます。タスクバーの  (CaptureOnTouch アイコン) をクリックし、メニューの [環境設定] をクリックします。

以降では、[環境設定] ダイアログボックスに表示される各タブの設定項目について説明します。

### [基本設定] タブ

[基本設定] タブでは以下の設定を行います。



## 起動方法

デフォルトでは、コンピューターの起動時に CaptureOnTouch がシステムに常駐します。

[CaptureOnTouch を常駐する] チェックボックスをオフにすると、システムへの常駐を無効にできます。

## 表示

[スキャナー接続時に CaptureOnTouch を表示する] チェックボックスをオンにすると、スキャナーをコンピューターに接続したときに自動的に CaptureOnTouch のメイン画面が開きます。この設定は、CaptureOnTouch が起動している（またはシステムに常駐している）場合のみ有効です。

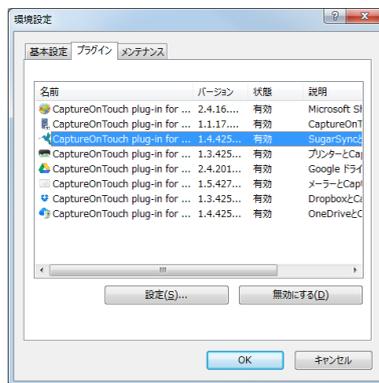
この設定をオンにすると、[本体ボタンからスキャン開始したときに、メイン画面を表示しない] の設定はオフになります。

[本体ボタンからスキャン開始したときに、メイン画面を表示しない] チェックボックスをオンにすると、スキャナーのスタートボタンを押してお気に入りスキャンを開始したときは、CaptureOnTouch のメイン画面を表示しません。スキャン中のダイアログやエラーメッセージ、完了のポップアップ画面は表示されます。

この設定をオンにすると、お気に入りパネル編集ダイアログの [追加スキャンを有効にする]、[スキャン後に編集を行う] のチェックは無効になります。

## 【プラグイン】 タブ

【プラグイン】 タブでは、CaptureOnTouch に追加されているプラグインを確認できます。



## 【設定】 ボタン

プラグインリストで選択しているプラグインの詳細情報を表示します。



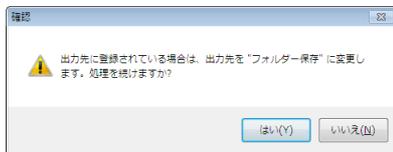
## ヒント

プラグインによって、このボタンの表示の有無は異なります。

## 【有効にする】 / 【無効にする】 ボタン

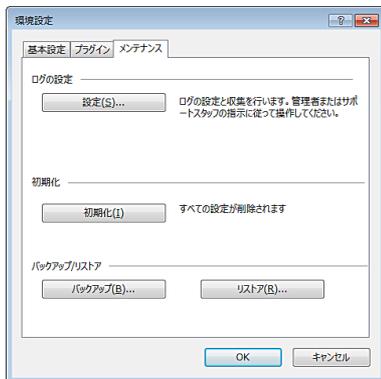
一覧で選択しているプラグインの有効/無効を切り替えます。

【無効にする】を選択すると、以下の確認ダイアログが表示されます。



## 【メンテナンス】 タブ

【メンテナンス】タブでは、CaptureOnTouch のメンテナンスのためのログの設定や初期化を行います。



## バックアップ / リストア

【バックアップ】 ボタンと【リストア】 ボタンで、CaptureOnTouch の設定ファイル（設定内容など）をバックアップしたり、バックアップしたデータから設定を復元できます。

## 【バックアップ】 ボタン

CaptureOnTouch の設定をバックアップファイル (\*.cot) にバックアップします。CaptureOnTouch を使用する前にバックアップを行うことにより、CaptureOnTouch の初期状態を保持できます。

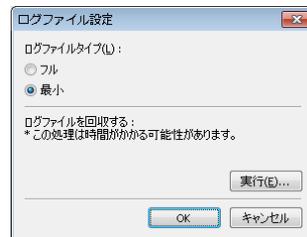
## 【リストア】 ボタン

バックアップしたファイルから設定を復元します。

複数台のコンピューターを使用している場合に、1 台のコンピューターで行った環境設定をバックアップし、他のコンピューターにリストアすることで同じ設定にできます。

## ログの設定

【設定】 ボタンをクリックすると、ログファイル設定画面が表示されます。ログファイルのタイプを選択します。



【実行】 ボタンをクリックすると、ログファイルを保存するダイアログが表示されます。

【ログファイルタイプ】 の【フル】 を選択すると動作が遅くなります。

## 初期化

【初期化】 ボタンをクリックすると、確認ダイアログが表示されます。



CaptureOnTouch のすべてのデータが削除され、初期値に戻ります。

## スキャナードライバーの設定

ドライバーを最初にロードした際、選択したスキャナーと用紙の初期値選択ダイアログが表示されます。

### ヒント

- ISIS ドライバーの設定ダイアログボックスで [初期値] をクリックしたときに、ここでの設定が反映されます。
- TWAIN ドライバーの場合、初期値は「A4」に設定され、変更することはできません。

CaptureOnTouch などのアプリケーションで原稿をスキャンするときは、スキャナードライバーを開いてスキャン条件などを設定します。  
ここでは、スキャナードライバーの構成と機能について説明します。

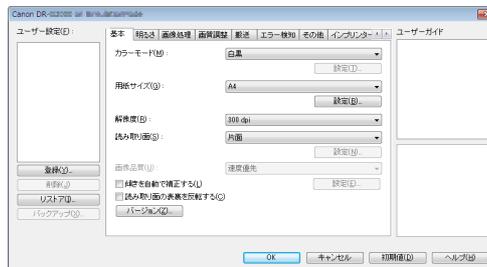
## スキャナードライバーの構成と機能

スキャナードライバーは次のタブで構成されています。

### ヒント

設定画面についての詳細は、スキャナードライバーのヘルプを参照してください。ドライバーの [ヘルプ] ボタンをクリックすると、そのタブやダイアログボックスに関するヘルプが表示されます。

### [基本] タブ



モードや用紙サイズ、解像度、読み取り面などの基本的なスキャン条件を設定します。

[用紙サイズ] の [設定] ボタンをクリックして、スキャンする領域やカスタム用紙サイズの登録、長尺モードの設定を行うこともできます。



## 【搬送】 タブ



原稿の給紙に関するスキャナーの動作を指定します。

## 【エラー検知】 タブ



スキャン中にエラーとして検知する項目を設定します。

## 【その他】 タブ



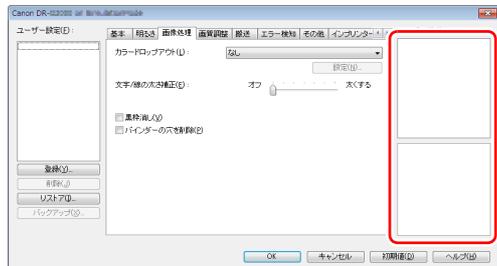
特殊なスキャン方法や画像処理に関する設定をします。

## 【インプリンター / アドオン】 タブ



読み取った画像へのアドオンの設定を行います。また、オプションのインプリンターユニットがスキャナーに取り付けられている場合に、インプリンターによる印字の設定を行います。

## ユーザーガイド



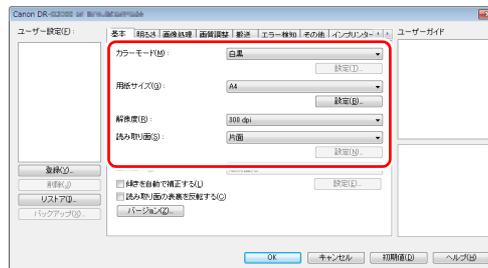
ドライバーが自動で変更した設定をお知らせします。  
また、現在の設定を行ったイメージをイラストで表示します。

## 基本的なスキャン条件の設定

読み取りの設定を行う際に最低限必要となる基本設定の項目の概略について説明します。

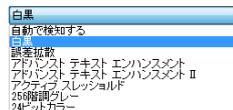
### 読み取りの基本条件の確認

原稿をスキャンするときは、基本設定ダイアログボックスで「カラーモード」、「用紙サイズ」、「解像度」、「読み取り面」の基本条件を必ず確認してください。



### カラーモード

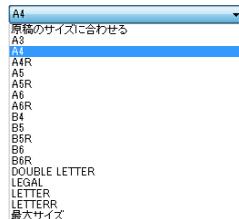
スキャンするモードを選択します。



- [アドバンスドテキストエンハンスメント] および [アドバンスドテキストエンハンスメント II] は、文字の周りや地色の背景を除去または処理し、文字を強調させて読みやすくします。[アドバンスドテキストエンハンスメント II] を選択したときは、[明るさ] タブでコントラストを調整することで、スキャンした画像の文字が読みやすくなるように調整できます。
- [アクティブスレッシュولد] は、薄い文字の原稿や汚れのある原稿など、様々な種類の原稿を一度にバッチ処理するのに適しています。例えば複写伝票のような原稿も一度にバッチ処理することができます。画像全体の文字や背景をもとに明るさ等を自動で調整することで、薄い文字を再現し、背景の汚れを除去できます。
- [自動で検知する] は原稿の内容からカラー、グレーまたは白黒のいずれかを検知します。[設定] をクリックすると、検知方法に関する詳細な設定ができます。詳細はヘルプを参照してください。

## 用紙サイズ

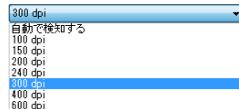
スキャンする原稿に合わせて用紙サイズを選択します。



[原稿のサイズに合わせる] を選択すると、原稿の端を検知して原稿のサイズに合わせた画像が保存されます。

## 解像度

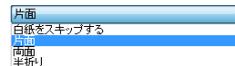
スキャンする解像度を選択します。



- 解像度を高くすると画像がきれいになりますが、ファイルサイズが大きくなり、スキャン速度も遅くなります。
- [自動で検知する] を選択すると、原稿に印刷されている内容から自動的に解像度が検知されます。

## 読み取り面

原稿をスキャンする面を選択します。



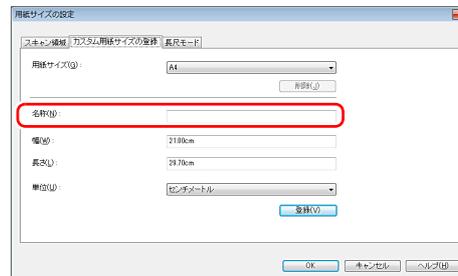
読み取り面を [白紙をスキップする] にすると、白紙の面の画像を削除して保存されます。

## 用紙サイズに登録されていない原稿の読み取り

用紙サイズの登録されていない非定形サイズの用紙を、カスタム用紙サイズとして名前を付けて登録することができます。

[基本] タブで [用紙サイズ] の [設定] ボタンをクリックし、[用紙サイズの設定] ダイアログボックスを表示します。

[カスタム用紙サイズの登録] タブで、非定形サイズの用紙を登録してください。



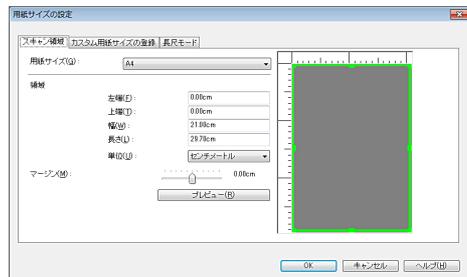
## スキャン領域の指定

原稿の一部の領域を指定するときは以下の設定を行います。

### 領域指定

原稿の一部の領域を指定してスキャンするときは、[基本] タブで [用紙サイズ] の [設定] ボタンをクリックし、[用紙サイズの設定] ダイアログボックスを表示します。

[スキャン領域] タブで領域を指定してください。



## 目的に合わせたスキャナー設定

スキャンする目的に合わせてスキャン条件を設定します。

### 両面原稿の中にある白紙ページの画像を削除したい

[基本] タブにある読み取り面の設定を [白紙をスキップする] にしてスキャンすると、原稿内にある白紙のページの画像が削除されます。



白紙スキップを選択すると [設定] ボタンが有効になり、白紙と判断するレベルを調整できます。



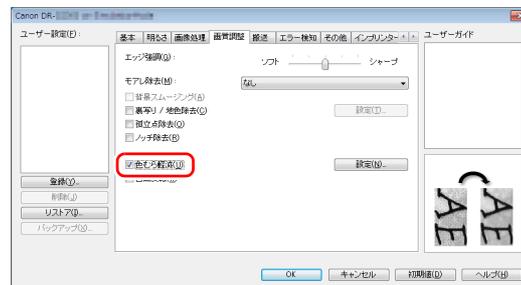
## 画像の輪郭をはっきりさせたい

【画質調整】タブでエッジ強調の設定を調整します。



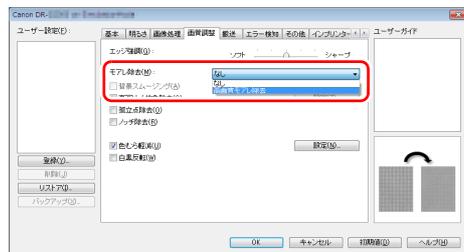
## 色むらを軽減したい

【画質調整】タブで【色むら軽減】のチェックボックスをオンにします。



## 雑誌などのカラー写真を低解像度でスキャンしたときにできるモアレを低減したい

【画質調整】タブの【モアレ除去】を設定すると、カラー写真を低解像度でスキャンしたときに発生するモアレを押さえることができます。



【設定】ボタンが有効になり、色むらの軽減レベルを調整できます。

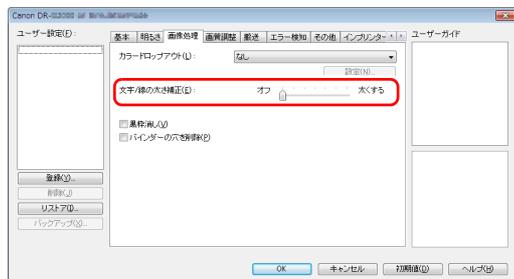


## 💡 ヒント

モアレ除去は解像度が 300dpi 以下のときに有効になり、【高速モアレ除去】は解像度が 240dpi 以下のときに表示されます。

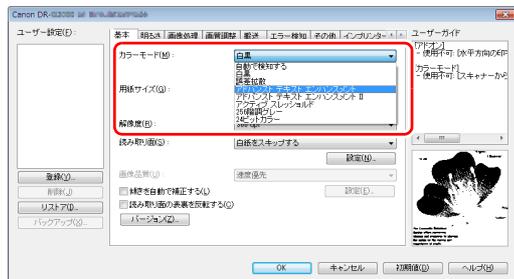
## スキャン画像の線や文字を太くしたい

[画像処理] タブの [文字 / 線の太さ補正] にあるスライダーをドラッグして、スキャン画像の線や文字を太くすることができます。



## 背景などで文字が読みづらい原稿をスキャンしたときに文字をはっきりさせたい

[基本] タブにあるモードの設定で [アドバンステキストエンハンスメント]、[アドバンステキストエンハンスメント II] または [アクティブスレッショルド] を選択します。文字の背景を除去または処理して、文字を強調して読みやすくします。



- 「アドバンステキストエンハンスメント」は、背景色が薄い原稿や、背景が（模様があるなど）均でない原稿に適しています。背景が均一の場合は文字の周りの背景が除去され、背景が均でない場合は文字が読みやすくなるように背景を処理します。
- 「アドバンステキストエンハンスメント II」は、背景色が均一で、文字や背景が薄い原稿の読み取りに適しています。背景が模様など均でない原稿は、背景が完全に除去されず文字が読みにくくなることがあります。必要に応じて [明るさ] タブでコントラストを調整することで、スキャン画像の文字を読みやすくできます。
- 「アクティブスレッショルド」は、薄い文字の原稿や汚れのある原稿など、様々な種類の原稿を一度にバッチ処理するのに適しています。例えば複写伝票のような原稿も一度にバッチ処理することができます。画像全体の文字や背景をもとに明るさ等を自動で調整することで、薄い文字を再現し、背景の汚れを除去できます。

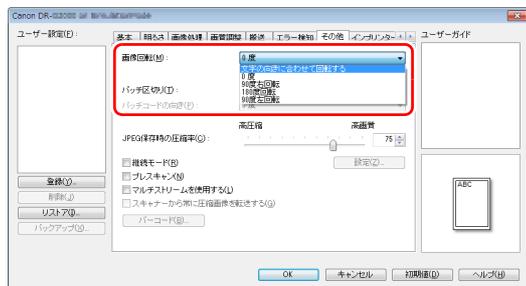
## 原稿が複数枚重なって給紙されるのを検知したい

[エラー検知] タブの [重送検知] のチェックボックスをオンにします。[超音波で検知] と [長さで検知] のどちらか、または両方を有効にできます。



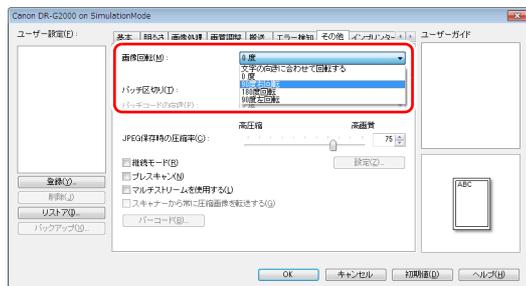
文字の向きが異なる原稿が混在しているときに画像の向きを文字に合わせてそろえたい

【その他】タブにある【画像回転】で【文字の向きに合わせて回転する】を選択します。原稿内の文字の向きを検知して文字の向きが正しくなるように、スキャン画像が90度単位で回転されます。



横向きにセットした原稿の画像が正しくなるように回転させたい

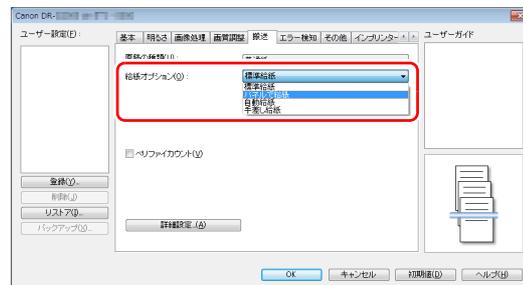
【その他】タブにある【画像回転】で回転させる角度を指定します。



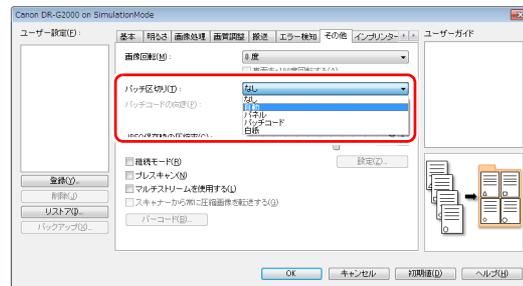
バッチ区切りでスキャンしたい

原稿を複数の束に分けてスキャンするときに、続きの原稿をセットしてスキャンするタイミングでバッチを区切ることができます。(バッチ区切りに対応したアプリケーションソフトでのみ有効です。)この場合はスキャナードライバーを次のように設定します。

- 【搬送】タブの【給紙オプション】を【パネルで給紙】または【自動給紙】に設定します。



- 【その他】タブの【バッチ区切り】を【自動】に設定します。

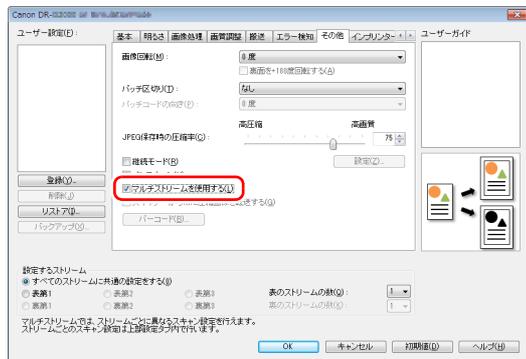


【バッチ区切り】を【自動】に設定したときは、続きの原稿をセットしてスキャンを継続したときにバッチが区切られます。  
白紙やバッチコードシートを検知してバッチ区切りを行うこともできます。  
【より高度なスキャン方法（バッチ区切り）】（→P.110）

### マルチストリーム設定でスキャンしたい

1 回のスキャン操作で複数の異なるスキャン画像を出力したり、表面と裏面ごとにスキャン条件が異なるスキャン画像を出力できます（マルチストリーム設定）。

マルチストリーム設定を使用してスキャンするときは、【その他】タブの【マルチストリームを使用する】チェックボックスをオンにし、マルチストリームに関する設定項目を表示させ、次の順に設定します。



- ① 原稿の表面と裏面ごとに異なるスキャン条件を指定するときは、あらかじめ【基本】タブの【読み取り面】で【両面】を選択します。
- ② 【表のストリームの数】で、適用するスキャン条件の数を指定します。3 つまで指定できます。
- ③ 【表第 1】を選択し、他のタブを開いてスキャン条件を設定します。【表のストリームの数】で指定した数に応じて、残りの【表第 2】、【表第 3】も同様に設定します。
- ④ 裏のスキャン条件を指定するときは、手順②～③と同様に設定します。この場合、【裏のストリームの数】を指定してから、【裏第 1】～【裏第 3】のそれぞれに対してスキャン条件を設定します。

### 💡 ヒント

マルチストリーム設定での設定が可能なスキャン条件は次のとおりです。

タブ	設定が可能な項目
【基本】タブ	【カラーモード】 および 【解像度】（どちらも【自動で検知する】を除く）
【明るさ】タブ	【明るさ】 および 【コントラスト】
【画像処理】タブ	【カラードロップアウト】 および 【文字 / 線の太さ補正】
【画質調整】タブ	【エッジ強調】
【搬送】タブ	なし（すべて無効）
【エラー検知】タブ	なし（すべて無効）
【その他】タブ	なし（【マルチストリームを使用する】のみ有効）

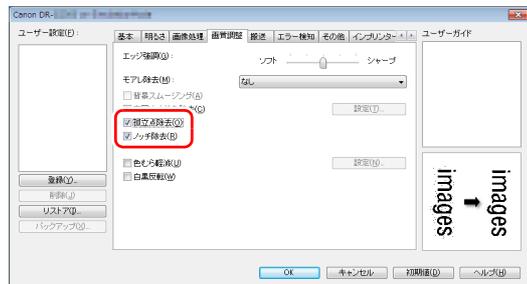
## バーコードをスキャンしたい

同梱のバーコードモジュールをインストールすると、原稿上のバーコードをスキャンできます。[その他] タブの [バーコード] ボタンをクリックして、バーコードのスキャン条件を設定できます。

設定の詳細は、ヘルプを参照してください。

## 原稿上の孤立点や輪郭からはみ出た部分を取り除きたい

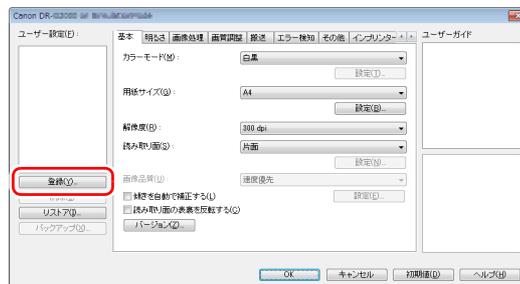
原稿上にある孤立点や、輪郭からはみ出た部分をスキャン画像から除去できます。



- [孤立点除去] チェックボックスをオンにすると、白地の中で孤立した 3 × 3 ドットの黒い点 (または黒地の中で孤立した 3 × 3 ドットの白い点) を自動的に除去します。
- [ノッチ除去] チェックボックスをオンにすると、輪郭から飛び出している部分 (ノッチ) がスキャン画像から除去されます。

## スキャナードライバーの設定を保存したい

設定が終わったときに、[ユーザー設定] の [登録] ボタンをクリックして設定内容を保存できます。



保存した設定内容は、一覧に登録されます。[削除] ボタンで一覧から削除したり、[リストア] または [バックアップ] ボタンで設定内容をファイルに保存したり読み込むことができます。

## カラーモードの設定による機能制限

【基本】 タブの [カラーモード] の設定に応じて、次のようにドライバーの各タブの設定項目の一部が無効になります。

### 【明るさ】 タブ

設定値	コントラスト
自動で検知する	○
白黒	○
誤差拡散	○
アドバンスドテキストエンハンスメント	×
アドバンスドテキストエンハンスメントⅡ	○
アクティブ スレッシュールド	○
256 階調グレー	○
24 ビットカラー	○

(○：設定可 ×：設定不可または自動)

### 【画像処理】 タブ

設定値	カラー ドロップアウト	文字 / 線の 太さ補正
自動で検知する	×	○ <sup>3)</sup>
白黒	○	○
誤差拡散	○	○
アドバンスドテキストエンハンスメント	○	○
アドバンスドテキストエンハンスメントⅡ	○	○
アクティブ スレッシュールド	○	○
256 階調グレー	○	×
24 ビットカラー	×	×

(○：設定可 ×：設定不可または自動)

【画質調整】 タブ

設定値	エッジ強調	背景スムージング	裏写り / 地色除去	孤立点除去	ノッチ除去	色むら軽減	白黒反転
自動で検知する	○	○	○ <sup>1)</sup>	○ <sup>2)</sup>	○ <sup>3)</sup>	○	×
白黒	○	×	○	○	○	○	○
誤差拡散	○	×	○	×	○	○	○
アドバンスドテキストエンハンスメント	○	×	×	○	○	○	○
アドバンスドテキストエンハンスメント II	×	×	×	○	○	○	○
アクティブ スレッシュホールド	×	×	×	○	○	○	○
256 階調グレー	○	○	○	×	×	○	×
24 ビットカラー	○	○	○	×	×	○	×

(○：設定可 ×：設定不可または自動)

- 1) [カラー白黒検知設定] ダイアログボックスの設定が下記の条件のすべてに合致する場合は設定不可
  - [検知モード] が [カラーまたはグレー] 以外
  - [白黒と判定された場合] タブの [白黒の場合のモード] が [アドバンスドテキストエンハンスメント] または [アドバンスドテキストエンハンスメント II]、[アクティブ スレッシュホールド]
- 2) 以下の二つのいずれかに合致する場合は設定不可
  - [カラー白黒検知設定] ダイアログボックスの [検知モード] が [カラーまたはグレー] の場合
  - [白黒と判定された場合] タブの [白黒の場合のモード] が [誤差拡散] の場合
- 3) [カラー白黒検知設定] ダイアログボックスの [検知モード] が [カラーまたはグレー] の場合は設定不可

[その他] タブ

設定値	ブレスキャン
自動で検知する	×
白黒	○
誤差拡散	○
アドバンステキストエンハンスメント	○
アドバンステキストエンハンスメントⅡ	○
アクティブ スレッシュホールド	○
256 階調グレー	○
24 ビットカラー	○

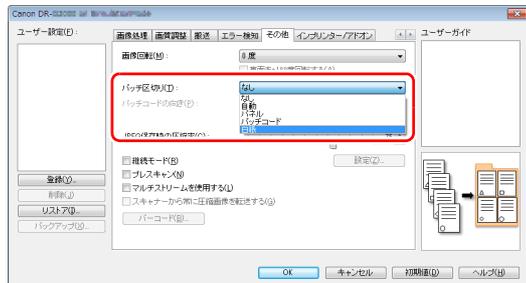
(○：設定可 ×：設定不可または自動)

## より高度なスキャン方法（バッチ区切り）

### 白紙を用いたバッチ区切り

白紙の原稿をスキャンした場合に、その原稿をバッチ区切り用紙と判定してバッチ区切り（自動ファイル区切り）を行います。

ISIS ドライバーの「その他」タブにあるバッチ区切りの設定を「白紙」にします。



#### 重要

- ・ [読み取り面] で [片面] が選択されているときは、読み取った面が白紙だった場合にバッチ区切り用紙と判定します。[読み取り面] で [両面]、[白紙をスキップする]、[半折り] が選択されているときは、原稿の表裏両面とも白紙だった場合にバッチ区切り用紙と判定します。
- ・ バッチ区切り用紙と判定された原稿の画像は保存されません。

#### ヒント

パネル給紙または自動給紙でのバッチ区切りについては、「[バッチ区切りでスキャンしたい](#)」(→ P.104) を参照してください。

### バッチコードシートを用いたバッチ区切り

本機は、バッチコードによるバッチ区切り（自動ファイル区切り）機能に対応しています。

同梱のバッチコードシートを原稿に挟んでスキャンすることにより、バッチコードシートが含まれる原稿（またはバッチコードシートの次の原稿）の画像でファイルを自動的に区切ることができます。

#### ヒント

バッチコードは、PDF 形式で本製品に同梱されています。利用するには、PDF 形式のファイルの開覧に対応したアプリケーションが必要です。

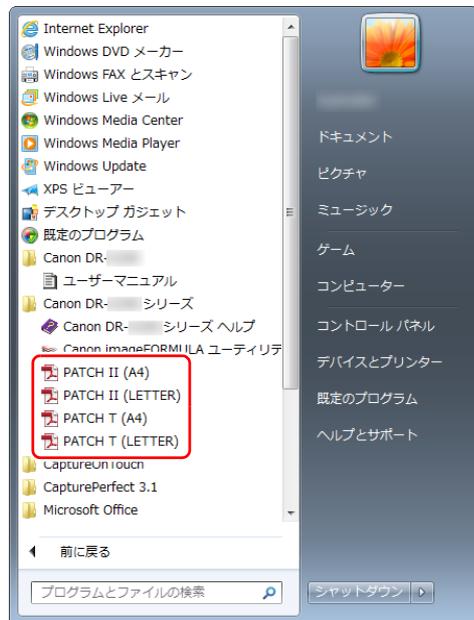
次のバッチコードシートが、pdf 形式のファイルとして、スキャナードライバーと一緒にインストールされます。

バッチコードの種類	パターン	説明
PATCH T (FILE A)		このバッチコードが印刷されたページの次のページからファイルを区切ります。バッチコードが印刷されたページをスキャン画像に含めるかどうかは、アプリケーションで設定します。
PATCH II (FILE B)		このバッチコードが印刷されたページからファイルを区切ります。バッチコードが印刷されたページは常にスキャン画像に含まれます。

パッチコードを利用してスキャンするときは、次のように操作します。

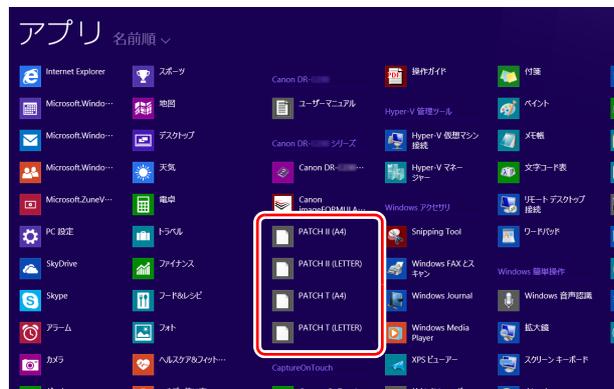
## 1 パッチコードシートをプリンターで印刷します。

スタートボタン、[すべてのプログラム] - [Canon DR-G2000 シリーズ] の順にクリックすると、メニューからパッチコードを選択できます。パッチコードは A4 サイズとレター (LTR) サイズが用意されています。スキャンする原稿と同じサイズのパッチコードを選択してアプリケーションで開き、プリンターで印刷してください。



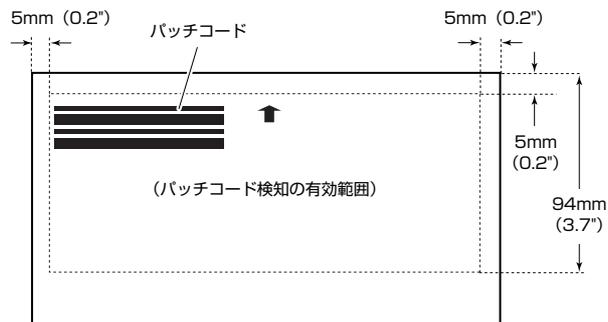
## ヒント

Windows 8.1 では以下の場所に登録されています。



**!** 重要

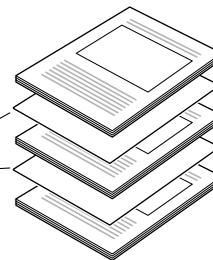
- パッチコードは等倍で印刷する必要があります。拡大または縮小して印刷すると、正常に認識できないことがあります。
- 用意されているパッチコードをコピーして、別のサイズのパッチコードを作成するときは、次の図の有効範囲にパッチコードが入るようにしてください。また、コピー元のパッチコードが同じサイズと濃度でコピーされるようにしてください。



- パッチコードシートは汚さないようにしてください。特に、パッチコード検知の有効範囲を汚さないように注意してください。また、折り曲げたり、しわにならないようにしてください。

**2** パッチコードシートを、ファイルを区切るページの前に挿入してから、スキャナーにセットします。

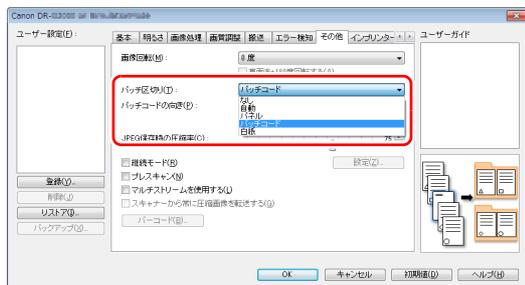
パッチコードシートをファイル区切りを変更する原稿の先頭に入れてセットします。



**!** 重要

パッチコードは表面しか検出できないため、パッチコードの面が表になるように原稿をセットしてください。

### 3 スキャナードライバーの設定画面を開き、[その他] タブの [パッチ区切り] で [パッチコード] を選択します。



# Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールについて

## Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールとは

Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールでは、本製品の情報を確認したり、メンテナンスの設定を行ったりすることができます。

Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールは次のタブで構成されています。

### 【情報】タブ

ファームのバージョン情報やスキャナーの情報を確認することができます。

### 【メンテナンス】タブ

ローラーのカウンターをリセットしたり、縮率調整を行ったりすることができます。

### 【制御】タブ

ハードウェアやドライバーの制御設定を行ったり、制御設定の書き出し、読み込みを行ったりすることができます。

ハードウェアの設定からは、自動電源オフ機能の設定を行えます。

### 【診断】タブ

ログファイルの出力や削除を行うことができます。

### 【ネットワークモニター】タブ

ネットワーク上のスキャナーを確認することができます。また、スキャナーの各種設定を行う Web メニュー画面を表示させることができます。

[【Web メニュー】](#) (→ P.115)

## 重要

USB 接続時のみ Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールで各種設定をすることができます。有線 LAN 接続時は、Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールの設定は反映されません。

## Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールの起動

スタートボタンをクリックし、[すべてのプログラム] - [Canon DR-G2000 シリーズ] - [Canon imageFORMULA ドライバー設定ツール] の順にクリックしてください。Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールが起動します。

## ヒント

Windows 8.1 では以下の場所に登録されています。



## Web メニューについて

Web メニューは、本機の情報表示や有線 LAN 接続時のネットワーク設定、各種 Web サービスの設定を行うためのツールです。Web ブラウザーを利用して本機の詳細な設定および設定内容の変更を行うことができます。

### ❗ 重要

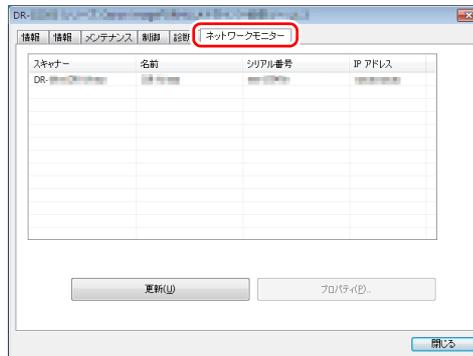
- 推奨する Web ブラウザーは下記表のとおりです。

Windows	Microsoft Internet Explorer 11 以降
	Microsoft Edge 38 以降
	Firefox 3.0.0 以降
	Chrome 11.0 以降

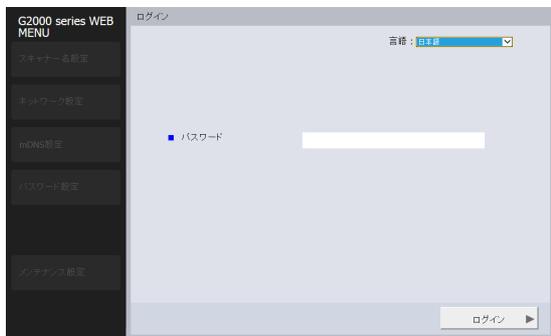
- 以下の説明では、Windows 7 環境で Internet Explorer 11 を使用した場合の画面を例にしています。ご利用になる環境や Web ブラウザーによって多少表示が異なる場合があります。

## 本機の Web メニューを表示する

- 1 Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールの設定画面を開きます。(→ P.114)
- 2 [ネットワークモニター] タブをクリックします。



- 3** 一覧でスキャナーを選択してから、**[プロパティ]** をクリックします。  
本機の Web ページが開き、ログイン画面が表示されます。



- 4** **[言語]** リストボックスで、Web ページの表示言語を指定します。

- 5** 管理者パスワードを **[パスワード]** に入力します。

本機の工場出荷時の設定では管理者パスワードは設定されていないので、初めて Web メニューを開いているときは何も入力せず次の手順に進みます。Web メニューで管理者パスワードを変更したときは、そのパスワードを入力します。



**重要**

セキュリティを確保するため、管理者パスワードは工場出荷時のままにせず変更することをお勧めします。Web メニューの **[パスワード設定]** 画面で変更できます。[「パスワード設定」](#) (→ P.120)

- 6** **[ログイン]** をクリックします。  
**[デバイス情報]** 画面が表示されます。



---

## Web メニューの各ページについて

Web ページ左側のメニューの各項目をクリックすると、以下のページを表示します。

スキャナー名設定 → スキャナー名を表示します。

ネットワーク設定 → 本機のネットワーク設定を行います。

mDNS 設定 → mDNS の設定を行います。

パスワード設定 → Web メニューにログインするための管理者パスワードの設定を行います。

メンテナンス設定 → 本機の初期化、およびファームウェアのアップデートを行います。



### ヒント

[デバイス情報] 画面から各設定画面に移動した後で、[デバイス情報] 画面に戻るには、左側のメニュー上部に表示されている本機の機種名をクリックしてください。

## Web メニューの設定

Web メニューの各ページの設定について説明します。

### スキャナー名設定

Web ページ左側のメニューで [スキャナー名設定] をクリックすると、下図のページを表示します。



項目	内容
スキャナー名	スキャナー名を設定します。

### ネットワーク設定

Web ページ左側のメニューで [ネットワーク設定] をクリックすると、下図のページを表示します。



項目	内容	工場出荷設定
DHCP	DHCP プロトコルの有効（[ON]）／無効（[OFF]）を設定します。 IP アドレスを DHCP によって設定するためには、サブネットワーク内に DHCP サーバーが稼動していなければなりません。	ON

項目	内容	工場出荷設定
IP アドレス	本機の IP アドレスを設定します。DHCP が有効の場合は、DHCP で取得した IP アドレスが優先されます。 設定値は、ピリオド（ドット）で区切られた 4 つの 10 進数で「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。	なし
サブネットマスク	本機のサブネットマスクを設定します。DHCP が有効の場合、DHCP で取得したサブネットマスクが優先されます。設定値は、ピリオド（ドット）で区切られた 4 つの 10 進数で「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。 「0.0.0.0」を設定するとこの項目は無効になり、IP アドレスに応じたサブネットマスクが自動的に使用されます。	なし
デフォルトゲートウェイ	本機のゲートウェイの IP アドレスを設定します。DHCP が有効の場合、DHCP で取得したデフォルトゲートウェイが優先されます。設定値は、ピリオド（ドット）で区切られた 4 つの 10 進数で「xxx.xxx.xxx.xxx」の形式で設定します。ゲートウェイは本機と同じサブネットワーク内に存在しなければなりません。「0.0.0.0」を設定するとこの項目は無効になります。	なし

## mDNS 設定

Web ページ左側のメニューで [mDNS 設定] をクリックすると、下図のページを表示します。



項目	内容	工場出荷設定
mDNS	マルチキャストDNSの有効／無効を設定します。 この設定は、スキャンを実行するアプリケーションから本機および接続されているスキャナーを検索して自動接続するために使用されます。通常はオンにします。 この設定を無効にしたときは、スキャンを実行するアプリケーションからスキャンするときに、本機に割り当てられている IP アドレスを用いて手動でスキャナーを指定する必要があります。	ON

## パスワード設定

Web ページ左側のメニューで [パスワード設定] をクリックすると、下図のページが表示されます。



項目	内容	工場出荷設定
現在のパスワード	現在設定されているパスワードを入力します。	なし
新しいパスワード	本機の管理パスワードを 32 文字以内で設定します。このパスワードは Web ブラウザで設定を行う際の認証パスワードとして使用します。	なし
新しいパスワード (確認)	入力パスワードの確認に使用します。	なし

## メンテナンス設定

Web ページ左側のメニューで [メンテナンス設定] をクリックすると、下図のページを表示します。

このページでは、本機の初期化や、ファームウェアのアップデートを行います。



項目	内容
初期化	本機の設定情報の初期化を行います。[初期化] をクリックし、表示される画面で [はい] をクリックすると、本機の設定を工場出荷時の状態に戻し、本機を再起動します。
バージョンアップ実行	本機のファームウェアのアップデートを行います。[バージョンアップ] をクリックし、表示される画面でファームウェアファイルを指定します。

---

項目	内容
証明書の インポート	Web メニュー用のサーバー証明書を読み込み、「https://」で Web メニューにアクセスした際のサーバー証明書を変更できます。[インポート] をクリックすると、[証明書インポート] ダイアログボックスが表示されます。証明書ファイル (pfx ファイル) を指定し、[送信] をクリックするとインポートが実行されます。

# メンテナンス

## 日常のお手入れ

読み取り品質を維持するために、以下のような日常の清掃を行ってください。

### ⚠ 注意

- 本体および内部の清掃を行うときは、安全のため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてから清掃を行ってください。
- 清掃の際、スプレー容器は使用しないでください。光源などの精密機器が濡れて破損する恐れがあります。
- シンナーやアルコールなどの有機溶剤は決して使用しないでください。外装が変形、変色したり、溶解する恐れがあります。また、火災や感電の原因になることもあります。
- 上部ユニットを開閉するときは手をはさまないように注意してください。

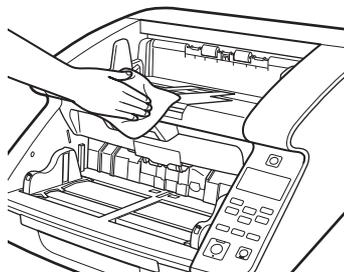
## 本体の清掃

### クリーニングクロスについて

本機に同梱されているクリーニングクロスは、本体の内部の清掃の際に使用してください。

### 本体表面の清掃

本体表面は、水を含ませて固くしぼった布で汚れを落とした後、きれいな乾いた布で拭きます。



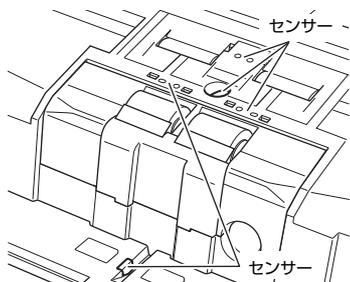
### 給紙口、搬送路の清掃

給紙口や本体内部の搬送路にほこりや紙粉がたまると、スキャンした画像にすじが入る原因になります。給紙口や搬送路にたまったほこりや紙粉はブローヤなどを使って定期的に取り除いてください。また大量の原稿をスキャンした後は、必ず紙粉の除去を行ってください。

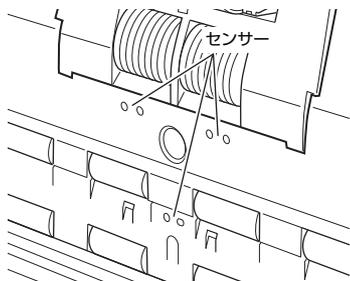
## センサーの清掃

センサーにほこりやゴミがたまると誤検知の原因になります。センサー部にたまったほこりなどはブロワーなどを使い定期的に取り除いてください。

### 本体内部下側



### 本体内部上側（上部ユニット）



## 上部ユニットの開閉

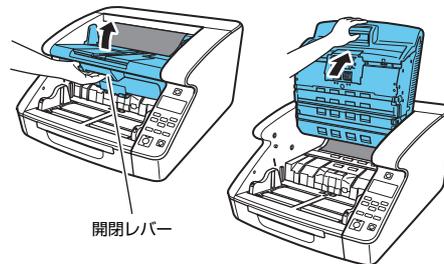
本体の内部を清掃する際、上部ユニットの開閉は以下の手順で注意して行ってください。



上部ユニットを開閉するときは手をはさまないように注意してください。

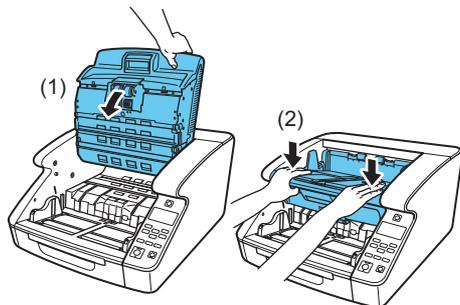
## 上部ユニットの開き方

開閉レバーを引きながら、上部ユニットを止まるところまで静かに開きます。



## 上部ユニットの閉じ方

上部ユニットを静かに閉じます (1)。そして、上部ユニットの両端を押して確実に閉じたことを確認してください (2)。



### ヒント

上部ユニットが開いているとエラーが表示されます。  
[エラーメッセージ] (→ P.152)

## 読み取りガラスとローラー、分離パッドの洗浄

スキャンした画像にすじが入ったり、スキャンした原稿が汚れていたりする場合には、本体内部にある読み取りガラスや搬送ローラー、分離パッドが汚れている可能性があります。定期的に清掃してください。

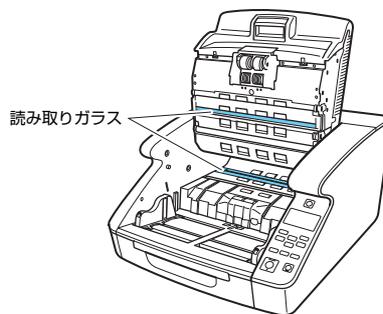
### 重要

読み取りガラスにキズがあるとスキャンした画像にすじが入ったり、搬送エラーの原因になります。読み取りガラスにキズがあるようなときは、お買い求めの販売店または、担当サービスに連絡して読み取りガラスを交換してください。

- 1 電源スイッチをオフにし、電源プラグをコンセントから抜きます。
- 2 排紙補助トレイが開いているときは排紙補助トレイを閉じます。
- 3 上部ユニットを静かに開きます。(→ P.123)
- 4 クリーニングクロスまたはきれいな乾いた布で、読み取りガラスの汚れを拭き取ります。  
読み取りガラスは上下に2つあります。両方ともきれいに拭いてください。

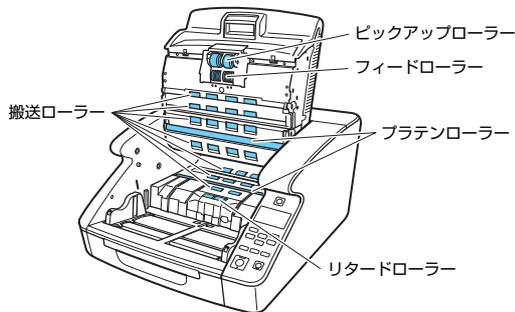
### 注意

水や中性洗剤を直接スプレーしないでください。光源などの精密機器が破損する恐れがあります。



- 5** 水を含ませて固くしぼった布で、ローラーを回転させながら汚れを拭き取ります。

ローラーは図で示した箇所にあります。

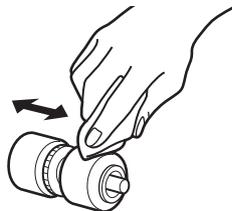


- 6** ピックアップローラー、フィードローラー、リタードローラー、リタードローラーカバーを取り外します。(→ P.129)

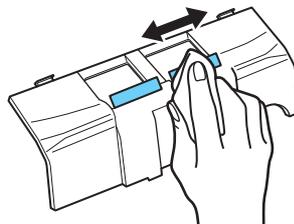
**!** 重要

ピックアップローラー、フィードローラー、リタードローラーは、ローラーを取り外してから汚れを拭き取ってください。分離パッドはリタードローラーカバーに接着されています。リタードローラーカバーを本体から取り外した状態で分離パッドの汚れを拭き取ってください。

- 7** 水を含ませて固くしぼった布で、取り外したローラーの汚れを拭き取ります。

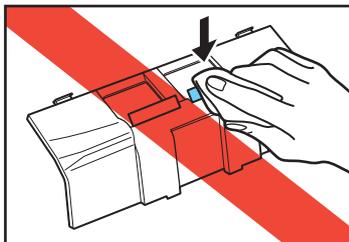


- 8** 水を含ませて固くしぼった布で、取り外したリタードローラーカバーに付いている分離パッドの汚れを拭き取ります。



**!** 重要

分離パッドを拭く場合は、強く押さないでください。強く押すと分離パッドがはがれる恐れがあります。



**9** 取り外したローラーを取り付けます。(→ P.129)

**10** 上部ユニットを静かに閉じます。(→ P.124)

**!** 重要

ローラーを清掃しても、紙詰まりや重送（原稿が重なって送られること）がたびたび起こる場合は、ローラーが磨耗している可能性があります。その場合はローラーの交換が必要です。お買い求めの販売店または担当サービスに連絡してください。

## 縮率調整について

スキャナー内部に取り付けられているローラーが磨耗すると、スキャン画像が縦方向に伸張されるようになります。この場合は、縮率調整によって画像の伸張を抑えることができます。

縮率調整機能は Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールで設定できます。

[Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールについて] (→ P.114)

## 自動電源オフ機能について

本機には自動電源オフ機能が搭載されています。自動電源オフ機能を有効にすると、スキャンなどの操作をしないまま 4 時間経過すると自動的に電源がオフになります。

自動電源オフ機能はユーザーモード、もしくは Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールで設定できます。[ユーザーモードの操作] (→ P.53)

[Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールについて] (→ P.114)

## 電源プラグ

電源プラグを長期間コンセントに接続したままにすると、コンセントの接続部分にほこりがたまり、火災や感電の原因になります。定期的に清掃してください。

## 給紙ローラーの交換

給紙ローラーが磨耗してくると、搬送性能が低下して紙詰まりなど原稿の搬送エラーが起きやすくなります。

ローラーの清掃を行っても原稿の搬送エラーの発生が改善されないようなときは、交換ローラーキットをお買い求めになり給紙ローラー（ピックアップローラー、フィードローラー、リタードローラー）を交換してください。

### ローラーの交換時期

給紙ローラーは消耗品で、搬送枚数 60 万枚を目安に交換を推奨します。ローラーの搬送枚数が 60 万枚を越えた場合、スキャナーの電源をオンにしたときにローラー交換のメッセージがパネルに表示されます。また、コンピューターを再起動してスキャナーを認識したときにコンピューターの画面にもローラー交換のメッセージが表示されます。

交換部品（目安）
給紙ローラーキット
 00000

#### 重要

- ローラー交換のメッセージが表示されたら交換ローラーキットをお買い求めになり、取り外し／取り付けの手順に従ってローラーを交換してください。3つのローラーを同時に交換することをお勧めします。
  - ピックアップローラー（→P.129）
  - フィードローラー（→P.131）
  - リタードローラー（→P.133）

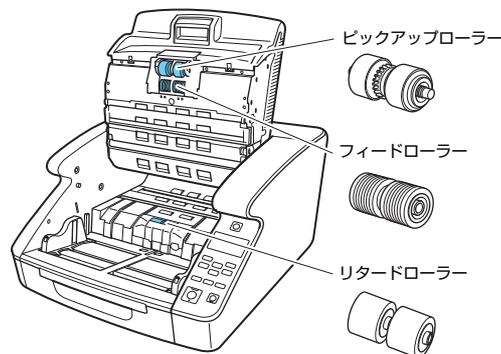
- ローラーが磨耗してくると紙詰まりや原稿が正しく給紙されないなどの不具合が起きやすくなります。このようなときは搬送枚数にかかわらず、ローラーの交換を行ってください。
- パネルに表示されたメッセージは、ローラーカウンターをリセットすることでクリアできます。ただし、ローラーカウンターをリセットするまではスキャナーの電源をオンにしたときに必ず表示されます。
- ローラーを交換したら、ローラーカウンターを必ずリセットしてください。「カウンター（搬送枚数）の確認とリセット」（→P.128）

### 交換ローラーキットについて

交換ローラーキットは、ピックアップローラー、フィードローラーとリタードローラーの交換用キットです。詳細についてはお買い求めの販売店または担当サービスにお問い合わせください。

商品名：交換ローラーキット

商品コード：3601C002



## カウンター（搬送枚数）の確認とリセット

ローラーや分離パッドを交換したときは、スキャナー内部に記録されているカウンターをリセットする必要があります。

## ユーザーモードでの確認とリセット

### ❗ 重要

- ユーザーモードの [メンテナンス] - [給紙ローラーキット] および [分離パッド] は、交換したローラーおよび分離パッドの搬送枚数をカウントします。ローラーおよび分離パッドを交換したときは、カウンターのリセットを必ず行ってください。
- ユーザーモードの [メンテナンス] - [トータルスキャン] は、搬送した原稿の累計枚数を表示し、トータルスキャン枚数はリセットできません。

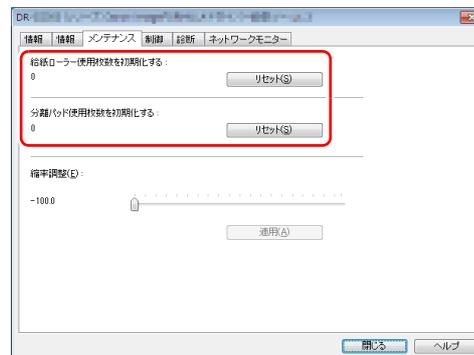
- 1** 操作パネルの Menu キーを押します。  
ユーザーモードになります。[ユーザーモードの操作] (→ P.53)
- 2** ▼▲キーを押して [メンテナンス] を選択し、OK キーを押します。  
メンテナンスの設定項目が表示されます。
- 3** ▼▲キーを押して [給紙ローラーキット] または [分離パッド] を選択し、OK キーを押します。
- 4** ▼▲キーを押して [Reset] を選択し、OK キーを押します。  
カウンターが 0 にリセットされます。
- 5** Menu キーを押して元の画面に戻ります。

## Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールでの確認とリセット

### ❗ 重要

USB 接続時のみ Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールで各種設定をすることができます。有線 LAN 接続時は、Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールの設定は反映されません。

- 1** Canon imageFORMULA ドライバー設定ツールの設定画面を開きます。(→ P.114)
- 2** [メンテナンス] タブで [給紙ローラー使用枚数を初期化する] または [分離パッド使用枚数を初期化する] の [リセット] ボタンをクリックします。



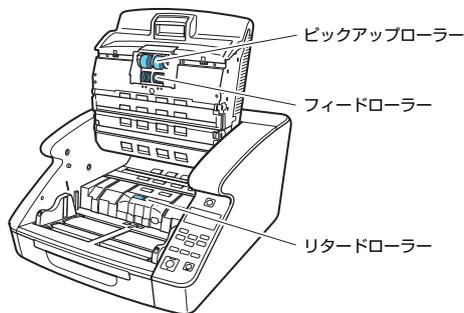
給紙ローラーまたは分離パッドの使用枚数がリセットされます。

## ローラーの取り外し／取り付け

ピックアップローラー、フィードローラー、リタードローラーの清掃および交換の際は、以降の手順に従ってローラーの取り外し、取り付けを行ってください。

### ⚠ 注意

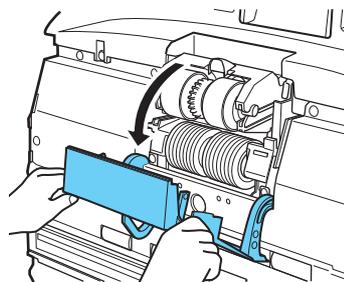
- ローラーの取り外し、取り付けを行うときには、電源スイッチをオフにし、電源プラグをコンセントから抜いてください。電源が入ったまま作業すると感電の原因になります。
- ローラーの取り外し、取り付けを行うときには、ローラーに無理な力を加えないでください。ローラーの変形による搬送エラーの原因になります。



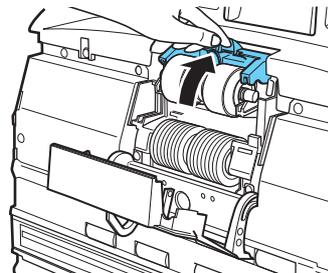
## ピックアップローラーの取り外し／取り付け

**1** 上部ユニットを静かに開きます。(→ P.123)

**2** ローラーカバーを開きます。



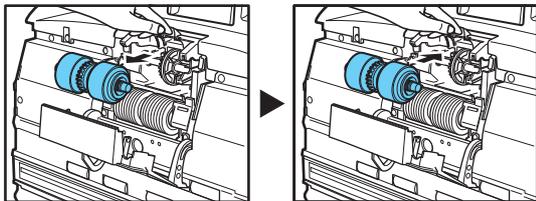
**3** ローラーホルダーを開きます。



### 💡 ヒント

ローラーホルダーは手を放すと元の位置に戻ります。

- 4** ピックアップローラーを取り外し、清掃したピックアップローラーまたは交換用のピックアップローラーをセットします。

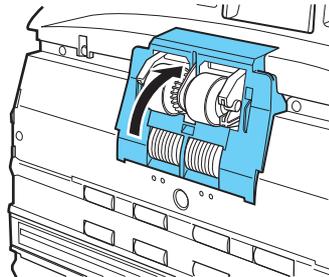


**!** 重要

ピックアップローラーは歯車がついている側を左側にしてセットしてください。



- 5** ローラーカバーを閉めます。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。



**!** 重要

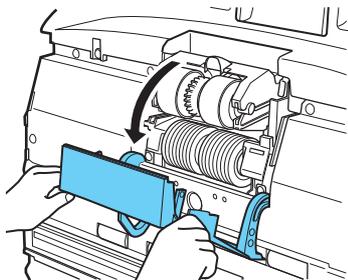
ローラーホルダー、ローラーカバーがしっかり閉じていないと給紙エラーの原因になります。ローラーホルダー、ローラーカバーがしっかり閉じていることを必ず確認してください。

- 6** 上部ユニットを静かに閉じます。(→ P.124)

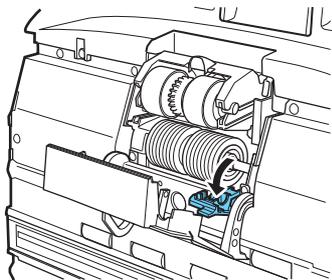
## フィードローラーの取り外し／取り付け

**1** 上部ユニットを静かに開きます。(→P.123)

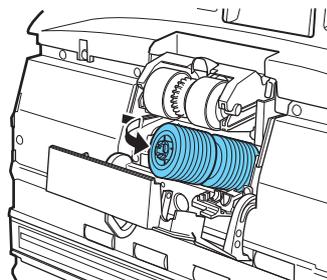
**2** ローラーカバーを開きます。



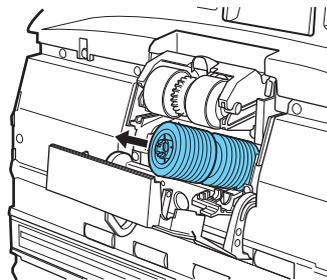
**3** ローラー固定レバーを手前に倒します。



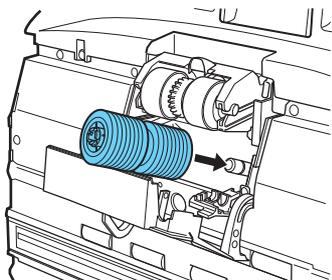
**4** フィードローラーを右方向にスライドさせて手前に起こします。



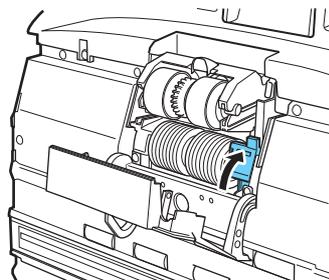
**5** フィードローラーを取り外します。



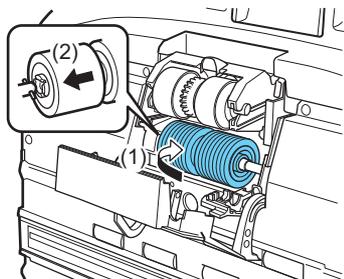
**6** フィードローラーをピンにセットします。



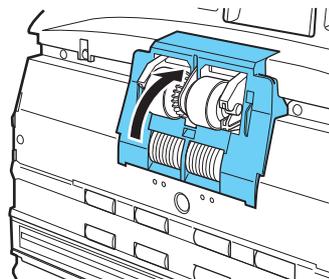
**8** ローラー固定レバーを起こしてフィードローラーを固定します。



**7** フィードローラーをセットし (1)、ローラーの切り欠き部を本体の軸に合わせます (2)。



**9** ローラーカバーを閉めます。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。



**!** 重要

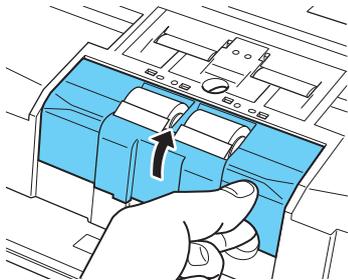
ローラーカバーがしっかり閉じていないと給紙エラーの原因になります。  
ローラーカバーがしっかり閉じていることを必ず確認してください。

10 上部ユニットを静かに閉じます。(→P.124)

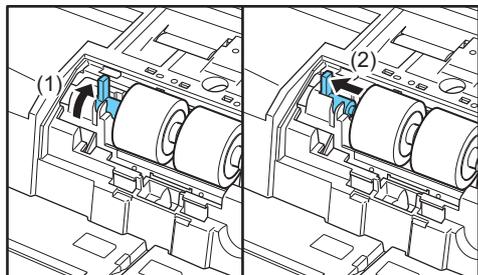
## リタードローラーの取り外し／取り付け

1 上部ユニットを静かに開きます。(→P.123)

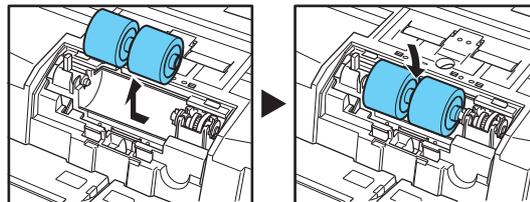
2 リタードローラーカバーに指をかけて取り外します。



3 ローラー固定レバーを(1)→(2)の順に動かします。



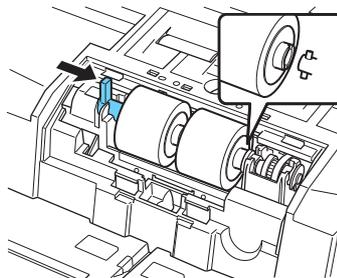
4 リタードローラーを取り外し、清掃したリタードローラーまたは交換用のリタードローラーをセットします。



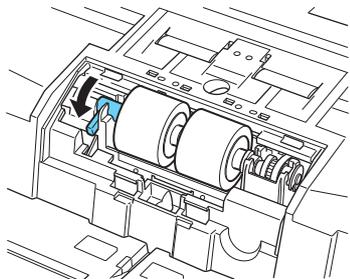
### ⚠ 警告

連続使用後のローラーの金属部は大変熱くなることがありますので、金属部には直接触れないでください。ローラーの交換は、十分冷ましてから行ってください。

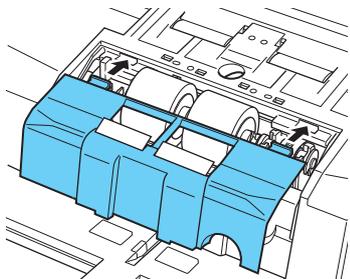
5 ローラーの切り欠き部を本体の軸に合わせて、ローラー固定レバーを矢印方向にスライドさせます。



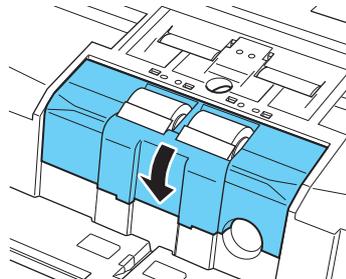
- 6** ローラー固定レバーを倒してリタードローラーを固定します。



- 7** リタードローラーカバーをセットします。



- 8** リタードローラーカバーの手前を押し込みます。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。



- 9** 上部ユニットを静かに閉じます。(→ P.124)



**注意**

フックが完全に引っ掛かり、リタードローラーカバーが浮いていないことを確認してください。リタードローラーカバーが浮いた状態だと、給紙トレイが引っ掛かり、正常に動作しない原因になります。

## 分離パッド (リタードロローラーカバー) の取り外し／取り付け

分離パッドの交換の際は、手順に従って分離パッドの取り外し、取り付けを行ってください。

### 分離パッド(リタードロローラーカバー)の交換時期

分離パッドは消耗品で、搬送枚数 600 万枚を目安に交換を推奨します。分離パッドの搬送枚数が 600 万枚を越えた場合、スキャナーの電源をオンにしたときに分離パッド交換のメッセージがパネルに表示されます。また、コンピューターを再起動してスキャナーを認識したときにコンピューターの画面にも分離パッド交換のメッセージが表示されます。

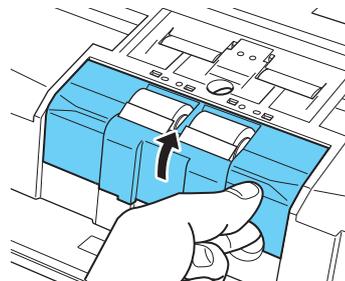
交換部品 (目安)
分離パッド
 00000

#### ❗ 重要

- ・スキャンを重ねるにつれて磨耗します。分離パッドが磨耗すると、原稿を正常に給紙できなくなり、紙詰まりの原因となります。頻繁に重送するなど、原稿を正常に給紙できなくなったら、分離パッドの交換を行ってください。
- ・パネルに表示されたメッセージは、カウンターをリセットすることでクリアできます。ただし、カウンターをリセットするまではスキャナーの電源をオンにしたときに必ず表示されます。
- ・分離パッドを交換したら、カウンターを必ずリセットしてください。「[カウンター \(搬送枚数\) の確認とリセット](#)」(→ P.128)

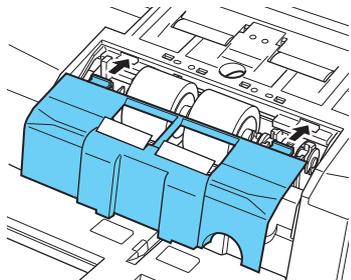
### 分離パッド(リタードロローラーカバー)の取り外し

- 1 上部ユニットを静かに開きます。(→ P.123)
- 2 リタードロローラーカバーに指をかけて取り外します。

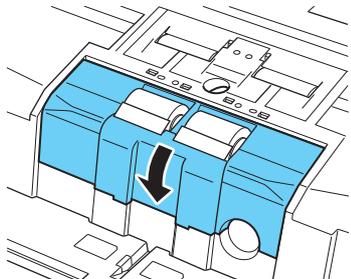


## 分離パッド(リタードロラーカバー)の取り付け

- 1 リタードロラーカバーをセットします。



- 2 リタードロラーカバーの手前を押し込みます。カチッと音がして確実に元の位置に戻ったことを確認します。



- 3 上部ユニットを静かに閉じます。(→ P.124)



注意

フックが完全に引っ掛かり、リタードロラーカバーが浮いていないことを確認してください。リタードロラーカバーが浮いた状態だと、給紙トレイが引っ掛かり、正常に動作しない原因になります。

### 交換部品

商品名：分離パッド

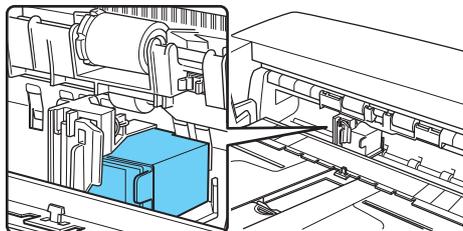
商品コード：3601C005

## インクカートリッジの交換と清掃（インプリンターをお使いの場合）

オプションのインプリンターをお使いの場合、インクが消耗すると印字が擦れたり印字できなくなります。インクカートリッジは予備のカートリッジを用意することをお勧めします。

### インプリンターについて

スキャンした原稿に印字するインプリンターのインクカートリッジは以下の場所に収納されています。



### インクカートリッジの準備

インクカートリッジには HP 社製のインクカートリッジを使用し、青、赤の 2 色が用意されています。詳細についてはお買い求めの販売店または担当サービスにお問い合わせください。

商品名：インクカートリッジ（青）

商品コード：3693A002

商品名：インクカートリッジ（赤）

商品コード：3693A003

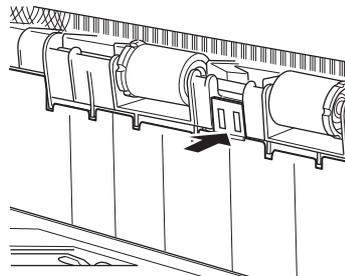
### インクカートリッジの交換

インクカートリッジの交換は、以下の手順で行います。

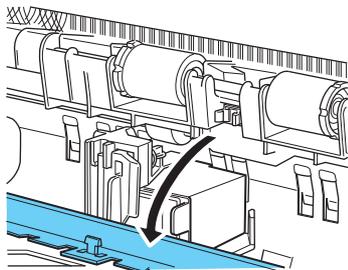
#### ❗ 重要

インクカートリッジを交換したら、テスト印字で印字状態を確認します。  
[インプリンターテスト]（→ P.142）

- 1 原稿ガイドを左右いっぱいに開きます。
- 2 インプリンターカバーの矢印部を指で押し込んでから離します。インプリンターカバーのロックが外れ、手前に開きます。



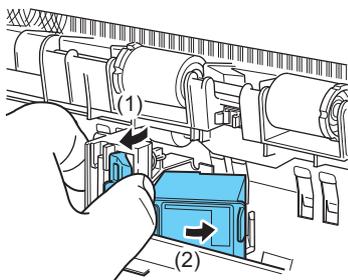
**3** インプリンターカバーを排紙トレイに当たるまで開きます。



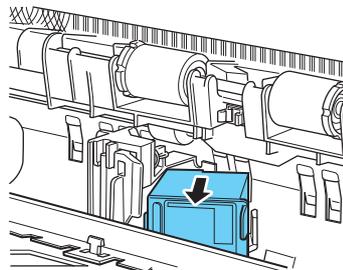
 ヒント

インプリンターカバーは、完全に開いた状態で作業を行ってください。

**4** ロックレバーを手前に引いて (1) インクカートリッジのロックを外します (2)。



**5** インクカートリッジを取り外します。



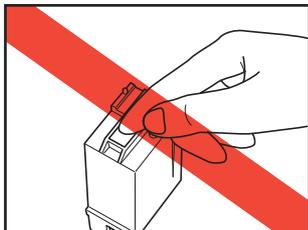
**6** 新しいインクカートリッジの吐出部を覆っているシールを剥がします。



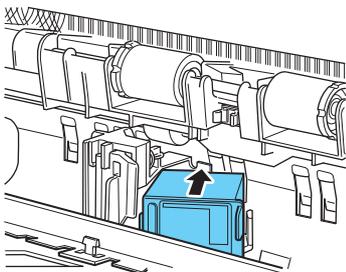


### 警告

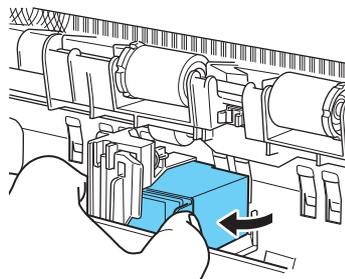
インクカートリッジの吐出部を覆っているシールは、使用するまで剥がさないでください。また、インクカートリッジの接点やインクの吐出部には絶対に触らないでください。



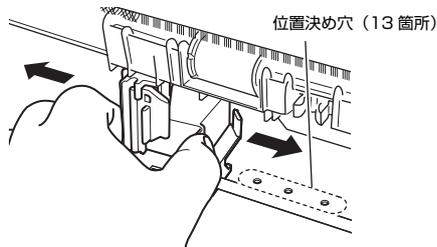
- 7** インクカートリッジの吐出部が右側にくるようにしてキャリッジにセットします。



- 8** インクカートリッジを矢印方向に「カチッ」と音がするまで押し込みます。



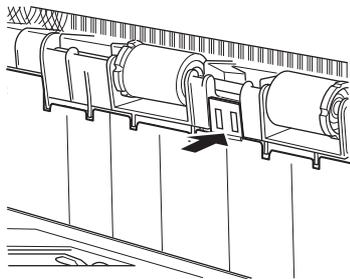
- 9** キャリッジを左右に動かして、クリック感がある位置にキャリッジを調整します。(→ P.140)



### ヒント

クリック感がない場合、キャリッジの位置が位置決め穴とずれていますので、必ずクリック感がある位置に調整してください。

- 10** インプリンターカバーを閉じます。  
インプリンターカバーの矢印部を指で押し込んでロックします。



 ヒント

インプリンターカバーは、キャリッジが位置決め用の穴に正しく入っていないと閉じることができません。インプリンターカバーが閉じないときは、キャリッジの位置を確認してください。

 重要

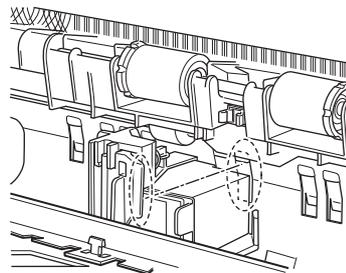
インプリンターカバーを閉じたとき、インプリンターカバーがロックされて開かないことを確認してください。インプリンターカバーが開いているとエラーが表示されます。[\[エラーメッセージ\]](#) (→ P.152)

## 印字位置の調整

原稿の水平方向の印字位置を調整します。

キャリッジを左右に動かして、位置決め用の穴（13箇所）にキャリッジを合わせます。

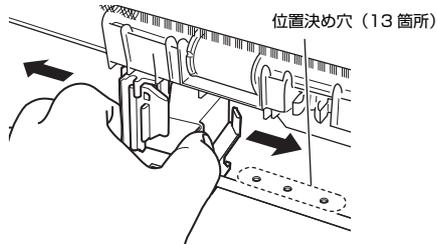
- 1** ロックレバーの先端を目安にして印字位置を合わせます。



 ヒント

ロックレバーは、先端の位置が印字位置と同じになるように設計されています。

- 2** キャリッジを左右に動かして、クリック感がある位置にキャリッジを調整します。



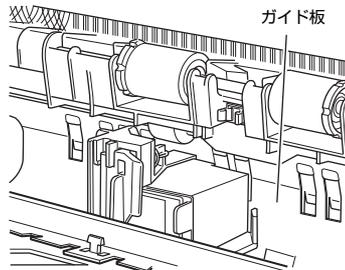
#### ヒント

- クリック感がない場合、キャリッジの位置が位置決め穴とずれていますので、必ずクリック感がある位置に調整してください。
- インプリンターカバーは、キャリッジが位置決め穴に正しく入っていないと閉じることができません。インプリンターカバーが閉じないときは、キャリッジの位置を確認してください。

## インプリンターの清掃

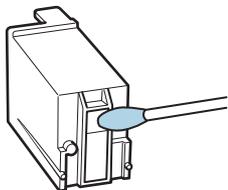
### ガイド板の清掃

インプリンター奥のガイド板にインクが付着していると、スキャン時に原稿が汚れることがあります。水や中性洗剤を含ませて固くしぼった布でガイド板に付着したインクを落とした後、きれいな乾いた布で拭いてください。



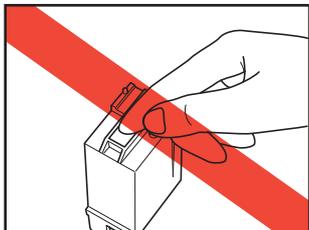
## インクカートリッジの清掃

インプリンターのインクヘッドの吐出口がインクで汚れていると印字が擦れたり、原稿を汚す原因になります。インクヘッドは定期的に取り外して乾いた柔らかい布や綿棒などで清掃してください。



### ⚠ 注意

インクカートリッジの接点部には、手を触れないでください。接触不良やドット抜けの原因になります。



## インプリンターテスト

インクカートリッジを交換したときや、インクヘッドを清掃したときにテスト印字を実行して印字を確認します。テスト印字は、ユーザーモードの [インプリンターテスト] で実行します。

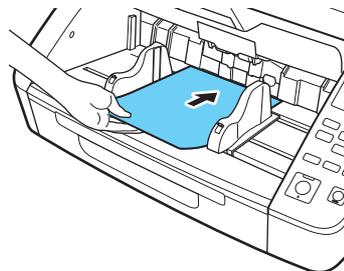
### ⓘ 重要

インプリンターテストを実行する前に、テスト印字をする用紙を用意して、給紙トレイにセットします。

## インプリンターテストの実行

インプリンターテストは以下の手順で実行します。

- 1 給紙トレイにテスト印字を行う用紙を 1 枚セットします。



- 2 操作パネルの Menu キーを押します。  
ユーザーモードになります。[ユーザーモードの操作] (→ P.53)

---

**3** ▼▲キーを押して [インプリンターテスト] を選択し、OK キーを押します。  
インプリンターテストの設定項目が表示されます。

---

**4** ▼▲キーを押して [スタート] を選択し、OK キーを押します。  
セットされているインプリンターのテスト印字を実行して終了します。

**!** 重要

テスト印字をする用紙がセットされていない場合、テスト印字を実行しないで終了します。

---

**5** Menu キーを押して元の画面に戻ります。

---

## ヘッドクリーニング

インプリンターの印字が擦れたり、すじが入るなどの現象がある場合、インクヘッドの吐出口が目詰まりしている可能性があります。これらの現象は、ヘッドクリーニングを行うことで改善されることがあります。

**!** 重要

- ヘッドクリーニング後にインプリンターテストを実行して印字を確認してください。(→ P.142)
- ヘッドクリーニングを実行しても改善されない場合は、インクヘッドを取り外してインクカートリッジの清掃を行ってください。(→ P.142)

---

## ヘッドクリーニングの実行

---

**1** 操作パネルの Menu キーを押します。  
ユーザーモードになります。[ユーザーモードの操作] (→ P.53)

---

**2** ▼▲キーを押して [インプリンターテスト] を選択し、OK キーを押します。  
インプリンターテストの設定項目が表示されます。

---

**3** ▼▲キーを押して [ヘッドクリーニング] を選択し、OK キーを押します。

---

**4** ▼▲キーを押して [Start] を選択し、OK キーを押します。  
ヘッドクリーニングを実行して終了します。

---

**5** Menu キーを押して元の画面に戻ります。

## トラブル Q & A

ここでは、お問い合わせの多いトラブルについて、その対処方法を説明しています。

問題が解決しないときは、お買い求めの販売店または『セットアップガイド』に記載されているサービス窓口にご相談ください。

### Q1. 電源が入らない。

- A1. (1) 電源コードが正しく接続されていることを確認してください。  
(2) 電源プラグがコンセントに差し込まれていることを確認してください。

### Q2. スキャナーが認識されない。

#### A2. USB 接続の場合：

- (1) スキャナーとコンピューターがUSBケーブルで正しく接続されていることを確認してください。
- (2) スキャナーの電源が入っていることを確認してください。この前の「Q1. 電源が入らない」も参照してください。
- (3) コンピューターのUSBインターフェイスがスキャナーに対応していない可能性があります。本製品は、すべてのUSBインターフェイスでの動作を保証していません。
- (4) 付属のUSBケーブルでスキャナーとコンピューターを接続していることを確認してください。市販のUSBケーブルによっては、スキャナーに対応していないことがあります。
- (5) USB HUB を経由してスキャナーとコンピューターを接続している場合は、USB HUB を取り外し、スキャナーとコンピューターを直接接続してください。
- (6) LAN 接続時はUSB接続は認識されません。LANケーブルを外してから一度本機を再起動した後にUSBケーブルを接続し直してください。

#### 有線 LAN 接続の場合：

- (1) LAN ケーブルの接続を確認してください。
- (2) 設定した IP アドレスがすでに他のデバイスで使用されている可能性があります。ネットワークのシステム管理者に連絡して IP アドレスの設定を変更してください。
- (3) 設定したデバイス名がすでに他のデバイスで使用されている可能性があります。ネットワークのシステム管理者に連絡してデバイス名の設定を変更してください。本機を 2 台以上導入したときはデバイス名を重複させないように注意してください。
- (4) USB 接続時は LAN 接続は認識されません。一度本機を再起動した後に LAN ケーブルを接続し直してください。

### Q3. 原稿が斜めに給紙される (スキャン画像が斜めになる)。

- A3. (1) 原稿ガイドをできるだけ原稿にぴったりと合わせて、まっすぐ給紙されるように原稿をセットしてください。  
(2) 給紙補助トレイを開いて原稿をセットしてください。  
(3) スキャナードライバーの設定で【傾きを自動で補正する】を有効にしてください。  
(4) すでに大量の枚数をスキャンしている場合は、ローラーを清掃してください。それでも原稿が斜めに給紙される場合は、ローラー交換などのメンテナンスが必要です。ローラーの清掃および交換については「メンテナンス」(→ P.122) を参照してください。

### Q4. スキャナードライバーで設定したとおりにスキャンされない。

- A4. CaptureOnTouch で登録した【スキャンモード】パネルを使用してスキャンした場合、スキャナードライバーの設定よりも CaptureOnTouch の設定が優先されます。【スキャンモード】パネルの設定を変更するか、スキャン条件に合わせて新しい【スキャンモード】パネルを作成してください。

**Q5. スキャン画像に白線 / すじが発生する。**

A5. 読み取りガラス（表面と裏面の両方とも）やローラー（フィードローラー、リタードローラー）を清掃してください。糊や修正液など粘着性のある汚れを清掃するときは、線の現れる場所をやや強めに拭いてみてください。清掃後も問題が解決しない場合は、内部ガラスにキズが付いている可能性があります。お買い上げの販売店または担当サービス窓口にお問い合わせください。

**Q6. スキャンした画像が濃い（または薄い）。**

A6. 明るさの設定が適正な値になっていない可能性があります。画像が濃いときは、スキャナードライバーの [明るさ] タブで [明るさ] の設定値を高く、画像が薄いときには低く調整してください。

**Q7. 原稿の裏面の文字が写り込む。**

A7. (1) スキャナードライバーの [明るさ] タブで [明るさ] の設定値を高くします。または、「裏写り / 地色除去」の設定を有効にします。  
(2) 紙厚が薄い場合は、複写機で原稿をコピーしてからスキャンしてください。

**Q8. 両面スキャンができない。**

A8. 読み取り面の設定が [片面] になっていると両面スキャンができません。スキャナードライバーの [基本] タブで [読み取り面] を [両面] にしてスキャンしてください。読み取り面の設定を [白紙をスキップする] にすると、白紙の面の画像が保存されません。

**Q9. スキャンした画像の周りに黒い枠ができる。**

A9. 指定したサイズより小さい原稿をスキャンしたか、または、セットした原稿の位置がずれていると黒枠が発生します。スキャナードライバーで、以下のように設定してください。

- (1) 用紙サイズの設定を [原稿のサイズに合わせる] にする（ [基本] タブ - [用紙サイズ] ）
- (2) マージンの設定を - 方向に調整する（ [基本] タブ - [用紙サイズ] - [用紙サイズの設定] - [スキャン領域] タブ ）
- (3) [黒枠消し] を有効にする（ [画像処理] タブ - [黒枠消し] ）

**Q10. 原稿によって画像が異常になる。**

A10. 黒枠消しなどの検知機能を有効にしてスキャンした原稿の中に、原稿の端まで文字や写真などがある原稿が含まれていると、原稿の端を正常に処理できません。原稿の端まで文字や写真などがある原稿が含まれているときは、検知機能をオフにしてスキャンするか、原稿を分けてスキャンしてください。

**Q11. アプリケーションによって画像が異常になる。**

A11. 自動サイズ検知などの設定は、アプリケーションが対応していない場合があります。このような機能を使用してスキャンすると、スキャン結果が異常になることがあります。アプリケーションによって画像が異常になるときは、検知機能をオフにしてスキャンしてください。

**Q12. ページが抜ける（足りない）。**

A12. スキャナードライバーの [読み取り面] の設定が [白紙をスキップする] に設定されていると、黒い部分が少ない原稿が意図せず削除（スキップ）されることがあります。白紙スキップのしやすさの値を小さくする（ [両面原稿の中にある白紙ページの画像を削除したい]（→ P.101））、もしくは、 [読み取り面] を片面や両面など他の設定にしてください。原稿の重送が原因でページが抜ける場合の対処については、 [Q7. 原稿が詰まる（または重送する）] を参照してください。

### Q13. 原稿がまとまって搬送される。

A13. スキャナードライバーの [搬送] タブで [詳細設定] ボタンをクリックし、[詳細搬送設定] ダイアログボックスの [分離力を強くする] のチェックボックスをオンにしてください。ユーザーモードで設定する場合は、[分離強度] を [強分離モード] に設定してください。

[\[ユーザーモードの操作\] \(→ P.53\)](#)

また、ローラーが正しく取り付けられているか確認してください。

### Q14. 原稿が重送する。

- A14. (1) ローラーが正しく取り付けられているかを確認し、必要に応じてローラーを清掃してください。
- (2) 原稿が静電気などにより密着すると正常にスキャンできません。よくさばいてからセットしてください。

### Q15. 紙詰まりが発生する。

- A15. (1) ローラーが正しく取り付けられているかを確認してください。
- (2) 紙詰まりが繰り返し起きるようなときは、スキャナードライバーの設定画面を開き、[搬送] タブの [原稿の種類] で [非常に薄い紙] を選択してください。または、セットする原稿の枚数を 10 枚程度に減らしてください。
- (3) ローラー交換後やローラー清掃後に原稿の先端めくれによる紙詰まりが発生する場合は、A4 サイズ原稿の 1 枚スキャンを 5 回程度行ってください。

### Q16. 原稿が給紙されない (または搬送路内で停止する)。

- A16. (1) 連続手差しモードになっていると原稿が正しく給紙されないことがあります。連続手差しモードをオフにしてください。
- [\[連続手差しモード\] \(→ P.40\)](#)
- (2) ローラーが正しく取り付けられているかを確認し、必要に応じてローラーを清掃してください。

### Q17. 複数ページのスキャン画像を 1 つのファイルに保存できない。

A17. CaptureOnTouch で保存できる画像ファイルは、ファイル形式によって複数ページの画像を 1 つのファイルに保存できるものとできないものがあります。

ファイル形式	複数ページの原稿の処理
BMP、JPEG	常に 1 ページにつき 1 つの画像ファイルに保存
PPTX	常に複数ページを 1 つのファイルに保存
TIFF、PDF	<input checked="" type="checkbox"/> (編集) ボタンをクリックし、表示されるダイアログボックスで [ドキュメント内のページを 1 つのファイルにする] を選択することで、複数ページを 1 つのファイルに保存可能

### Q18. セットした原稿はすべてスキャンされたのに、スキャン画像がアプリケーションに表示されない

A18. スキャナードライバーの設定画面で、給紙方法を [パネルで給紙] または [自動給紙] に設定しているときは、すべての原稿の給紙が終わってもスキャン動作が終了せず、原稿の追加を待機する状態になります。操作パネルの Stop キーを押すと、スキャン動作が終了します。

---

**Q19. スキャン中にメモリー不足になり、スキャンできなくなった。**

A19. コンピューターのメモリーを大量に使用するようなスキャン条件では、メモリー不足によりスキャンができなくなる場合があります。コンピューターに搭載されているメモリー容量によりますが、下記の条件が重なるに従ってメモリー不足になる可能性が高くなります。

- [カラーモード] を [24 ビットカラー] にする
- [用紙サイズ] で大きな用紙サイズを指定する。または [最大サイズ] にする
- [解像度] で高い解像度 (600dpi など) を指定する

スキャン中にメモリー不足などのメッセージが表示されたときは、アプリケーションを終了させ、スキャン条件を変更 (たとえば、解像度を低くする、用紙サイズを小さくするなど) してからスキャンをやり直してください。また、[モアレ除去] や [裏写り / 地色除去] をオンにしている場合は、これらの設定値をオフにすることでメモリーの使用量を抑えることができます。

**Q20. 複数枚綴りの原稿をスキャンするときに重送する**

A20. 綴じられている側を給紙口に向け、「手差し給紙」でスキャンしてください。

**Q21. バーコードの検知に失敗する**

A21. 画像の明るさによってはバーコードの検知に失敗することがあります。スキャナードライバーの設定画面の [明るさ] タブで [明るさ] の設定値を調整してください。または、[画質調整] タブで [裏写り / 地色除去] を有効にしてください。もしくは、[基本] タブの [解像度] で解像度を上げてください。

## ソフトウェアの操作で困ったときは

ここでは、付属ソフトウェア (CaptureOnTouch) の操作時に起こりうるトラブルとその対処方法を説明します。

### スキャンに時間がかかる

- (1) 他のアプリケーションソフトが起動しているときは、終了させてください。
- (2) システムに常駐するアプリケーション (ウイルス対策ソフトウェアなど) によってシステムのメモリーが不足すると、スキャン速度が遅くなります。このような常駐ソフトを終了してからスキャンしてください。
- (3) ハードディスクの空き容量が不足していると、スキャン時に作成される一時ファイル (一時的にスキャンデータを保存したファイル) が作成できません。ハードディスク上のデータを整理して空き容量を確保してください。
- (4) コンピューターの USB ポートが Hi-Speed USB 2.0 や USB3.1 Gen1 などの高速な規格に対応していない場合は、スキャン速度が低下します。
- (5) USB3.1 Gen1 に対応していない市販の USB ケーブルを使用している場合は、付属の USB ケーブル (USB3.1 Gen1 対応) に換えてください。
- (6) USB3.1 Gen1 に対応していない USB HUB を経由してスキャナーとコンピューターを接続している場合は、USB HUB を取り外し、スキャナーとコンピューターを直接接続してください。

### 保存したスキャン画像が、アプリケーションソフトで開けない

- (1) スキャン画像をマルチページ TIFF ファイルに保存した場合は、マルチページ TIFF ファイルに対応したアプリケーションソフトが必要です。
- (2) マルチページ TIFF ではない TIFF ファイルに保存した場合でも、TIFF ファイルが圧縮されていると、アプリケーションによっては開けないことがあります。CaptureOnTouch の TIFF ファイルの圧縮方式に対応していないアプリケーションソフトを使用した場合に起こります。この場合は画像ファイルの圧縮形式を「なし」にしてスキャンしてください。

### CaptureOnTouch の UI 画面が乱れることがある

登録しているスキャンモードパネルや、出力先パネル、お気に入りパネルの数が多いと、お使いのコンピューターによっては、UI 画面が乱れたりすることがあります。使用していないパネルを削除してください。

## 役立つヒント集

ここでは、CaptureOnTouch で原稿をスキャンするうえで知っておくと便利なヒントを挙げます。

**スキャン画像はどこに保存されますか？ また、保存先を変更することはできますか？**

ソフトウェアで指定された下記の場所に保存されます。

3 ステップスキャン、お気に入りスキャンともに [出力先パネル] で設定した出力先に保存されます。

いずれについても任意のフォルダーに変更できます。

**スキャン設定をするにはどうすればよいですか？**

「スキャンモードパネル」の編集ボタン  をクリックし、表示されるスキャンモード編集画面でスキャン設定ができます。

**複数のページを 1 つのファイルに保存したり、複数のページを 1 ファイルずつ保存できますか？**

スキャン画像のファイル形式が BMP または JPEG の場合は、スキャン画像は常に 1 ページごとに 1 ファイルとなります。

スキャン画像のファイル形式が PDF または TIFF の場合は、マルチページとシングルページのどちらで保存するかを指定できます。「トラブル Q & A」の Q18 も参照してください。

**スキャナー設定の内容のコピーやバックアップはできますか？**

[環境設定] ダイアログボックスの [基本設定] タブの [バックアップ / リストア] で設定内容をバックアップしたり復元できます。

**半折りスキャンをするにはどうすればよいですか？**

原稿を 2 つに折り、折り返しを右側にしてスキャナーにセットします。スキャナー設定で原稿の半分のサイズ (2 つ折りにしたときの大きさ) を指定してスキャンします。詳細は [42 ページ](#) を参照してください。

**白紙のページを飛ばして、白紙でないページだけをスキャンすることはできますか？**

スキャナードライバーの設定画面で [白紙をスキップする] を指定してスキャンします。

**サイズの違う原稿を混載してスキャンするにはどうすればよいですか？**

スキャナードライバーの設定画面で [用紙サイズ] を [原稿のサイズに合わせる] にしてスキャンします。詳細は [100 ページ](#) を参照してください。

**名刺や写真を上手にスキャンする方法を教えてください。**

スキャナードライバーの設定画面で [用紙サイズ] を [原稿のサイズに合わせる] にしてスキャンします。または、スキャンする名刺や写真と同じサイズを登録してスキャンします。詳細は [100 ページ](#) を参照してください。

**スキャンしたデータを印刷したい。**

- 3 ステップスキャン、お気に入りスキャンともに [出力先パネル] で [印刷する] を選択します。
- 本機能を使用するには、プラグインをインストールする必要があります。
- プラグインは、CaptureOnTouch のインストール時にチェックをつけてインストールすることができます。

---

#### **フォルダー以外に保存したい。**

- CaptureOnTouch では、[フォルダーに保存する] 以外の保存先は、プラグインとして提供しています。
- プラグインをインストールすることによって、スキャン画像を印刷したりメール添付したり、さまざまなクラウドサービスを利用して共有することができます。
- プラグインは、CaptureOnTouch のインストール時にチェックをつけてインストールすることができます。
- インストールしているプラグインによって、選択できる出力先は異なります。

#### **スキャンしたデータをメールに添付させたい（またはメール送信したい）。**

- 3ステップスキャン、お気に入りスキャンともに [出力先パネル] で [メールに添付する] を選択します。
- 本機能を使用するには、プラグインをインストールする必要があります。
- プラグインは、CaptureOnTouch のインストール時にチェックをつけてインストールすることができます。

## 紙詰まり・斜行・ステーブル検知の処理

紙詰まり、斜行、ステーブルが検知されたときは、排紙トレイやスキャナーの内部に残っている原稿を取り除きます。



注意

- スキャナーの内部に残っている原稿を取り除くときは、慎重に行ってください。原稿を破損したり、紙の端で手を切るなど思わぬけがをすることがあります。
- スキャナーの内部に残っている原稿はすべて取り除いてください。破れた紙が内部に残っていると、紙詰まりや故障の原因になります。

**1** 排紙トレイに残っている原稿を取り除きます。

**2** 上部ユニットを静かに開きます。(→ P.123)



注意

上部ユニットを開閉するときは、手を挟まないように注意してください。

**3** スキャナーの内部に原稿が残っているときは、取り除きます。



重要

- 排紙トレイに途中まで排紙されている原稿は、上部ユニットを少し開いた状態にして取り除きます。
- 本体内部に残っている原稿は、上部ユニットを止まるところまで開いて取り除きます。

**4** 上部ユニットを静かに閉じます。そして、上部ユニットの両端を押し確実に閉じたことを確認してください。(→ P.124)

**5** 保存されている最後の画像を確認して、スキャンをやり直します。スキャナー内部から取り除いた原稿を、給紙トレイに残っている原稿の先頭に戻し、Start キーを押してスキャンを継続できます。



重要

- 排紙トレイに排出された原稿でも、スキャン画像が保存されていないことがあります。スキャンをやり直す前に、保存されている最後のスキャン画像を必ず確認してください。
- 斜行が検知された原稿は、まっすぐにセットしてスキャンし直してください。
- ステーブルが検知された原稿は、ステーブルを取り除いてからスキャンし直してください。

---

## エラーメッセージ

---

スキャナーにエラーが発生したときは、次のエラーが表示パネルに表示されます。

タイトル部	コメント部
エラー [P***]	スキャナーの紙詰まりです。
エラー [C***]	スキャナーカバーがあいています。
エラー [J***]	給紙エラーを検知しました。
エラー [J***]	原稿が斜行しました。
エラー [D***]	原稿が重送しました。
エラー [J***]	ステーブルを検知しました。
エラー [J***]	ゴミを検知しました。
エラー [U***]	枚数が一致しません。
エラー [E***]	スキャナーハードウェアのエラーです。

---

## ソフトウェアをアンインストールする

---

ISIS/TWAIN ドライバーおよび CaptureOnTouch が正常に動作しないようなときは、以下の手順でソフトウェアをアンインストールしてください。そして、セットアップディスクを使ってソフトウェアを再インストールしてください。(→ P.6)



**重要**

Administrator 権限のアカウントでログオンしてください。

- 1** [スタート] ボタンをクリックし、[コントロールパネル] をクリックします。
- 2** [プログラムのアンインストール] をクリックします。  
[プログラムのアンインストール] ダイアログボックスが表示されます。
- 3** プログラムの一覧から、削除するソフトウェア名をクリックし、[アンインストール] をクリックします。  
選択されたソフトウェアの削除を確認するメッセージ画面が表示されます。
- 4** [はい] をクリックします。  
これでソフトウェアのアンインストールは完了です。

## 仕様

<b>本体</b>		DR-G2110	グレー	片面	200dpi	110 枚 / 分
形式	卓上型シートスルースキャナー				300dpi	110 枚 / 分
読み取り原稿サイズ	幅 : 50.8 ~ 305mm			両面	200dpi	220 面 / 分
	長さ : 70 ~ 432mm (長尺モード時は最大 5,588mm)				300dpi	220 面 / 分
	厚さ : 20g/m <sup>2</sup> ~ 209g/m <sup>2</sup> (0.04mm ~ 0.25mm)		カラー	片面	200dpi	110 枚 / 分
	(連続給紙)				300dpi	110 枚 / 分
	20g/m <sup>2</sup> ~ 255g/m <sup>2</sup> (0.04mm ~ 0.3mm)			両面	200dpi	220 面 / 分
	(手差し給紙)				300dpi	220 面 / 分
給紙方法	連続給紙 / 手差し給紙 / 連続手差し給紙	その他	重送検知、斜行補正、ユーザーモード、長尺モード、半折り			
積載枚数	500 枚 (80g/m <sup>2</sup> 紙)		スキャン			
	A4 より大きいサイズの場合は 200 枚 (80g/m <sup>2</sup> 紙)	外形寸法	480 (W) × 569 (D) × 315 (H) mm			
	積載高さ 48mm まで (最大)	最大外形寸法	(給紙補助トレイ / ワイヤ、排紙補助トレイ / 排紙ストッパーを開いた状態)			
読み取りセンサー	コンタクトイメージセンサー		480 (W) × 723 (D) × 390 (H) mm			
光源	LED	質量	約 25.0kg			
読み取り面	片面 / 両面 / 白紙スキップ	電源	AC100V 50/60Hz			
読み取りモード	白黒、誤差拡散、アドバンスドテキストエンハンスメント、アドバンスドテキストエンハンスメント II、アクティブ スレッショルド、256 階調グレー、24 ビットカラー	消費電力	動作時 (最大) : 66.5W			
読み取り解像度	100dpi / 150dpi / 200dpi / 240dpi / 300dpi / 400dpi / 600dpi		Sleep Mode 時 : 3.5W			
読み取り速度 (A4 横送り)		騒音	54.0 dB 以下			
DR-G2140	グレー	使用環境	温度 : 10 °C -35 °C			
	片面		湿度 : 20%-80%RH			
			製品改良のため仕様は予告なく変更することがあります。			
	両面					
	カラー					
	片面					
	両面					

---

## 別売品

インプリンターユニット (商品コード: 3601C001)

スキャンした後の原稿に任意の文字列を印字するためのインプリンターユニットです。

キャリアシート (商品コード: 0697C001)

原稿に傷を付けずにスキャンするためのキャリアシートです。

白プラテンローラー (商品コード: 3601C004)

スキャン画像の背景を白色に変更するプラテンローラーオプションです。

フラットベッドスキャナーユニット 102 (商品コード: 2152Cxxx)

DR スキャナーに取り付けて使用するフラットベッドスキャナーユニットです。本機に取り付けることで、ADF 付きフラットベッドスキャナーとして本機を活用できます。

フラットベッドスキャナーユニット 201 (商品コード: 6240Bxxx)

DR スキャナーに取り付けて使用する A3 サイズ対応のフラットベッドスキャナーユニットです。本機に取り付けることで、ADF 付きフラットベッドスキャナーとして本機を活用できます。

---

## 消耗品

交換ローラーキット (商品コード: 3601C002)

給紙ローラー (ピックアップローラー、フィードローラー、リタードローラー) の交換用キットです。[「給紙ローラーの交換」](#) (→ P.127)

分離パッド (商品コード: 3601C005)

### 重要

- 給紙ローラー、分離パッドは消耗品です。ローラーや分離パッドが磨耗してくると紙詰まりや原稿が正しく給紙されないなどの不具合が起きやすくなります。このようなときは搬送枚数にかかわらず、ローラー、分離パッドの交換を行ってください。
- 交換ローラーキット、分離パッドについての詳細については、お買い求めの販売店または担当サービスにお問い合わせください。

インクカートリッジ: 青 (商品コード: 3693A002)

インプリンターで使用する青色のインクカートリッジです。[「インクカートリッジの交換」](#) (→ P.137)

インクカートリッジ: 赤 (商品コード: 3693A003)

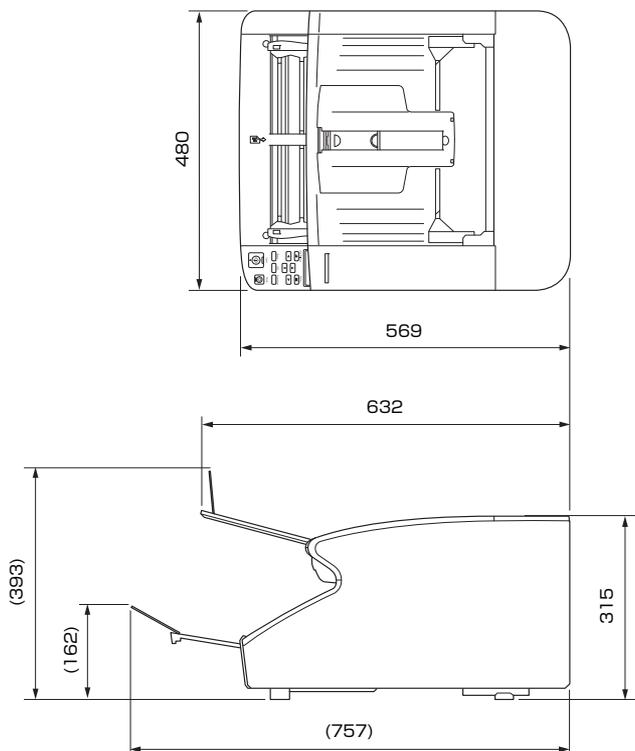
インプリンターで使用する赤色のインクカートリッジです。

クリーニングシート (商品コード: 2418B002)

搬送ローラーを清掃するためのクリーニングシートです。[「クリーニングシート搬送」](#) (→ P.61)

## 外形寸法図

単位：mm



## その他の仕様

本項では、同梱のバーコードモジュールと別売品（→ P.155）のインプリンターの仕様について説明します。パッチコードデコーダーで検知するパッチコードの仕様については「[パッチコードシートを用いたパッチ区切り](#)」（→ P.110）を参照してください。

### バーコード仕様

バーコードは、同梱のバーコードモジュールをインストールすることにより以下の仕様のバーコードを読み取ることができます。

### バーコードの種類

コード	桁数	チェックデジット
EAN/JAN	8 または 13	モジュラス 10/ ウェイト 3
CODABAR	3 ~ 32 (START/STOP CHARACTER 含む)	モジュラス 16、7 DR
CODE39	3 ~ 32 (START/STOP CHARACTER 含む) (スタンダード ASCII/ フル ASCII)	モジュラス 43
ITF	2 ~ 32 (偶数桁のみ)	モジュラス 10/ ウェイト 3
CODE128	1 ~ 32 (有効データのみ)	モジュラス 103
UPC-A	13	モジュラス 10/ ウェイト 3
UPC-E	8	モジュラス 10/ ウェイト 3

\* EAN/JAN, UPC-A, UPC-E はアドオンに対応

### 一次元バーコードの認識条件

項目	条件	
印刷面	表または裏面（両面可、ただし速度低下あり）	
向き	搬送方向に対し直角（0度）および水平（90度）  搬送方向 (0度) (90度) あらかじめ読み取り方向を指定すること 注) 両方向を指定した場合は速度低下あり	
大きさ	ライン幅	0.3 mm ~ 1.0 mm CODE128、UPC-A、UPC-E、EAN/JAN はモジュール幅が0.508 mmを越えると誤認識する
	コード幅	105 mm 以下（クワイエットゾーン含む）
	バー高さ	10 mm 以上
	余白	片側につき 1 キャラクタ以上
傾き	± 3 度以内	
エレメント比	2.2 ~ 3.0	
P C S 値	0.60 以上（白の反射率 75%以上）	
位置	搬送方向	原稿端部から 2mm 以上内側
	幅方向	原稿端部から 5mm 以上内側
数	最大 4 個 / 1 原稿	
間隔	5mm 以上	
条件	バーコードに背景、かぶりなきこと	

\* 読取精度は一次元バーコードの印刷品位に影響されます。正しく読み取れない場合はスキャン解像度を上げてください。

## 二次元コードの認識条件

項目	条件	
印刷面	表または裏面（両面可）	
大きさ	サイズ	最小セル（モジュール）サイズ（幅・長さ） 100dpi：0.3mm 以上 3mm 以下 200dpi：0.1mm 以上 3mm 以下 300dpi 以上：0.09mm 以上 3mm 以下
	余白 クワイ エック ゾーン	4セル（モジュール）以上
PCS 値	0.60 以上（白の反射率 75%以上）	
位置	搬送方向	原稿端部から 2mm 以上内側
	幅方向	原稿端部から 5mm 以上内側
数	最大 4 個 / 1 原稿	
間隔	5mm 以上かつ 8 セル（モジュール）以上	
条件	二次元コードに背景、かぶりなきこと	

\* 読み取り精度は二次元コードの印刷品位に影響されます。正しく読み取れない場合はスキャン解像度を上げてください。

## インプリンター仕様

印字面	おもて面
印字位置	ISIS/TWAIN ドライバーで設定 13 箇所
印字内容	ISIS/TWAIN ドライバーで設定
印字フォント	12x12 ドット、12x 8 ドット
文字間設定	あり（ISIS/TWAIN ドライバーで設定）
印字桁数	最大 32 文字
印字紙撥水	処理をしていない普通紙
インクカートリッジ	HP 社製インクカートリッジ 色：青、赤（→ P.137）
画像密度	12 ノズル/スラント 1 列（96dpi）
インク	水系インク

# 索引

<b>あ</b>		<b>く</b>	
アンインストール .....	153	クリーニングクロス .....	122
安全にお使いいただくために .....	17		
<b>い</b>		<b>け</b>	
インクカートリッジ .....	137	原稿ガイド .....	34, 37
交換 .....	137	調整 .....	35
清掃 .....	142	原稿について .....	30
インストール .....	5		
インプリンター .....	137	<b>こ</b>	
カバー .....	137	交換ローラーキット .....	127
清掃 .....	141	コンピューターとの接続 .....	8
テスト印字 .....	142		
<b>え</b>		<b>し</b>	
エラーメッセージ .....	152	自動電源オフ .....	126
		重送検知 .....	47, 58, 60, 103
<b>か</b>		上部ユニット .....	123
カウンター .....	128	ジョブ機能 .....	64
カウントオンリーモード .....	49		
各部の名称と機能 .....	24	<b>す</b>	
<b>き</b>		スキャナードライバー .....	96
キャリアシート .....	43	基本的な設定 .....	99
給紙トレイ .....	32	目的に合わせた設定 .....	101
給紙方法 .....	39	スキャナーの移動 .....	18
手差し給紙 .....	39	スキャン .....	64
連続給紙 .....	39	ジョブを選択してスキャン .....	64
連続手差しモード .....	40	CaptureOnTouch でスキャン .....	66
給紙補助トレイ .....	34	ステابل検知 .....	59, 60
給紙ローラーの交換 .....	127		
交換時期 .....	127	<b>せ</b>	
		継続モード .....	47
		設置場所 .....	17
		<b>そ</b>	
		操作パネル .....	26

<b>ち</b>		
長尺モード	.....	45
<b>て</b>		
電源について	.....	17
<b>と</b>		
動作環境	.....	5
トラブルシューティング	.....	144
<b>に</b>		
日常のお手入れ	.....	122
ガラス	.....	124
センサー	.....	123
電源プラグ	.....	126
本体	.....	122
ローラー	.....	124
日常の取り扱い	.....	18
<b>ね</b>		
ネットワーク	.....	62
<b>は</b>		
廃棄	.....	19
排紙ストッパー	.....	38
排紙トレイ	.....	37
排紙補助トレイ	.....	37
パッチ区切り	.....	104, 110
パッチコードシート	.....	110
パッチコードパターン	.....	110
半折スキャン	.....	42
<b>ふ</b>		
フラットベッドスキャナーユニット 102	.....	155
フラットベッドスキャナーユニット 201	.....	155
分離パッド (リタードローラーカバー) の取り外し/取り付け	.....	135
<b>へ</b>		
ヘッドクリーニング	.....	143
ペリファイカウント	.....	50
ペリフェイスキャン	.....	50
<b>ま</b>		
マルチストリーム設定	.....	105
<b>ゆ</b>		
ユーザーモード	.....	53
操作手順	.....	53
ユーザーモードの機能	.....	57
<b>C</b>		
CaptureOnTouch	.....	66
3 ステップスキャン	.....	70
お気に入りスキャン	.....	73
環境設定	.....	92
起動	.....	68
再起動	.....	69
スタートボタンによるスキャン	.....	80
<b>F</b>		
Function キー	.....	27, 51
<b>W</b>		
Web メニュー	.....	115
設定	.....	118

# Canon

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

〒108-8011 東京都港区港南 2-16-6 CANON **S**TOWER

PUB. 6T3-0034-J1.00

© CANON ELECTRONICS INC. 2018